

川西市
子育て支援に関する
アンケート調査
結果報告書

平成 26 年(2014 年) 3 月
川西市

目次

1. 調査の概要	1
2. 調査結果	3
(1) お住まいの地域について	3
(2) ご家族の状況について	4
(3) 子どもの育ちをめぐる環境について	6
(4) 保護者の就労状況について	14
(5) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	24
(6) 地域の子育て支援事業の利用状況について	36
(7) 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	48
(8) 病気の際の対応について	55
(9) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	64
(10) 小学校就学後の放課後の過ごし方について	73
(11) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	82
(12) 自由意見	93

《 資料編 》

・子育て支援に関するアンケート調査 調査票

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

市内に居住する就学前児童の保護者を対象として、「アンケート調査」を実施し、「子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたり、「幼児教育・保育・地域の子育て支援」の「今後の利用希望」を把握するための基礎資料とします。

(2) 調査内容

- ①お住まいの地域について
- ②ご家族の状況について
- ③子どもの育ちをめぐる環境について
- ④保護者の就労状況について
- ⑤平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について
- ⑥地域の子育て支援事業の利用状況について
- ⑦土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について
- ⑧病気の際の対応について
- ⑨不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について
- ⑩小学校就学後の放課後の過ごし方について
- ⑪育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

(3) 調査仕様

- | | |
|-------|--------------------------------------|
| ①調査地域 | 市内全域 |
| ②調査対象 | 市内に居住する就学前児童（0歳から5歳）の保護者 |
| ③標本数 | 3,000件 |
| ④抽出方法 | 住民基本台帳登録者のうち、0歳から5歳の子ども3,000名を無作為抽出。 |
| ⑤調査方法 | 郵送配布・郵送回収 |
| ⑥調査期間 | 平成25年10月8日～10月31日 |

(4) 回収数・回収率

1,609件 有効回答率=53.6%

(5) 本報告書における調査結果の見方

- ・回答は各質問の回答者数 (N) を基数とした百分率 (%) で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを網かけをしています。(無回答および有効回答数が 10 未満を除く)

○居住地区について

中学校区	小学校区	住 所
川西南	久代 (全部)	久代1丁目~6丁目、東久代1・2丁目
	加茂 (全部)	南花屋敷1丁目~4丁目、加茂1丁目~6丁目
	川西	栄根2丁目 (1番~5番を除く)、下加茂1丁目・2丁目
川西	川西	小花1丁目・2丁目、小戸1丁目~3丁目、栄町24番~27番、寺畑1丁目・2丁目、栄根1丁目・2丁目1番~5番
	桜が丘 (全部)	中央町、日高町、栄町 (24番~27番を除く)、花屋敷山手町、花屋敷1丁目・2丁目、満願寺、満願寺町
	川西北 (全部)	美園町、絹延町、出在家町、丸の内町、滝山町 (8番を除く)、鶯の森町、萩原1丁目、火打1丁目・2丁目、松が丘町、霞ヶ丘1丁目・2丁目
明峰	明峰 (全部)	滝山町8番、萩原2丁目・3丁目、萩原台東1丁目・2丁目、萩原台西1丁目~3丁目、鶯が丘、西多田字上平井田・湯山裏・南野山、西多田1丁目1番・2番、錦松台、鶯台1丁目・2丁目、湯山台1丁目・2丁目、南野坂1丁目・2丁目
多田	多田 (全部)	新田、矢間1丁目~3丁目、矢間東町、西多田 (明峰小学校区を除く)、西多田1丁目 (1番・2番を除く)、西多田2丁目、多田院 (清和台南小学校区を除く)、新田1丁目~3丁目、多田院1丁目・2丁目、多田院多田所町、多田院西1丁目、多田院西2丁目 (5番を除く)
	多田東 (全部)	東多田、平野、鼓が滝1丁目~3丁目、東多田1丁目~3丁目、多田桜木1丁目・2丁目、平野1丁目~3丁目
緑台	緑台	緑台1丁目~5丁目 (平成25年度以前の入学者は多田)、緑台7丁目、向陽台1丁目・2丁目
	陽明 (全部)	緑台6丁目、向陽台3丁目、水明台1丁目~4丁目、清流台
清和台	清和台 (全部)	石道、虫生、赤松、清和台東1丁目~3丁目、清和台西1丁目・2丁目
	清和台南 (全部)	柳谷、清和台東4丁目・5丁目、清和台西3丁目~5丁目、多田院字滝ヶ原・駒塚・井戸ヶ上、多田院西2丁目5番
	けやき坂 (全部)	芋生、若宮、けやき坂1丁目~5丁目
東谷	東谷 (全部)	見野1丁目~3丁目、東畦野1丁目~6丁目、東畦野山手1丁目・2丁目、西畦野1丁目・2丁目、山原1丁目・2丁目、緑が丘1丁目・2丁目、山下町、笹部1丁目~3丁目、下財町、一庫1丁目~3丁目、東畦野 (長尾を除く)、西畦野、山原、山下、笹部、一庫
	牧の台 (全部)	大和東1丁目~5丁目、大和西1丁目~5丁目、東畦野字長尾、長尾町
	北陵 (全部)	美山台1丁目~3丁目、丸山台1丁目~3丁目
	黒川 (全部)	国崎、黒川、横路

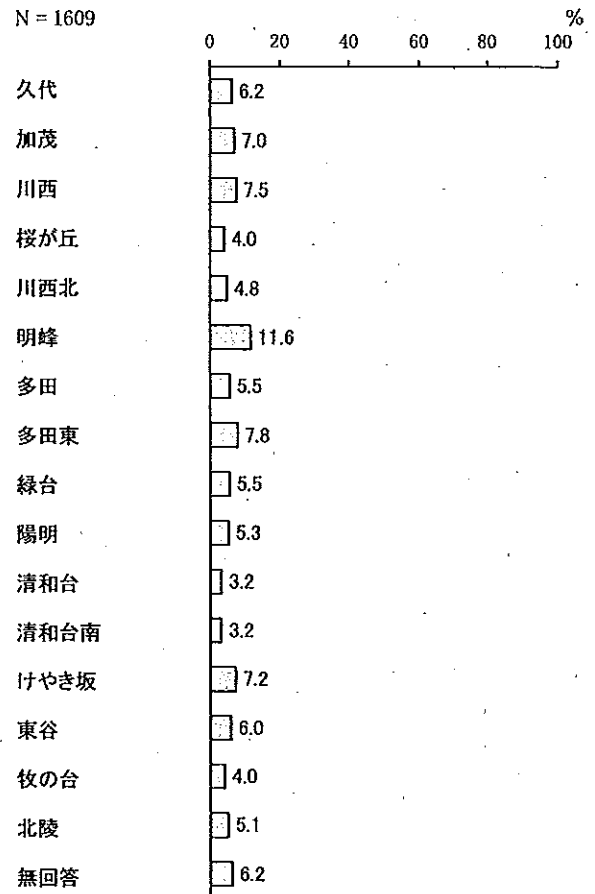
2. 調査結果

(1) お住まいの地域について

問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

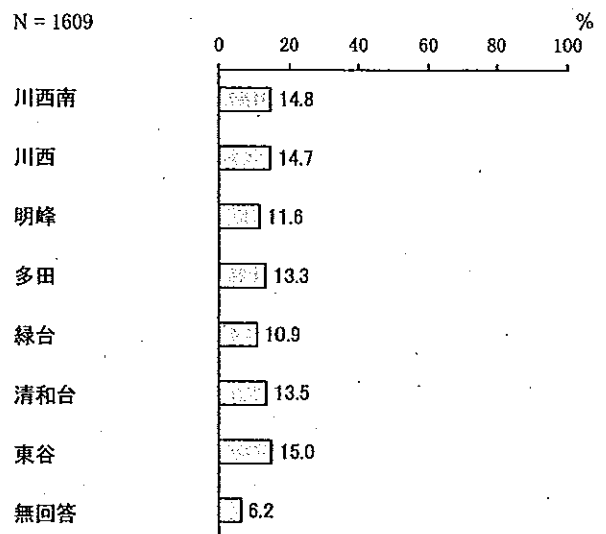
【小学校区】

「明峰」の割合が11.6%と最も高く、次いで「多田東」の割合が7.8%、「川西」の割合が7.5%となっています。



【中学校区】

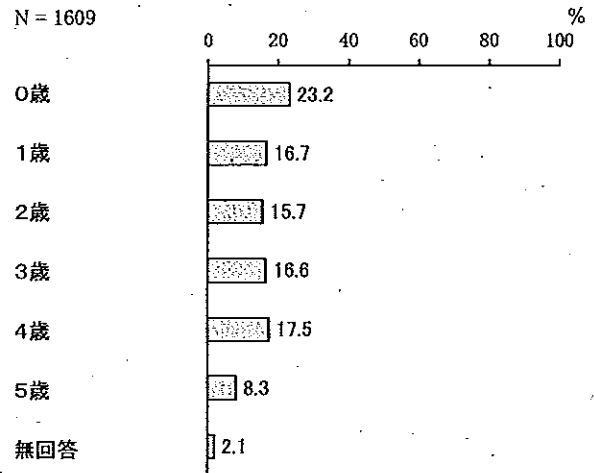
「東谷」の割合が15.0%と最も高く、次いで「川西南」の割合が14.8%、「川西」の割合が14.7%となっています。



(2) ご家族の状況について

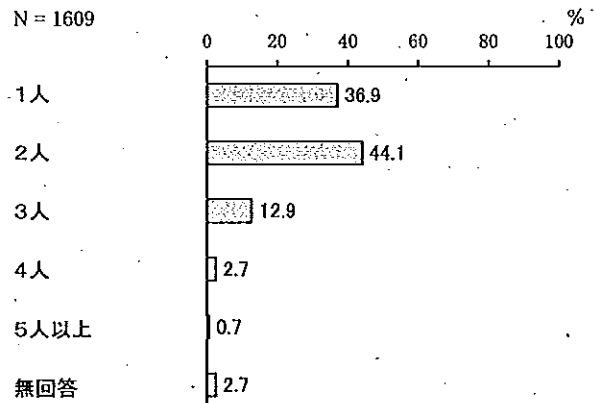
問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

「0歳」の割合が23.2%と最も高く、次いで「4歳」の割合が17.5%、「1歳」の割合が16.7%となっています。



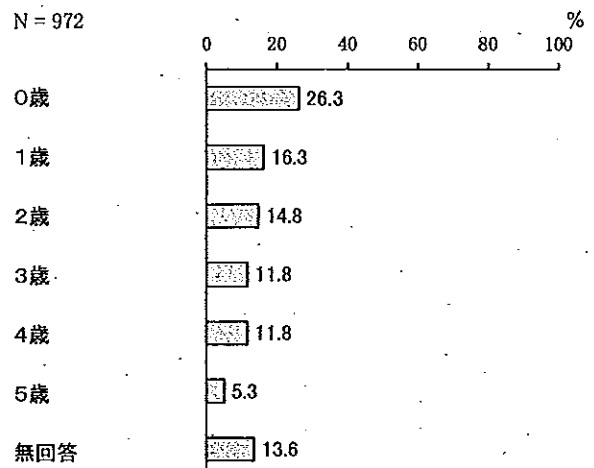
問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を__に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

「2人」の割合が44.1%と最も高く、次いで「1人」の割合が36.9%、「3人」の割合が12.9%となっています。



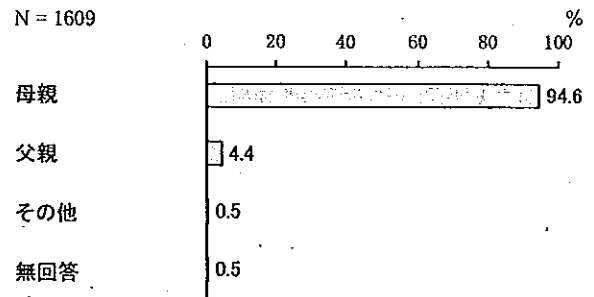
【末子の年齢】

「0歳」の割合が26.3%と最も高く、次いで「1歳」の割合が16.3%、「2歳」の割合が14.8%となっています。



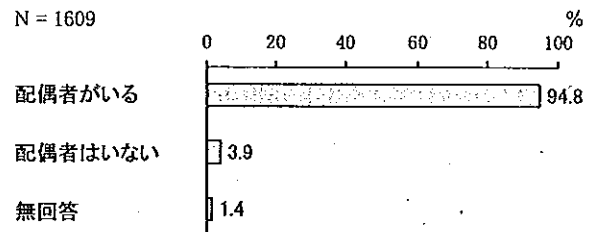
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の割合が94.6%、「父親」の割合が4.4%となっています。



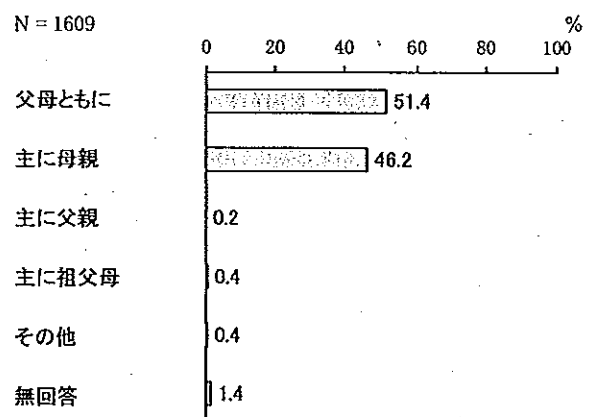
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」の割合が94.8%、「配偶者がいない」の割合が3.9%となっています。



問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

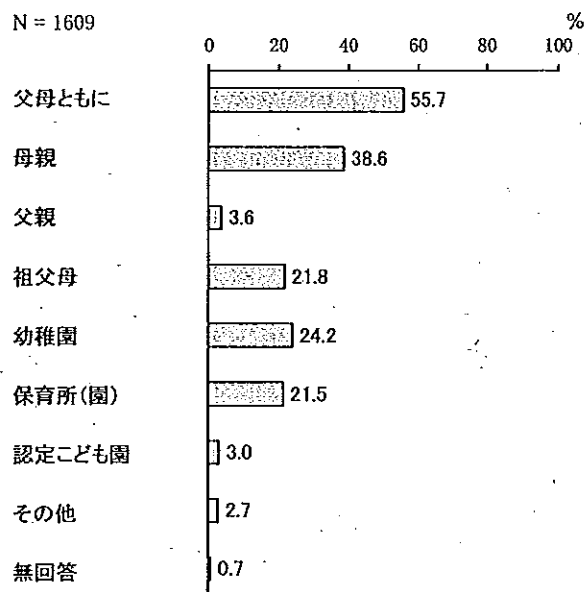
「父母ともに」の割合が51.4%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が46.2%となっています。



(3) 子どもの育ちをめぐる環境について

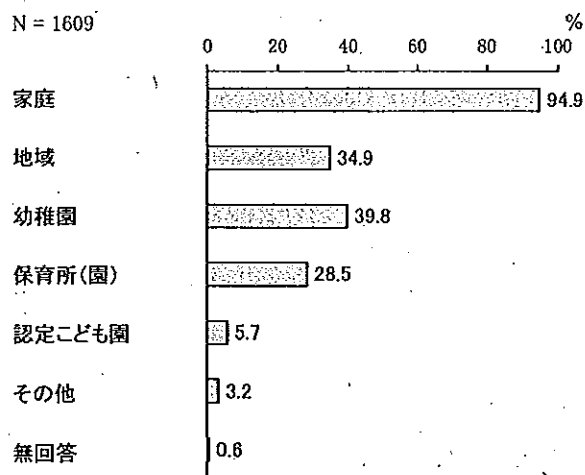
問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「父母ともに」の割合が55.7%と最も高く、次いで「母親」の割合が38.6%、「幼稚園」の割合が24.2%となっています。



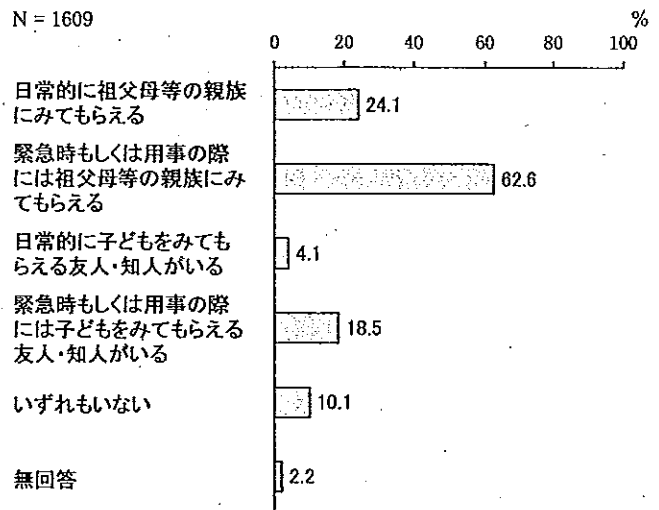
問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

「家庭」の割合が94.9%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が39.8%、「地域」の割合が34.9%となっています。



問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が62.6%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が24.1%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が18.5%となっています。



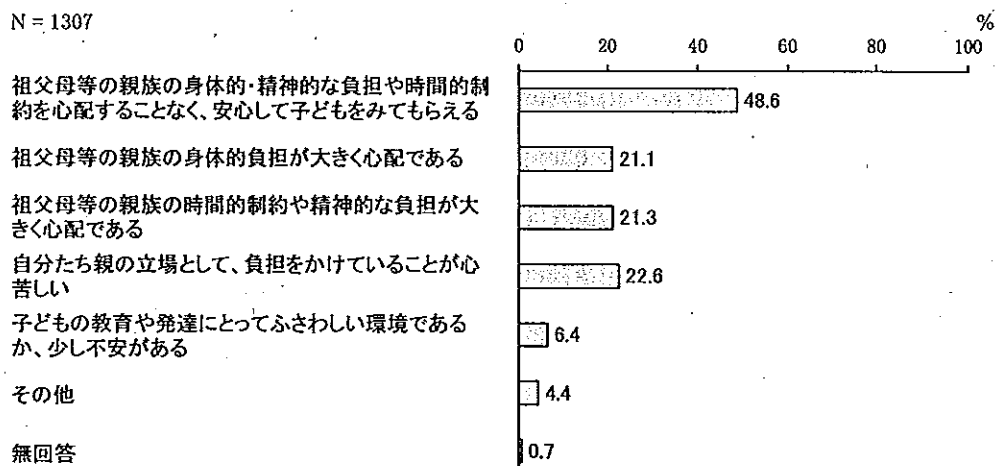
問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。

問9-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が48.6%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が22.6%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が21.3%となっています。

年齢別にみると、年齢が下がるにつれて、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が高くなっています。

母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」で「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が高く、約4割となっています。



[年齢別]

単位：%

	有効回答数(件)	祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	祖父母等の親族の身体的負担が小さく心配である	祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	その他	無回答
0歳	310	53.5	14.8	17.7	21.0	6.1	4.5	1.0
1歳	214	48.1	23.8	22.9	24.3	6.1	2.8	-
2歳	201	46.3	24.4	24.9	19.4	6.0	4.0	0.5
3歳	220	47.3	24.1	18.6	25.5	5.5	6.4	-
4歳	229	47.2	22.3	21.4	24.9	4.8	3.9	1.7
5歳	106	47.2	19.8	23.6	20.8	12.3	5.7	0.9

[母親の就労状況別]

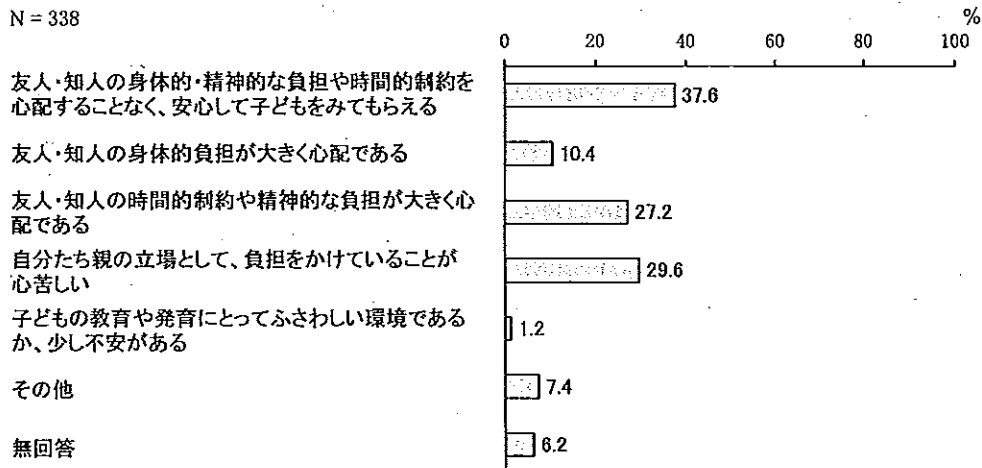
単位：%

	有効回答数(件)	祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	祖父母等の親族の身体的負担が小さく心配である	祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	206	28.6	29.6	32.5	40.8	7.3	4.4	1.0
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	105	55.2	15.2	20.0	18.1	3.8	1.9	1.0
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	196	48.5	24.0	20.9	23.0	6.1	7.1	1.0
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	12	41.7	25.0	25.0	33.3	8.3	-	-
以前は就労していたが、現在は就労していない	689	53.1	18.9	18.7	17.4	6.5	4.2	0.6
これまで就労したことがない	82	54.9	19.5	17.1	23.2	6.1	3.7	-

問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。

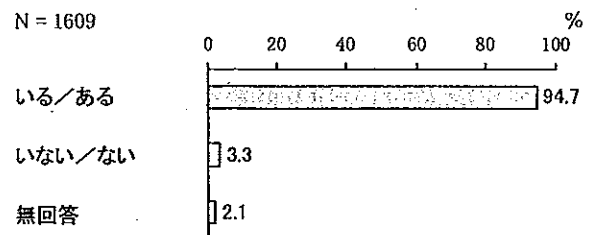
問9-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が37.6%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が29.6%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が27.2%となっています。



問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いる／ある」の割合が94.7%、「いない／ない」の割合が3.3%となっています。



問 10 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

問 10-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

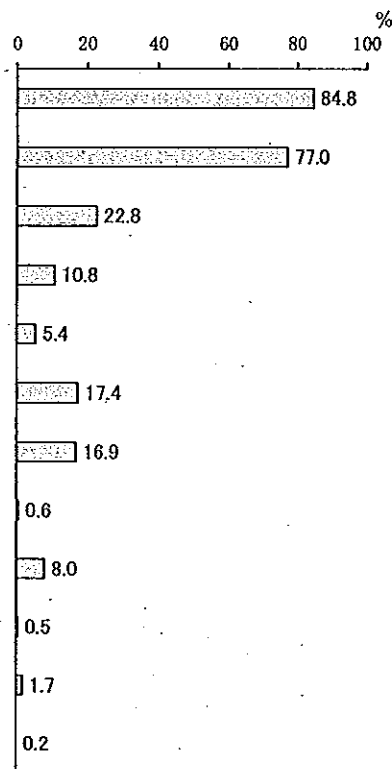
「祖父母等の親族」の割合が 84.8%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が 77.0%、「近所の人」の割合が 22.8%となっています。

年齢別にみると、4歳、5歳で「幼稚園教諭」の割合が高く、約4割となっています。

母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」で「保育士」の割合が高く、5割を超えています。

N = 1523

- 祖父母等の親族
- 友人や知人
- 近所の人
- 子育て支援施設(地域子育て支援拠点、児童館等)・NPO
- 保健所・保健センター
- 保育士
- 幼稚園教諭
- 民生委員・児童委員
- かかりつけの医師
- 自治体の子育て関連担当窓口
- その他
- 無回答



[年齢別]

単位：%

	有効回答数(件)	祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	子育て支援施設(地域子育て支援拠点、児童館等)・NPO	保健所・保健センター	保育士	幼稚園教諭	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	自治体の子育て関連担当窓口	その他	無回答
0歳	351	89.7	75.2	20.8	15.4	8.3	13.4	3.1	0.3	9.1	0.3	1.1	0.3
1歳	255	86.3	76.5	26.3	16.9	6.7	24.3	2.0	0.8	9.0	0.4	2.0	0.4
2歳	237	86.9	81.0	27.8	9.7	7.2	18.1	8.9	0.8	6.8	-	1.7	-
3歳	255	80.0	78.4	16.5	6.3	4.3	18.0	22.7	0.8	7.5	0.4	2.0	-
4歳	266	85.7	74.4	24.1	6.4	2.6	14.3	40.2	0.4	7.1	0.8	1.5	0.4
5歳	127	71.7	78.0	24.4	4.7	1.6	18.9	38.6	0.8	8.7	1.6	3.1	-

[母親の就労状況別]

単位：%

	有効回答数 (件)	祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	子育て支援施設(地域子育て支援拠点、児童館等)・NPO	保健所・保健センター	保育士	幼稚園教諭	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	自治体の子育て関連担当窓口	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	245	82.4	71.8	13.9	2.0	5.3	56.3	6.5	0.4	9.0	1.2	2.0	-
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	118	92.4	79.7	15.3	14.4	7.6	22.0	6.8	0.8	8.5	0.8	0.8	0.8
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	234	83.3	76.5	21.8	4.7	3.8	29.1	17.1	0.9	9.4	0.4	3.0	0.4
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	13	69.2	76.9	30.8	7.7	-	7.7	7.7	-	7.7	-	-	-
以前は就労していたが、現在は就労していない	799	85.6	78.5	27.4	14.8	5.9	3.0	20.7	0.5	7.8	0.3	1.5	-
これまで就労したことがない	98	82.7	75.5	20.4	11.2	5.1	3.1	26.5	1.0	4.1	-	1.0	1.0

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

※主な意見を抜粋しています。

【 幼稚園・保育所 】

- ・幼稚園にも延長保育制度があると助かります。
- ・私立幼稚園の就園奨励費の補助金を増やしてほしい
- ・保育所で日曜・祝日も平日と同じ待遇で預かってくれるようにしてほしい。
- ・私が住んでいる地域には子どもの一時預かりをするような施設がないので、そのような場所があると、助かるお母さんもいるのではと思います。

【 病気・予防接種 】

- ・子どもが病気になった時、どうしても仕事を休めない時だけでも、預かってくれる場所があると安心して働けます。
- ・保護者が病気になってしまった時に安心して預けたり、面倒をみてもらえるサポートがあればよいと思います。
- ・所得制限により乳幼児等医療費助成制度を受けられませんでした。
- ・小学校6年生まで（中学生になるまで）医療費を免除してほしい。
- ・時間外の病気やけが、救急時間外も安心して見てもらえる小児科や救急センターなどが川西市は少ないと思います。
- ・子どもの予防接種のスケジュールを立ててくれるサポートがほしい
- ・インフルエンザを含めて、子どもの予防接種をすべて無料にしてほしい。

【 子育て相談 】

- ・電話のみや予約が必要ではなく、常駐の保育士さんが数人に対応してくれるような。いつでも育児のことを相談できる場所が身近にあればよいと思う。
- ・児童館等で、保健師さんに身長や体重も測っていただき、栄養相談や不安なことを聞いていただける、0歳～就学前の子どもを対象にした子育て相談室があるとよいと思います。
- ・土日に相談できる場所、交流できる場所がほしい。
- ・働いている人向けに、遅い時間帯も利用できる電話相談。
- ・子どもの病気、けがなどの際に病院へ行くべきかどうか迷うことが多いので、夜間や休日だけでなく相談できればよいと思います。
- ・新生児の頃は、行政のサービスで自宅に訪問して相談などをしてくれたが、今はないので半年に1回ほど訪問してくれるようなサービスがあるとよいと思う。
- ・保健センターや市役所が遠いので、家の近くで検診を受けたり、手続きができるとう助かる。
- ・「こんにちは赤ちゃん」で家に来てくれるが玄関先での話だけなので、家の中に入ってもらい赤ちゃんもみながら落ち着いた環境の中で話を聞いてほしい。

【 交流 】

- ・0歳児の交流の場をもっとたくさん設けてほしい。
- ・近所にいる子育ての経験がある先輩方と、お話しするチャンスがありません。交流の場があればよいと思います。
- ・子どもの年の近い母親たちの交流の場が身近にほしい。参加しやすい環境をつくってほしい。
- ・まちの子育てひろばでいろいろなお友だちと遊んだり、経験をすることは子どもにとっても良いことだと思うし、母親にとっても子育ての悩みや共感できることを話し合える貴重な場所だと思います。

【 子どもの遊び場 】

- ・歩き始めの子どもでも楽しめるような、総合遊具がある公園が近くにあるとよい。
- ・ボール遊びなどができるような、子ども達がみんなで遊べる緑豊かな公園がほしいです。
- ・室内で子どもが走りまわって遊べるような場所を解放してほしい。
- ・子どもが自宅から徒歩か自転車で行けるぐらいの距離に、児童館のような所ができるとありがたいと思っています。

【 その他 】

- ・小学校の学童保育を3年生までではなく、6年生までしてほしい。
- ・第2子以降を出産する際、無料で産後の子育てサポートを産後1か月ぐらいだけでよいのでしてもらえると助かった。
- ・ファミリー・サポート・センターを利用したいと思うことがあるが、登録しに行かなければならないなど手続きが多くなかなか利用できない。
- ・就労中の為、平日の日中にある子育てサービスを利用できません。
- ・不審者の通報。声掛け。薄暗くなってからの見回り等。
- ・道で会えばあいさつや声かけをするような環境づくりができれば、親としてありがたく安心です。
- ・ベビーカーを使用している時、道がガタガタで危ないので歩道の整備をしてほしい。
- ・他市で、子どもの預かり保育などで利用できるクーポンを発行しているところがあるので、回数限定でそういったサービスを受けられたらよいと思う。
- ・幼稚園や小学校の役員の負担を減らすようにしてほしい。子どもと向き合う時間が取れるか不安。
- ・双子、多胎児に対してのサポートがもっと充実していたら、子育てが豊かになったのかなと思います。

(4) 保護者の就労状況について

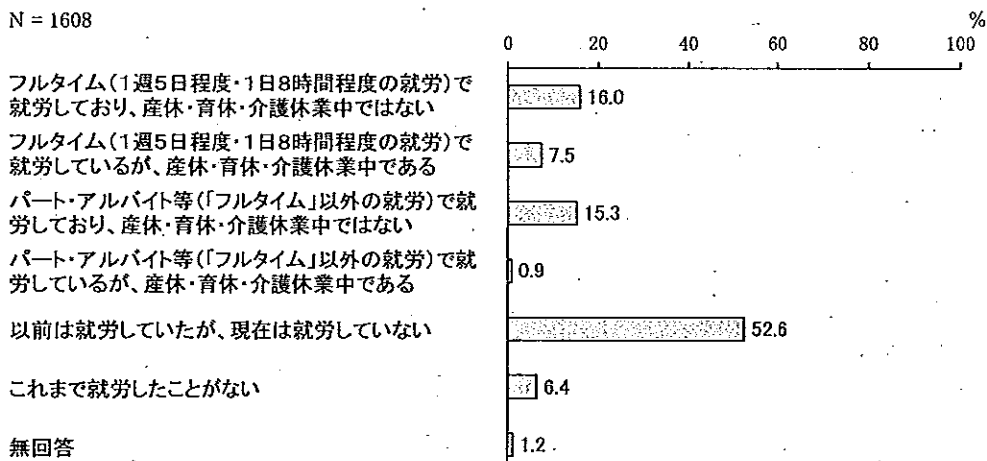
問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について
うかがいます。

(1) 母親の現在の就労状況

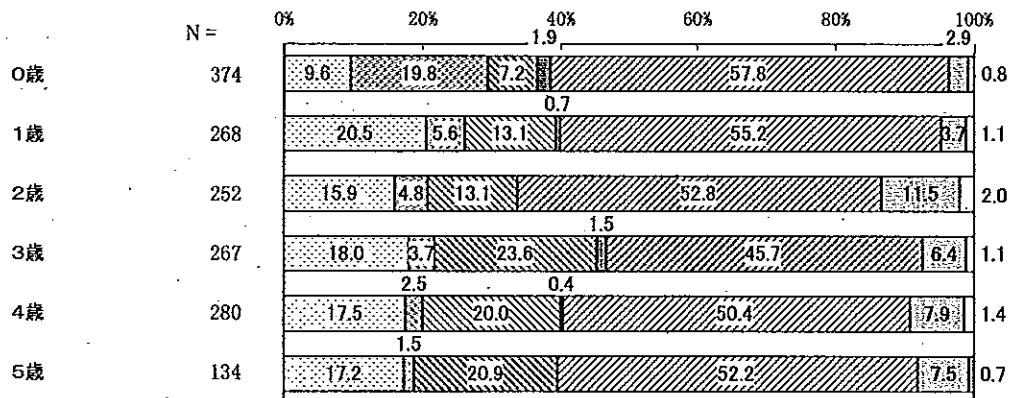
「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が52.6%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が16.0%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が15.3%となっています。

年齢別にみると、0歳で「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」の割合が高く、約2割となっています。

N = 1608



[年齢別]

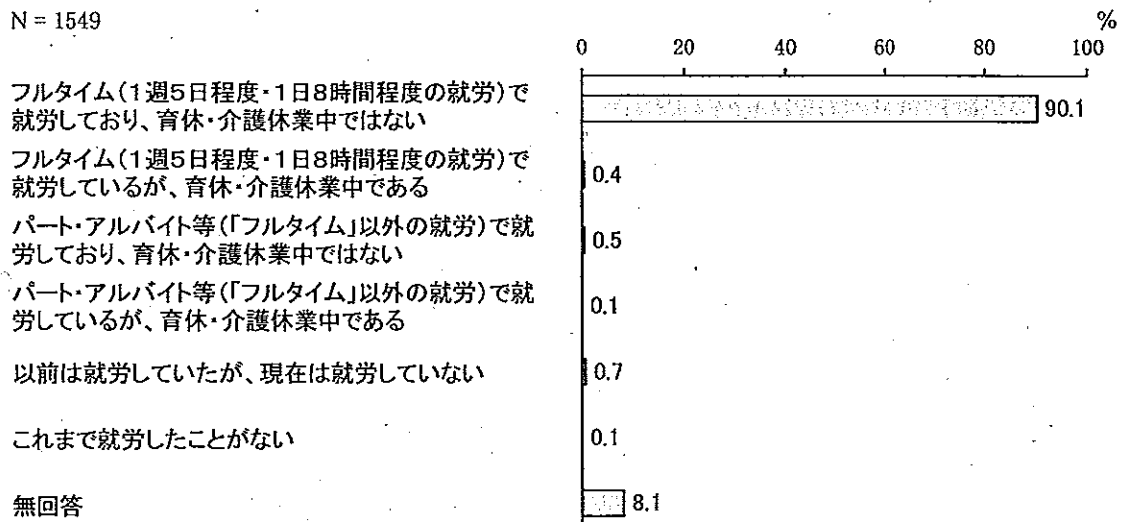


- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▨ フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▩ パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▧ パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▦ 以前は就労していたが、現在は就労していない
- ▤ これまで就労したことがない
- 無回答

(2) 父親の現在の就労状況

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が90.1%と最も高くなっています。

N = 1549



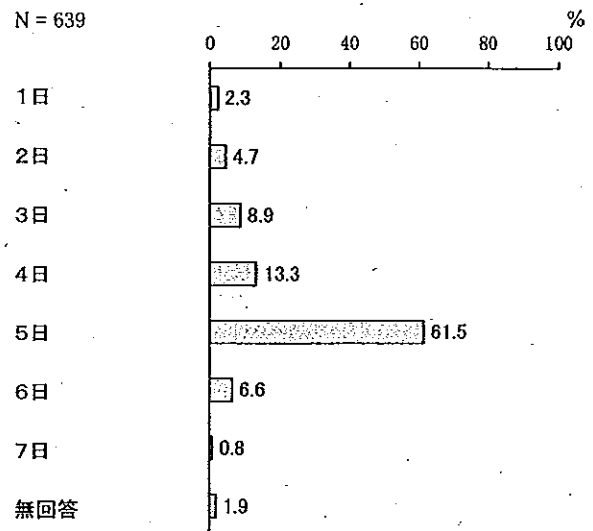
問12の(1)または(2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

【1週当たり就労日数(母親)】

「5日」の割合が61.5%と最も高く、次いで「4日」の割合が13.3%、「3日」の割合が8.9%となっています。

平均就労日数を年齢別で見ると、0歳で4.8日と最も多く、全体平均は4.6日となっています。



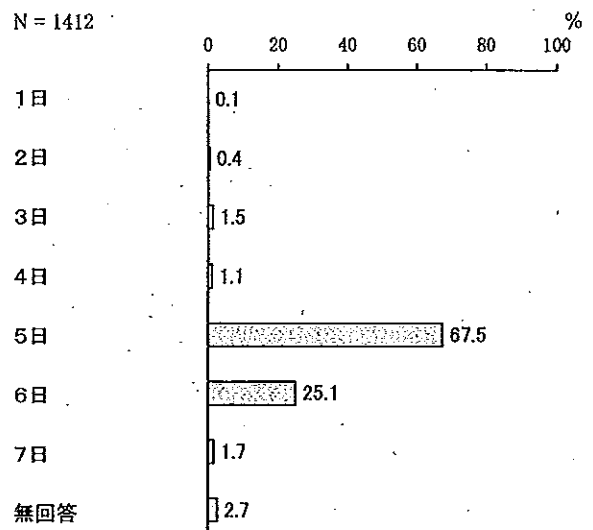
【年齢別 平均就労日数(母親)】

単位：日

全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
4.6	4.8	4.6	4.4	4.5	4.4	4.6

【1週当たり就労日数(父親)】

「5日」の割合が67.5%と最も高く、次いで「6日」の割合が25.1%、「7日」の割合が1.7%となっています。

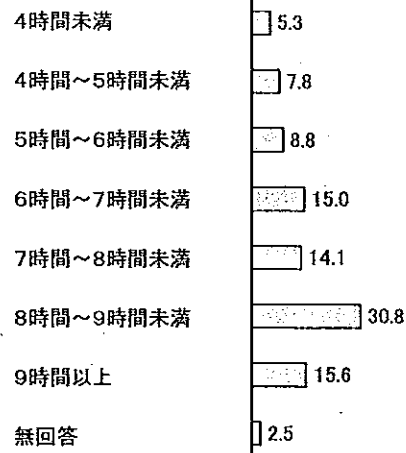


【1日当たり就労時間（残業時間を含む）（母親）】

「8時間～9時間未満」の割合が30.8%と最も高く、次いで「9時間以上」の割合が15.6%、「6時間～7時間未満」の割合が15.0%となっています。

平均就労時間を年齢別で見ると、0歳で7.6時間と最も多く、全体平均は7.0時間となっています。

N = 639



【年齢別 平均就労時間（母親）】

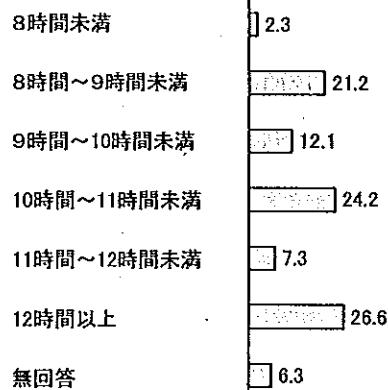
単位：時間

全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
7.0	7.6	7.2	7.2	6.5	6.7	6.8

【1日当たり就労時間（残業時間を含む）（父親）】

「12時間以上」の割合が26.6%と最も高く、次いで「10時間～11時間未満」の割合が24.2%、「8時間～9時間未満」の割合が21.2%となっています。

N = 1412

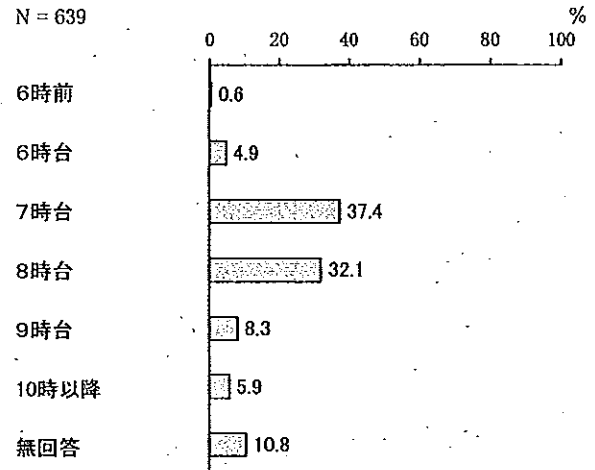


問12の(1)または(2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

【家を出る時刻(母親)】

「7時台」の割合が37.4%と最も高く、次いで「8時台」の割合が32.1%、「9時台」の割合が8.3%となっています。

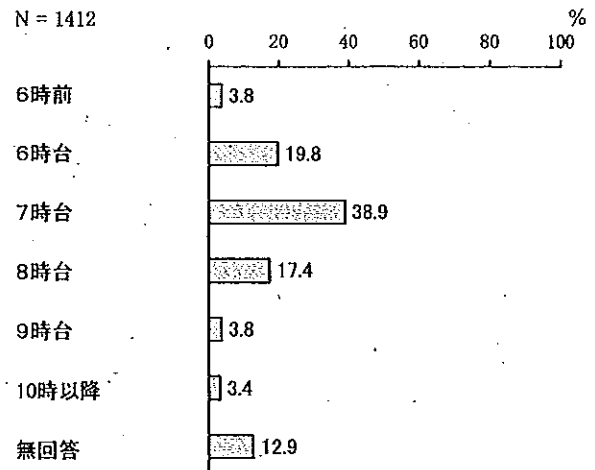


【年齢別 家を出る平均時刻(母親)】

全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
8時13分	7時57分	8時6分	8時14分	8時45分	8時6分	8時5分

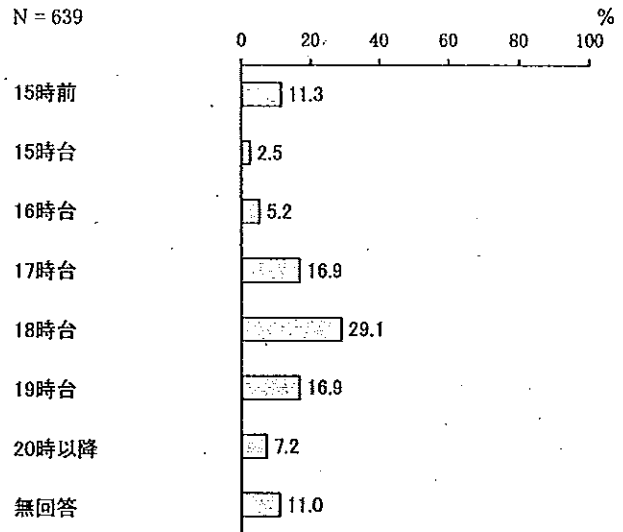
【家を出る時刻(父親)】

「7時台」の割合が38.9%と最も高く、次いで「6時台」の割合が19.8%、「8時台」の割合が17.4%となっています。



【帰宅時刻（母親）】

「18 時台」の割合が 29.1%と最も高く、次いで「17 時台」「19 時台」の割合が 16.9%となっています。

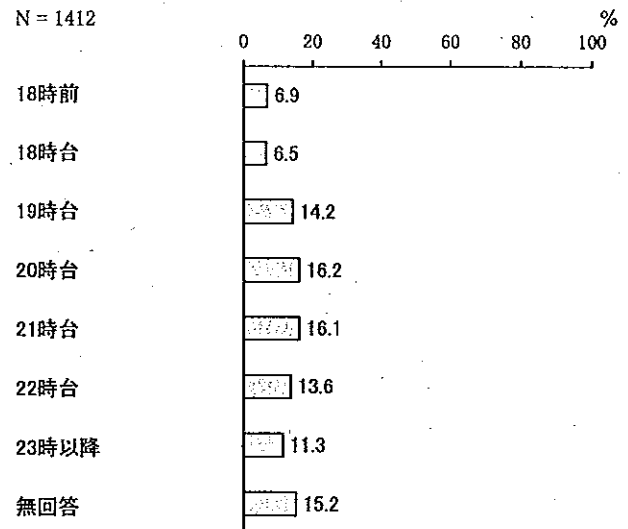


[年齢別 平均帰宅時刻（母親）]

全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
17時29分	17時47分	17時51分	17時21分	17時12分	17時3分	17時43分

【帰宅時刻（父親）】

「20 時台」の割合が 16.2%と最も高く、次いで「21 時台」の割合が 16.1%、「19 時台」の割合が 14.2%となっています。



問12の(1)または(2)で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。

問13 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

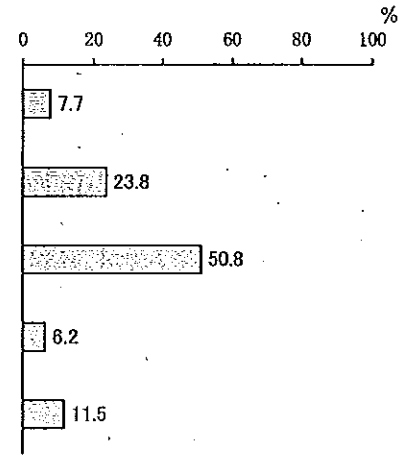
(1) 母親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が50.8%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が23.8%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が7.7%となっています。

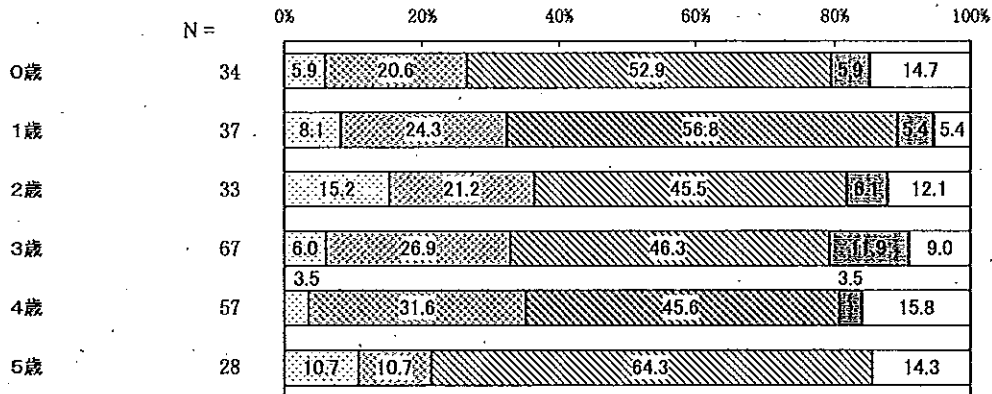
年齢別にみると、3歳で「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」の割合が高く、約1割となっています。

N = 260

- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答



[年齢別]



- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答

(2) 父親

「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が4件、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」が1件となっています。

問12の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。

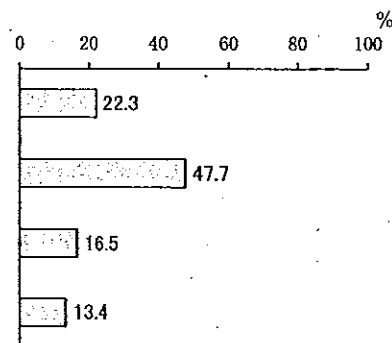
問14 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する___には数字をご記入ください。

(1) 母親

「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」の割合が47.7%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が22.3%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が16.5%となっています。

N = 949

子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい
 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
 無回答

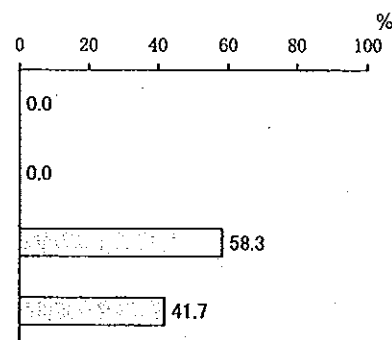


(2) 父親

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が58.3%となっています。

N = 12

子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい
 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
 無回答



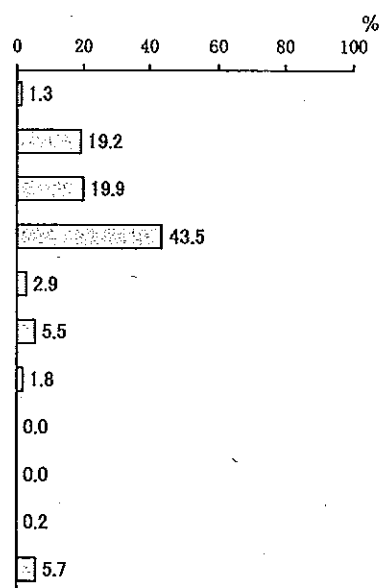
2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい

(1) 母親

「6歳~7歳」の割合が43.5%と最も高く、次いで「4歳~5歳」の割合が19.9%、「2歳~3歳」の割合が19.2%となっています。

N = 453

0歳~1歳
 2歳~3歳
 4歳~5歳
 6歳~7歳
 8歳~9歳
 10歳~11歳
 12歳~13歳
 14歳~15歳
 16歳~17歳
 18歳以上
 無回答



(2) 父親

該当者はいません。

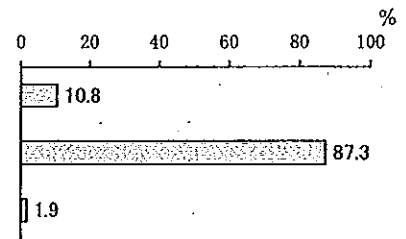
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

【希望する就労形態（母親）】

「パートタイム、アルバイト等」の割合が87.3%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が10.8%となっています。

N = 157

フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
パートタイム、アルバイト等
無回答



【希望する就労形態（父親）】

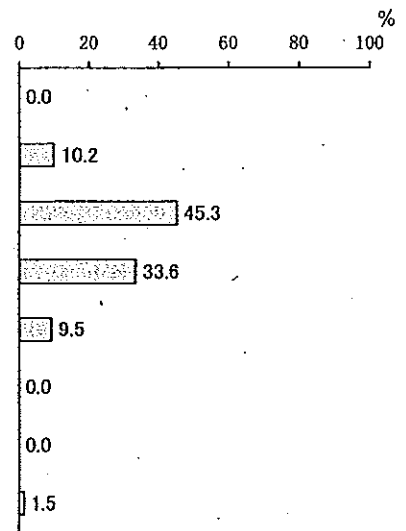
「フルタイム」が6件となっています。

【希望の1週当たり日数（母親）】

「3日」の割合が45.3%と最も高く、次いで「4日」の割合が33.6%、「2日」の割合が10.2%となっています。

N = 137

1日
2日
3日
4日
5日
6日
7日
無回答



平均日数を年齢別で見ると、0歳で4.0日と最も多く、全体平均は3.5日となっています。

【年齢別 平均日数（母親）】

単位：日

全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
3.5	4.0	3.5	3.5	3.1	3.4	3.8

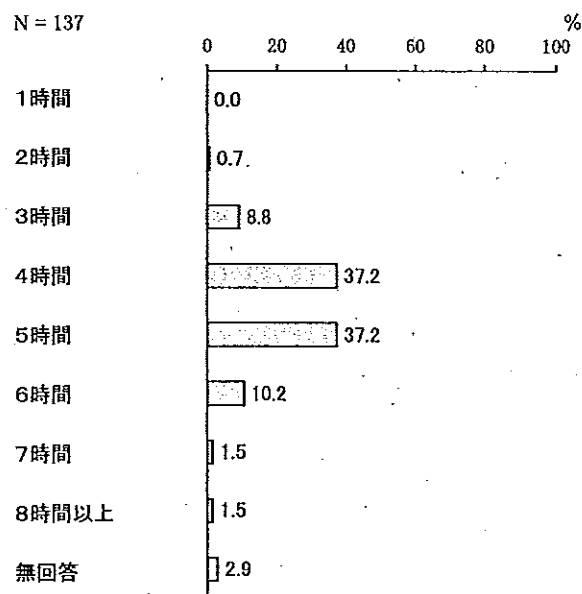
【希望の1週当たり日数（父親）】

該当者はいません。

【希望の1日当たり時間（母親）】

「4時間」「5時間」の割合が37.2%とともに高く、「6時間」の割合が10.2%となっています。

平均時間を年齢別で見ると、0歳で5.5時間と最も多く、全体平均は4.6時間となっています。



【年齢別 平均時間（母親）】

単位：時間

全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
4.6	5.5	5.0	4.2	4.2	4.6	4.7

【希望の1日当たり時間（父親）】

該当者はいません。

(5) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

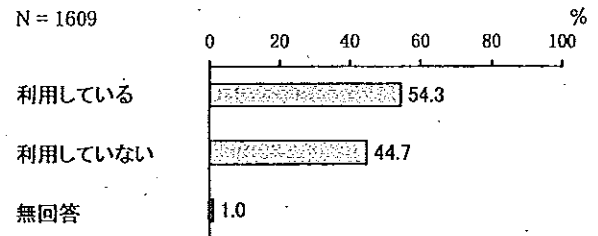
問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所（園）などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用している」の割合が54.3%、「利用していない」の割合が44.7%となっています。

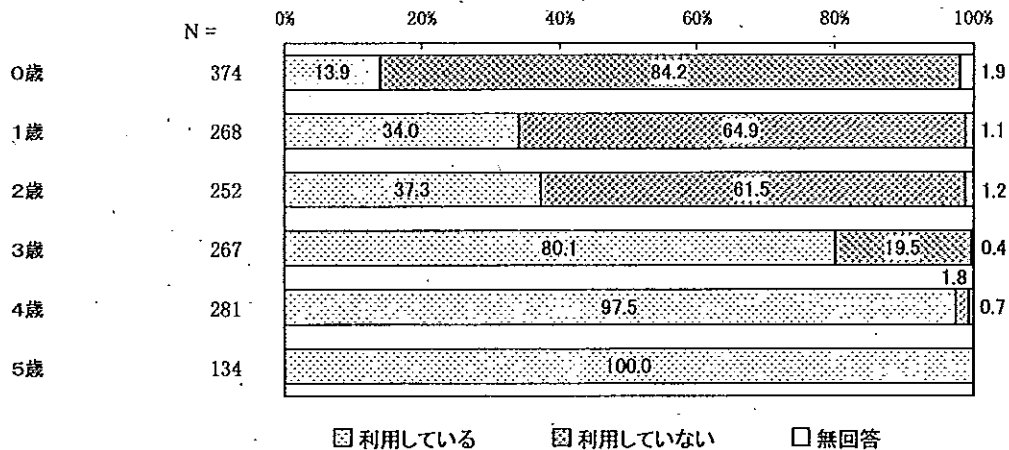
年齢別にみると、年齢が上がるにつれて、「利用している」の割合が高くなっています。特に、5歳では100.0%となっています。

母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」で「利用している」の割合が高く、9割を超えています。

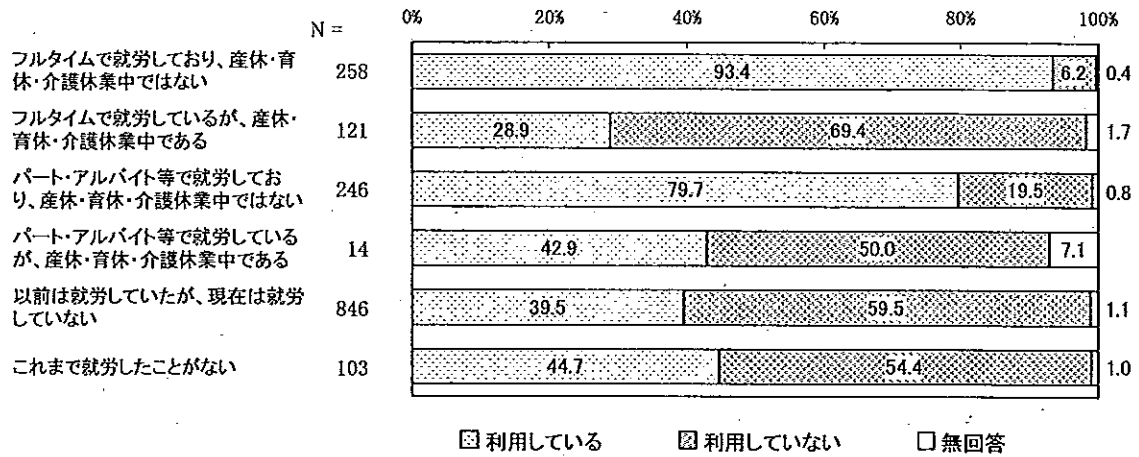
中学校区別にみると、緑台で「利用している」の割合が高く、約6割となっています。



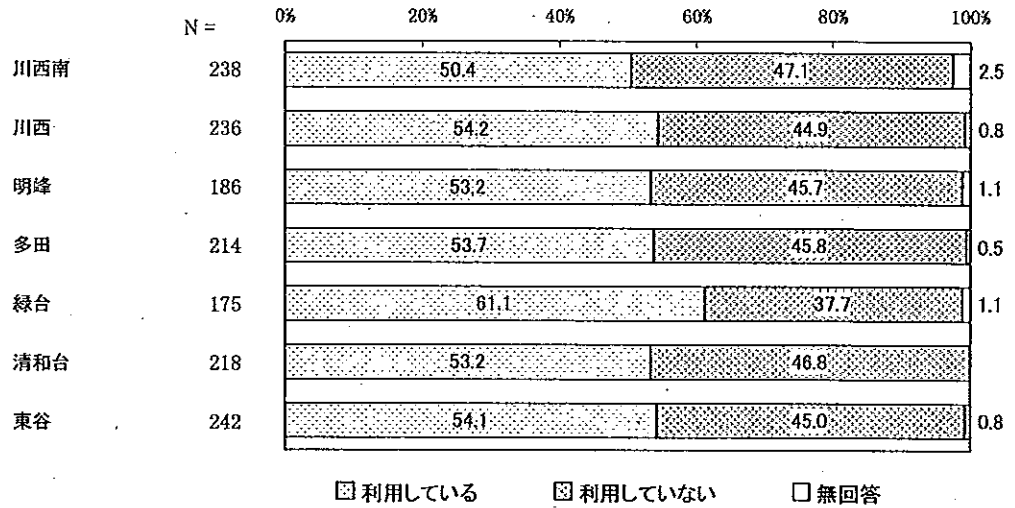
[年齢別]



[母親の就労状況別]



[中学校区別]



問 15-1～問 15-4 は、問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 15-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。
年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

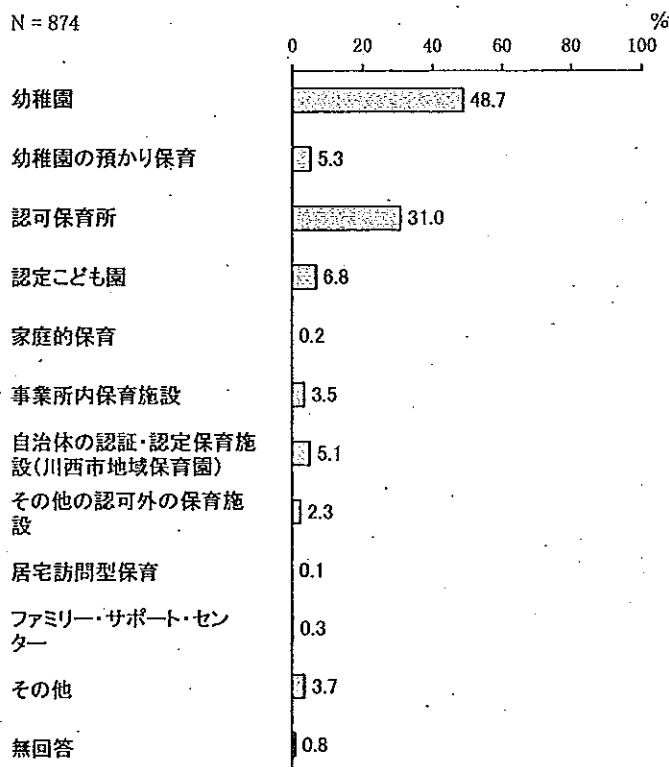
「幼稚園」の割合が 48.7% と最も高く、次いで「認可保育所」の割合が 31.0%、「認定こども園」の割合が 6.8% となっています。

年齢別にみると、0～2歳で「認可保育所」、3～5歳で「幼稚園」の割合が高くなっています。

母親の就労状況別にみると、就労していない人で「幼稚園」の割合が高く、7割を超えています。

中学校区別にみると、川西で「認可保育所」の割合が高く、4割を超えています。

N = 874



[年齢別]

単位：%

	有効回答数(件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設(川西市地域保育園)	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
0歳	52	-	-	57.7	5.8	-	9.6	15.4	5.8	-	1.9	3.8	-
1歳	91	3.3	1.1	53.8	11.0	1.1	9.9	12.1	8.8	-	-	1.1	-
2歳	94	10.6	3.2	54.3	11.7	-	7.4	5.3	2.1	-	1.1	13.8	2.1
3歳	214	52.8	7.9	30.4	8.4	-	2.3	2.3	0.5	0.5	-	3.7	0.9
4歳	274	70.8	5.5	18.2	4.0	0.4	0.7	3.6	1.5	-	-	2.2	0.7
5歳	134	73.1	6.7	15.7	4.5	-	2.2	4.5	1.5	-	0.7	0.7	-

[母親の就労状況別]

単位：%

	有効回答数(件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設 (川西市地域保育園)	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	241	10.8	5.4	66.0	4.6	-	7.1	9.1	3.7	-	0.8	0.8	0.8
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	35	17.1	8.6	51.4	17.1	-	2.9	2.9	8.6	-	-	-	-
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	196	37.8	9.7	37.2	10.2	1.0	6.6	8.2	1.5	0.5	-	1.0	-
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	6	33.3	-	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
以前は就労していたが、現在は就労していない	334	83.8	2.1	2.1	6.0	-	-	1.5	0.9	-	0.3	6.3	0.9
これまで就労したことがない	46	71.7	2.2	4.3	4.3	-	-	2.2	-	-	-	13.0	4.3

[中学校区別]

単位：%

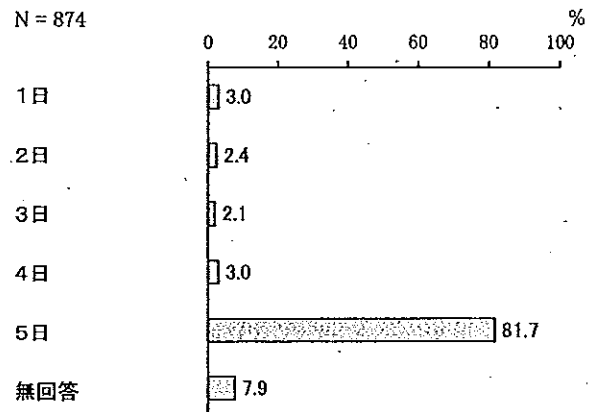
	有効回答数(件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設 (川西市地域保育園)	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
川西南	120	44.2	4.2	39.2	4.2	-	4.2	4.2	2.5	0.8	-	4.2	-
川西	128	41.4	3.9	45.3	0.8	-	0.8	6.3	3.1	-	0.8	1.6	1.6
明峰	99	53.5	7.1	28.3	3.0	-	6.1	5.1	1.0	-	-	5.1	2.0
多田	115	47.8	0.9	26.1	4.3	0.9	5.2	7.0	7.8	-	-	3.5	-
緑台	107	47.7	2.8	30.8	12.1	-	1.9	5.6	1.9	-	-	2.8	0.9
清和台	116	56.9	11.2	23.3	6.9	-	4.3	2.6	0.9	-	0.9	4.3	0.9
東谷	131	50.4	6.9	22.9	16.0	-	3.1	2.3	-	-	-	5.3	0.8

問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、___に具体的な数字でご記入ください。

(1) 現在

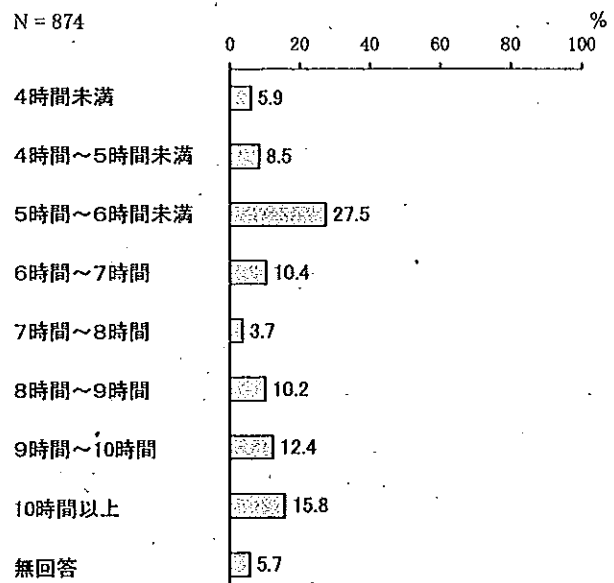
【1週当たり利用日数】

「5日」の割合が81.7%と最も高く、次いで「1日」「4日」の割合が3.0%となっています。



【1日当たり利用時間】

「5時間～6時間未満」の割合が27.5%と最も高く、次いで「10時間以上」の割合が15.8%、「9時間～10時間未満」の割合が12.4%となっています。

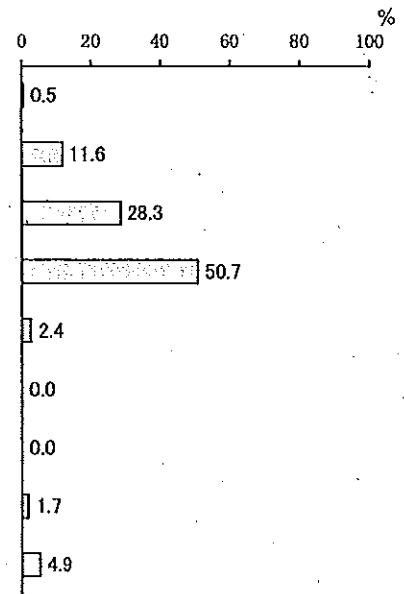


【開始時刻】

「9時台」の割合が50.7%と最も高く、次いで「8時台」の割合が28.3%、「7時台」の割合が11.6%となっています。

N = 874

7時前
7時台
8時台
9時台
10時台
11時台
12時台
13時以降
無回答

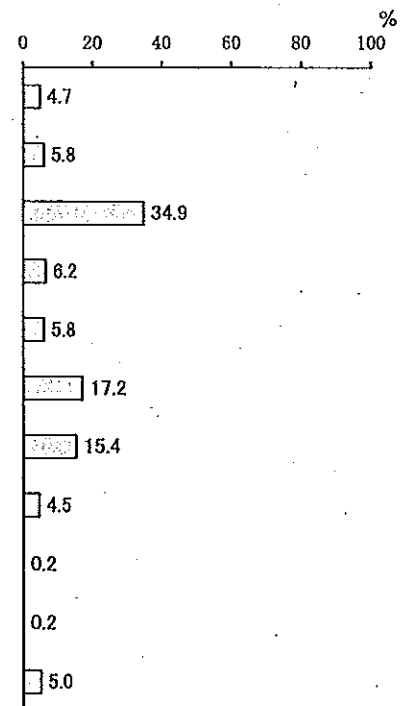


【終了時刻】

「14時台」の割合が34.9%と最も高く、次いで「17時台」の割合が17.2%、「18時台」の割合が15.4%となっています。

N = 874

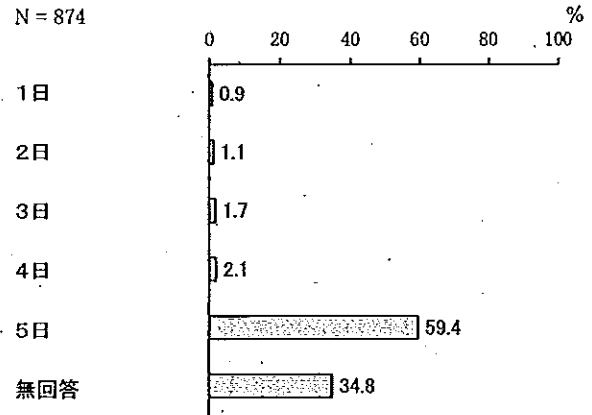
13時前
13時台
14時台
15時台
16時台
17時台
18時台
19時台
20時台
21時以降
無回答



(2) 希望

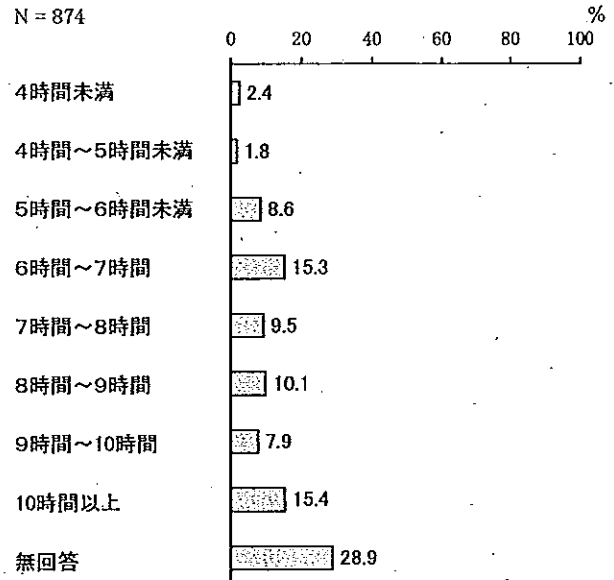
【1週当たり利用日数】

「5日」の割合が59.4%と最も高く、次いで「4日」の割合が2.1%、「3日」の割合が1.7%となっています。



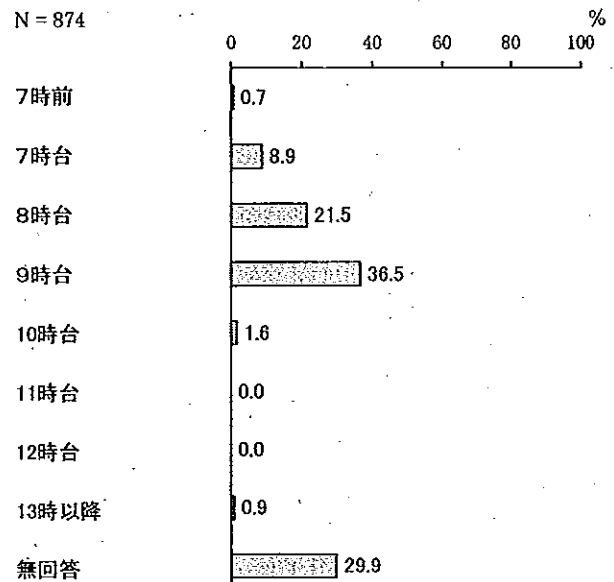
【1日当たり利用時間】

「10時間以上」の割合が15.4%と最も高く、次いで「6時間～7時間未満」の割合が15.3%、「8時間～9時間未満」の割合が10.1%となっています。



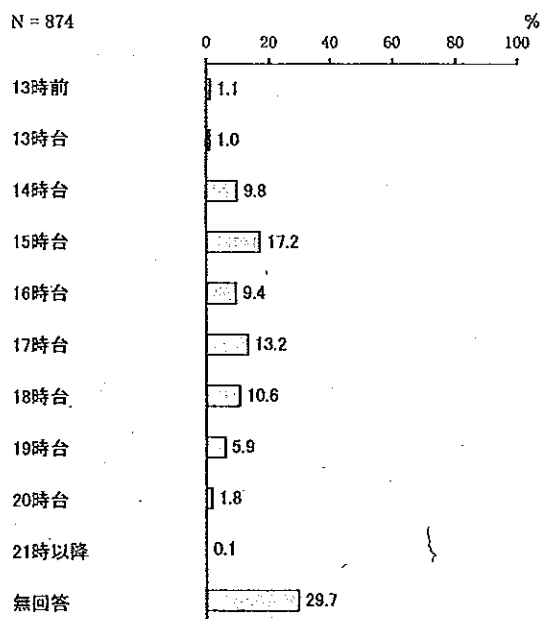
【開始時刻】

「9時台」の割合が36.5%と最も高く、次いで「8時台」の割合が21.5%、「7時台」の割合が8.9%となっています。



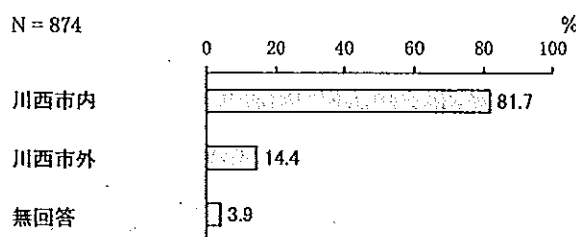
【終了時刻】

「15 時台」の割合が 17.2%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 13.2%、「18 時台」の割合が 10.6%となっています。



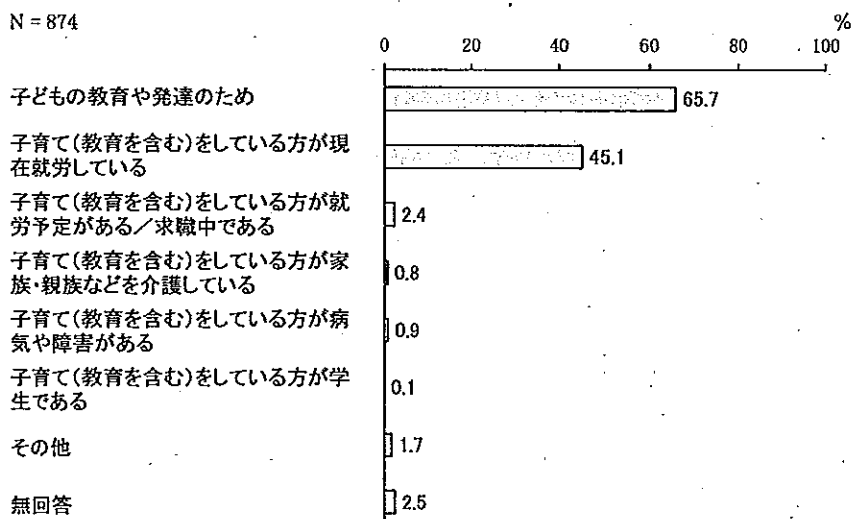
問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけ、「2.」を選択した場合は該当する市町を記入してください。(県外市町を含みます。)

「川西市内」の割合が 81.7%、「川西市外」の割合が 14.4%となっています。



問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

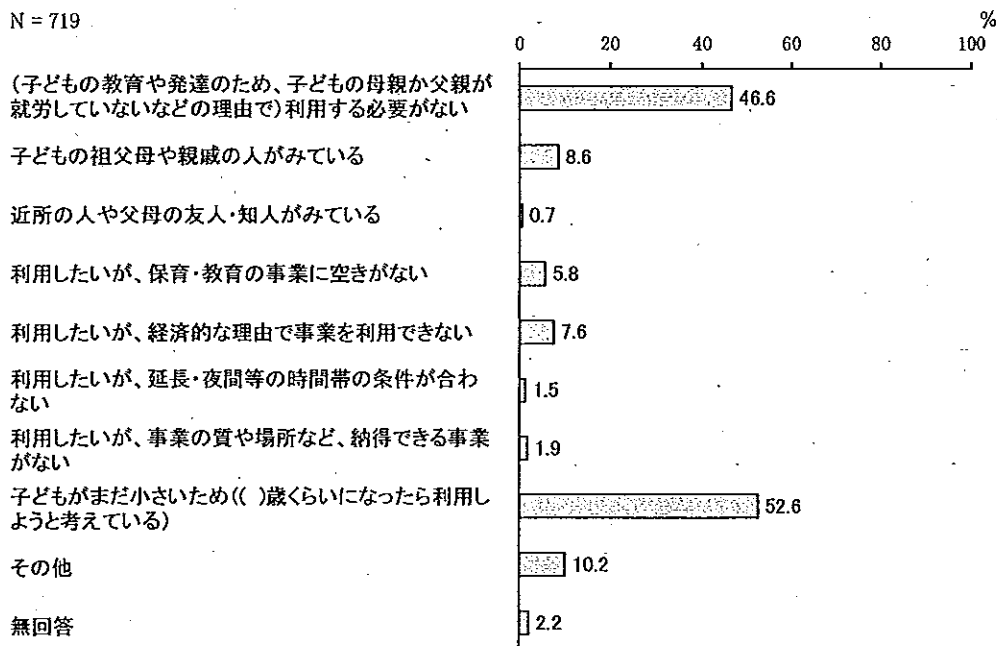
「子どもの教育や発達のため」の割合が 65.7%と最も高く、次いで「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」の割合が 45.1%、「子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である」の割合が 2.4%となっています。



問 15で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

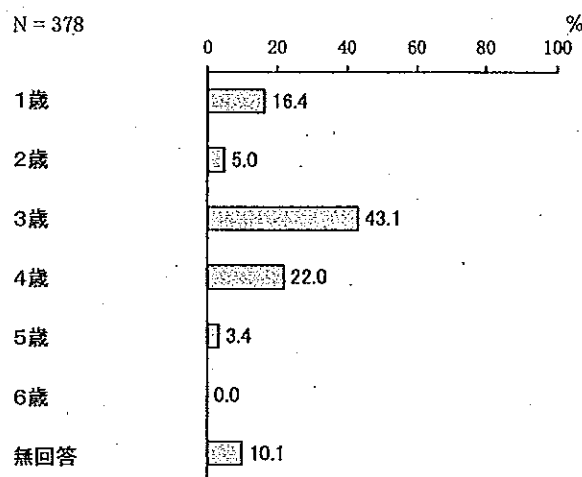
問 15-5 利用していない理由は何ですか。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている」の割合が52.6%と最も高く、次いで「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」の割合が46.6%、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」の割合が8.6%となっています。



8. 子どもがまだ小さいため（ ___歳くらいになったら利用しようと考えている）

「3歳」の割合が43.1%と最も高く、次いで「4歳」の割合が22.0%、「1歳」の割合が16.4%となっています。



すべての方にうかがいます。

問 16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

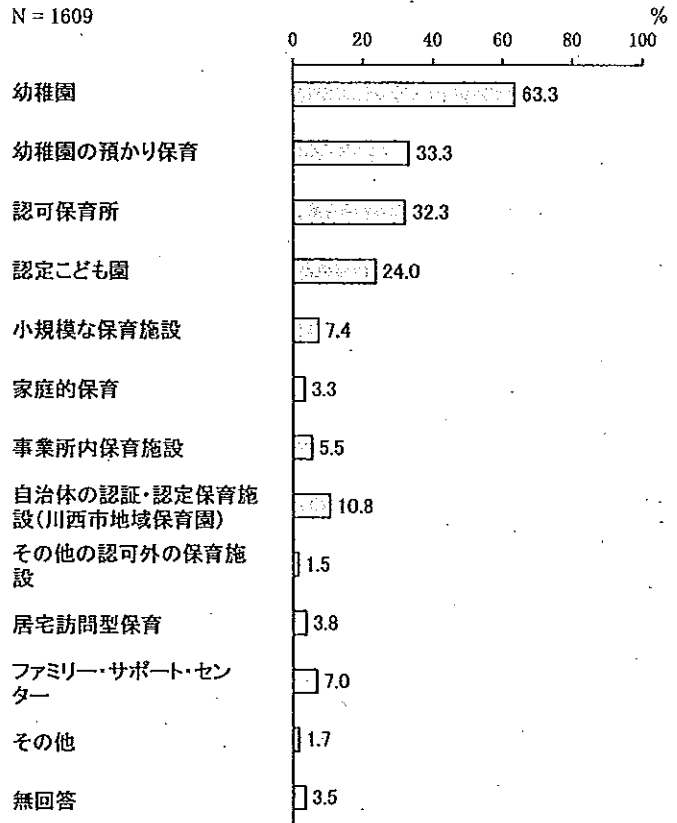
「幼稚園」の割合が 63.3%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」の割合が 33.3%、「認可保育所」の割合が 32.3%となっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「幼稚園」の割合が高くなっています。

母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」で「認定こども園」の割合が高く、4割を超えています。

中学校区別にみると、川西で「認可保育所」の割合が高く、約4割を超えています。

N = 1609



【年齢別】

単位：%

	有効回答数(件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設(川西市地域保育園)	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
0歳	374	50.8	25.9	46.0	29.9	10.4	2.7	7.2	17.9	2.4	3.2	6.4	1.3	5.3
1歳	268	60.1	31.7	38.8	30.2	9.7	4.1	6.0	14.6	1.9	6.7	6.7	1.5	3.0
2歳	252	66.3	29.8	28.2	21.4	4.8	3.2	5.2	8.7	0.8	4.0	8.7	1.6	5.6
3歳	267	67.4	38.2	28.1	21.0	5.2	4.1	3.7	5.6	-	3.7	6.7	1.9	2.6
4歳	281	71.2	39.5	22.1	18.9	6.0	3.6	4.6	7.5	1.8	2.5	5.7	1.8	2.1
5歳	134	75.4	41.8	19.4	16.4	6.7	2.2	6.0	5.2	0.7	2.2	9.7	3.0	-

[母親の就労状況別]

単位：%

	有効回答数 (件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設 (川西市地域保育園)	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	258	27.1	27.9	65.5	27.1	7.4	3.1	6.6	14.3	1.2	7.4	9.7	2.3	1.9
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	121	28.9	29.8	73.6	44.6	13.2	3.3	9.9	26.4	7.4	3.3	9.1	-	2.5
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	246	59.3	37.0	37.4	30.9	6.9	6.5	8.1	12.2	1.2	3.3	8.5	1.2	2.8
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	14	35.7	21.4	64.3	14.3	7.1	-	-	-	-	-	7.1	-	7.1
以前は就労していたが、現在は就労していない	846	79.1	34.0	16.9	19.5	6.7	2.6	4.5	8.2	0.7	3.2	5.7	2.0	4.3
これまで就労したことがない	103	80.6	38.8	10.7	13.6	6.8	1.9	1.9	4.9	1.0	1.9	4.9	1.0	3.9

[中学校区別]

単位：%

	有効回答数 (件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設 (川西市地域保育園)	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
川西南	238	59.2	32.8	30.7	21.8	8.8	2.1	5.0	13.9	0.8	2.9	5.5	2.1	5.5
川西	236	57.6	35.2	43.2	19.5	8.1	2.1	7.2	14.0	1.7	4.7	6.8	2.1	3.8
明峰	186	68.8	32.3	28.0	16.7	7.0	3.8	4.8	10.8	-	4.3	7.5	2.7	3.2
多田	214	64.5	32.7	33.6	23.8	8.4	3.3	6.1	12.1	4.2	3.7	5.1	0.9	2.8
緑台	175	63.4	36.6	36.6	30.3	8.6	2.9	5.7	6.9	1.1	2.9	9.1	2.3	2.9
清和台	218	70.2	30.3	30.3	25.2	6.0	3.7	6.0	8.3	1.4	3.7	5.0	1.4	3.7
東谷	242	61.6	33.5	23.1	30.6	6.2	5.0	5.0	9.1	0.8	4.1	10.3	1.7	2.5

問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけ、「2.」を選択した場合は該当する市町名を記入してください。
(県外市町を含みます。)

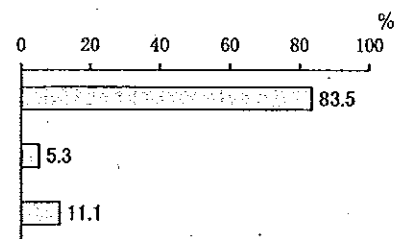
「川西市内」の割合が 83.5%、「川西市外」の割合が 5.3%となっています。

N = 1609

川西市内

川西市外

無回答



(6) 地域の子育て支援事業の利用状況について

問17 宛名のお子さんは、現在、保育所（園）等で実施している、地域子育て支援ルーム等を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を___に数字でご記入ください。

「地域子育て支援ルーム「プレイルーム」」の割合が10.1%と最も高く、次いで「地域子育て支援ルーム「アップル」」の割合が6.1%となっています。一方、「利用していない」の割合が79.4%となっています。

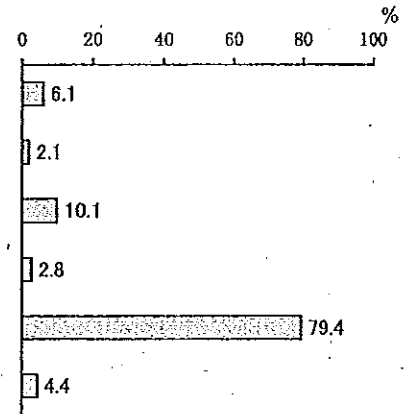
年齢別にみると、1歳以上で年齢が上がるにつれて、「利用していない」の割合が高くなっています。

母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」で「利用していない」の割合が高く、9割を超えています。

中学校区別にみると、緑台で「利用していない」の割合が高く、約9割となっています。

N = 1609

- 地域子育て支援ルーム「アップル」
- 地域子育て支援センター「タブリエ」
- 地域子育て支援ルーム「プレイルーム」
- 地域子育て支援ルーム「出張プレイルーム」
- 利用していない
- 無回答



[年齢別]

単位：%

	有効回答数(件)	地域子育て支援ルーム「アップル」	地域子育て支援センター「タブリエ」	地域子育て支援ルーム「プレイルーム」	地域子育て支援ルーム「出張プレイルーム」	利用していない	無回答
0歳	374	8.3	3.5	16.8	3.7	73.5	2.7
1歳	268	12.7	3.4	13.4	6.0	66.8	4.9
2歳	252	6.3	2.8	17.9	3.6	71.0	4.4
3歳	267	2.6	0.7	4.1	1.1	88.4	4.5
4歳	281	2.5	0.4	1.1	0.7	92.2	5.3
5歳	134	-	0.7	0.7	0.7	93.3	4.5

[母親の就労状況別]

単位：%

	有効回答数(件)	地域子育て支援ルーム 「アップル」	地域子育て支援センター 「タブリエ」	地域子育て支援ルーム 「ブレイルーム」	地域子育て支援ルーム 「出張ブレイルーム」	利用していない	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	258	1.2	0.4	1.2	0.4	92.6	4.7
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	121	10.7	5.0	14.9	3.3	75.2	2.5
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	246	2.4	1.2	5.7	1.6	84.1	6.5
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	14	7.1	-	7.1	7.1	78.6	7.1
以前は就労していたが、現在は就労していない	846	8.4	2.4	13.6	3.9	74.3	3.5
これまで就労したことがない	103	2.9	2.9	11.7	1.9	79.6	5.8

[中学校区別]

単位：%

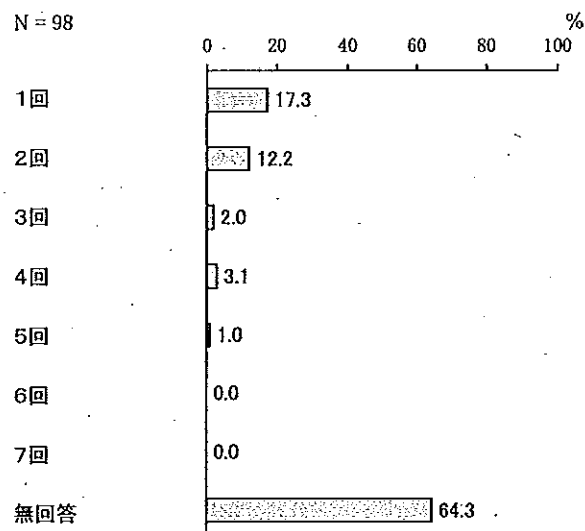
	有効回答数(件)	地域子育て支援ルーム 「アップル」	地域子育て支援センター 「タブリエ」	地域子育て支援ルーム 「ブレイルーム」	地域子育て支援ルーム 「出張ブレイルーム」	利用していない	無回答
川西南	238	12.2	0.4	8.4	-	77.7	3.4
川西	236	8.5	5.5	16.9	0.4	74.2	4.7
明峰	186	3.2	4.3	11.8	0.5	78.5	6.5
多田	214	12.1	1.9	4.7	-	80.4	4.7
緑台	175	5.1	-	5.7	0.6	86.3	5.1
清和台	218	2.3	0.5	5.5	13.8	79.4	3.2
東谷	242	0.8	1.2	15.3	3.7	81.4	2.1

1. 地域子育て支援ルーム「アップル」

【1週当たり利用回数】

「1回」の割合が17.3%と最も高く、次いで「2回」の割合が12.2%、「4回」の割合が3.1%となっています。

平均利用回数を年齢別にみると、3歳で3.0回と最も多く、全体平均は1.7回となっています。



[年齢別 1週当たり平均利用回数]

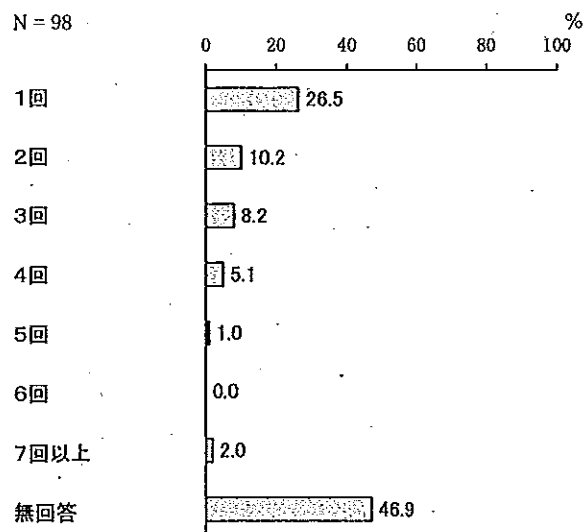
単位：回

全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
1.7	1.8	2.0	1.0	3.0	1.0	-

【1か月当たり利用回数】

「1回」の割合が26.5%と最も高く、次いで「2回」の割合が10.2%、「3回」の割合が8.2%となっています。

平均利用回数を年齢別にみると、1歳で2.7回と最も多く、全体平均は2.1回となっています。



[年齢別 1か月当たり平均利用回数]

単位：日

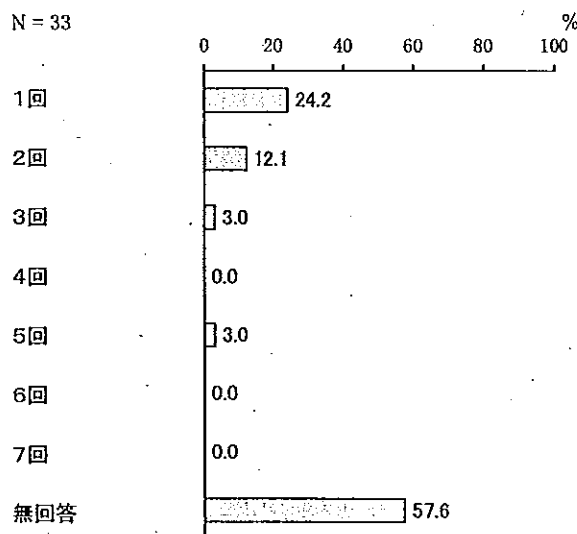
全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
2.1	2.3	2.7	1.5	1.9	1.7	-

2. 地域子育て支援センター「タブリエ」

【1週当たり利用回数】

「1回」の割合が24.2%と最も高く、次いで「2回」の割合が12.1%となっています。

平均利用回数を年齢別にみると、2歳で1.7回と最も多く、全体平均は1.6回となっています。3歳では有効回答数が1件となっているため、コメントを割愛します。



【年齢別 1週当たり平均利用回数】

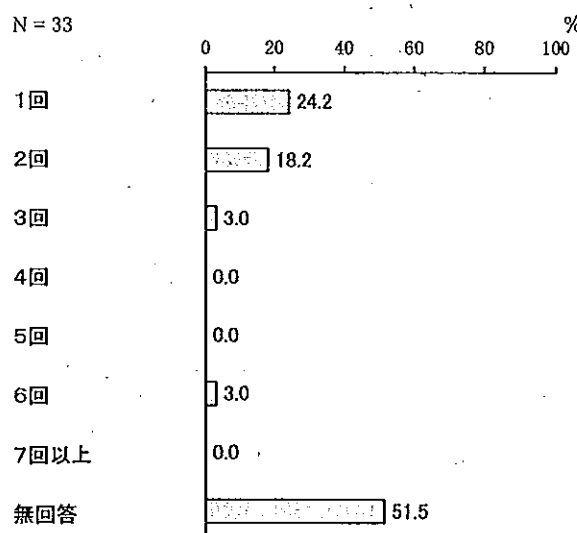
単位：回

全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
1.6	1.3	1.5	1.7	5.0	-	-

【1か月当たり利用回数】

「1回」の割合が24.2%と最も高く、次いで「2回」の割合が18.2%となっています。

平均利用回数を年齢別にみると、1歳、2歳で1.9回と多く、全体平均は1.8回となっています。3歳では有効回答数が1件となっているため、コメントを割愛します。



【年齢別 1か月当たり平均利用回数】

単位：回

全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
1.8	1.8	1.9	1.9	2.0	0.0	-

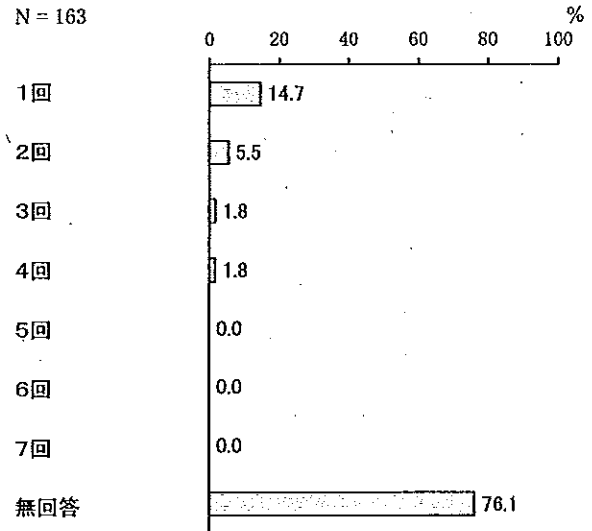
3. 地域子育て支援ルーム「プレイルーム」

【1週当たり利用回数】

「1回」の割合が14.7%と最も高く、次いで「2回」の割合が5.5%となっています。

平均利用回数を年齢別にみると、0歳で1.9回と最も多く、全体平均は1.6回となっています。

N = 163



[年齢別 1週当たり平均利用回数]

単位：回

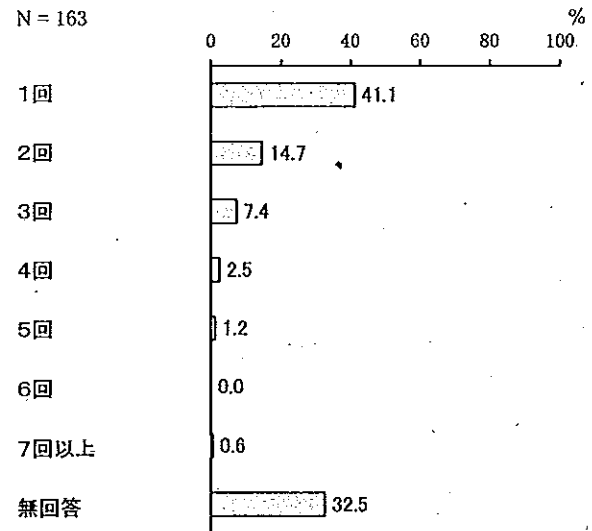
全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
1.6	1.9	1.3	1.3	-	0.5	-

【1か月当たり利用回数】

「1回」の割合が41.1%と最も高く、次いで「2回」の割合が14.7%、「3回」の割合が7.4%となっています。

平均利用回数を年齢別にみると、1歳で1.8回と最も多く、全体平均は1.6回となっています。

N = 163



[年齢別 1か月当たり平均利用回数]

単位：回

全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
1.6	1.6	1.8	1.6	1.3	1.7	1.0

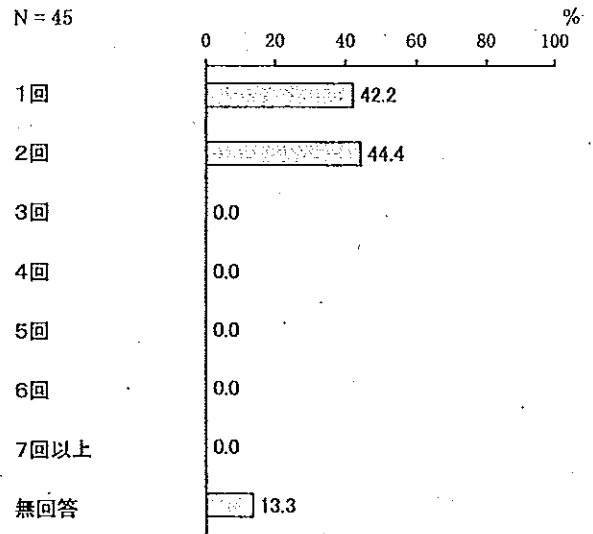
4. 地域子育て支援ルーム「出張プレイルーム」

【1か月当たり利用回数】

「2回」の割合が44.4%、「1回」の割合が42.2%となっています。

s

平均利用回数を年齢別にみると、2歳で1.6回と最も多く、全体平均は1.4回となっています。



【年齢別 1か月当たり平均利用回数】

単位：回

全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
1.4	1.5	1.3	1.6	1.3	-	1.0

問 18 問 17 のようなつどいのひろばについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号 1 つに ○ をつけて、おおよその利用回数（頻度）を ___ に数字でご記入ください。

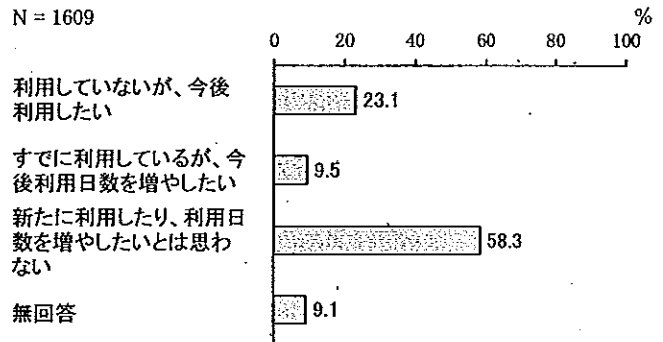
「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が 58.3% と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が 23.1%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の割合が 9.5% となっています。

年齢別にみると、0 歳で「利用していないが、今後利用したい」の割合が高く、4 割を超えています。

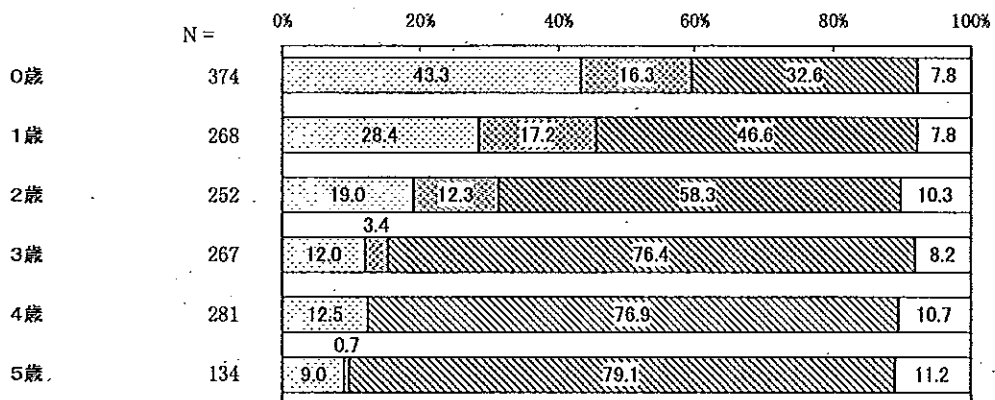
母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である」で「利用していないが、今後利用したい」の割合が高く、3 割を超えています。

中学校区別にみると、緑台で「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が高く、6 割を超えています。

N = 1609

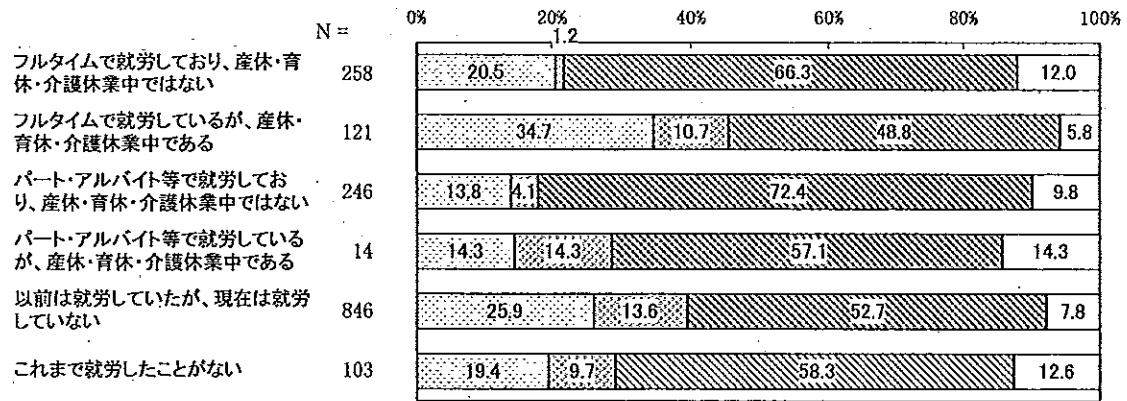


[年齢別]



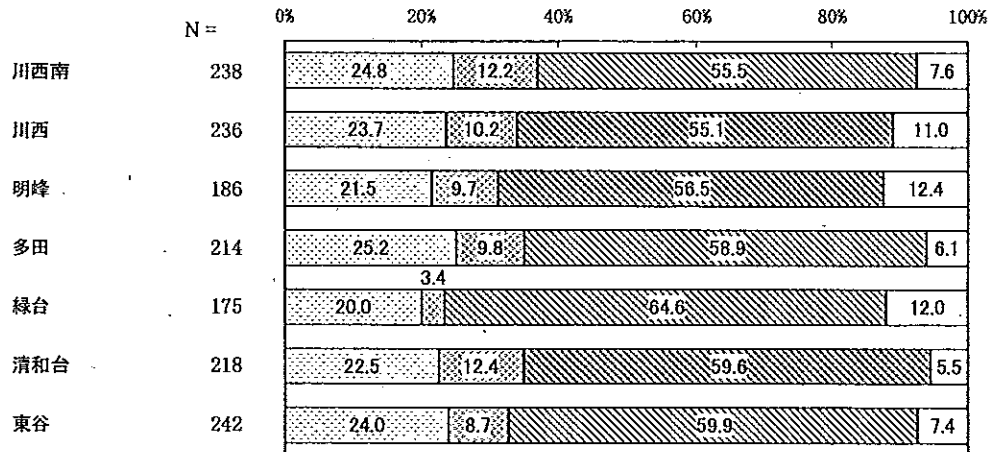
- 利用していないが、今後利用したい
- すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
- 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない
- 無回答

[母親の就労状況別]



- 利用していないが、今後利用したい
- すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
- 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない
- 無回答

[中学校区別]



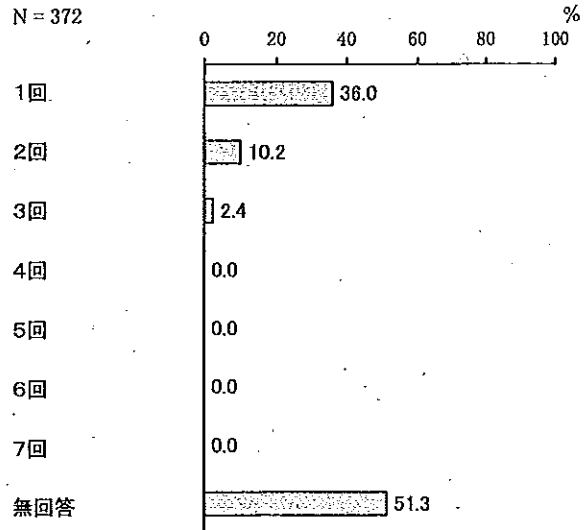
- 利用していないが、今後利用したい
- すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
- 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない
- 無回答

1. 利用していないが、今後利用したい

【希望する1週当たり利用回数】

「1回」の割合が36.0%と最も高く、次いで「2回」の割合が10.2%、「3回」の割合が2.4%となっています。

平均利用回数を年齢別にみると、0歳、3歳で1.5回と最も多く、全体平均は1.4回となっています。



【年齢別 1週当たり平均利用回数】

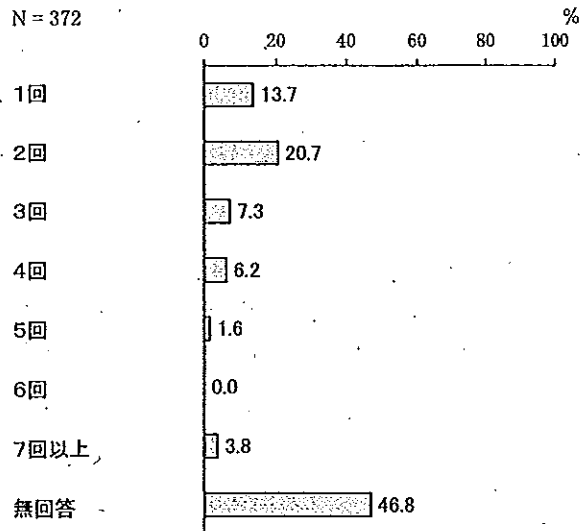
単位：回

全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
1.4	1.5	1.2	1.2	1.5	1.4	1.1

【希望する1か月当たり利用回数】

「2回」の割合が20.7%と最も高く、次いで「1回」の割合が13.7%、「3回」の割合が7.3%となっています。

平均利用回数を年齢別にみると、4歳で3.3回と最も多く、全体平均は2.8回となっています。



【年齢別 1か月当たり平均利用回数】

単位：回

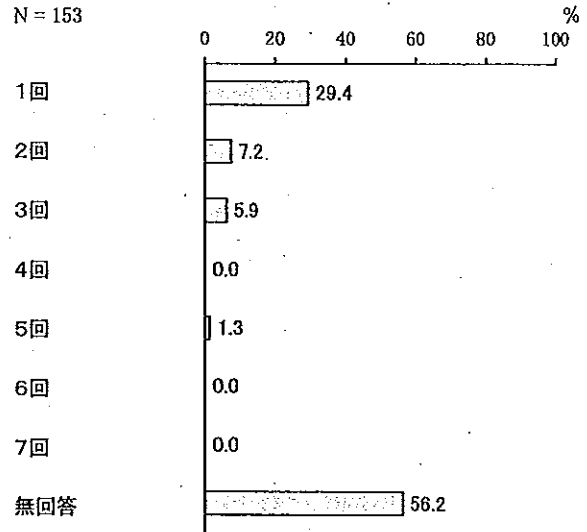
全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
2.8	2.9	2.4	2.9	2.8	3.3	3.0

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

【希望する1週当たり利用回数】

「1回」の割合が29.4%と最も高く、次いで「2回」の割合が7.2%、「3回」の割合が5.9%となっています。

平均利用回数を年齢別にみると、2歳で1.8回と最も多く、全体平均は1.6回となっています。



【年齢別 1週当たり平均利用回数】

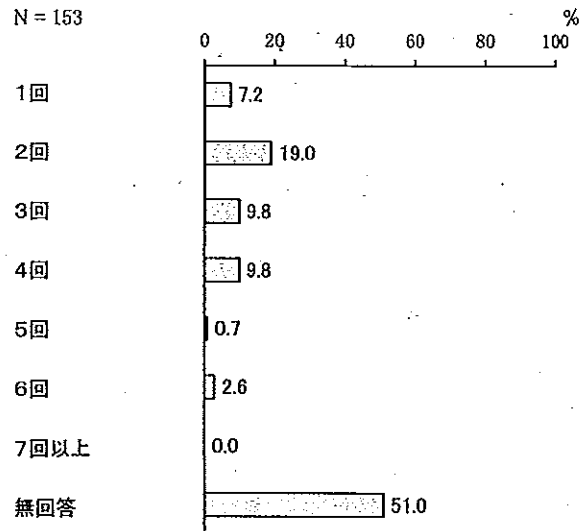
単位：回

全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
1.6	1.7	1.3	1.8	1.0	-	-

【希望する1か月当たり利用回数】

「2回」の割合が19.0%と最も高く、次いで「3回」「4回」の割合が9.8%となっています。

平均利用回数を年齢別にみると、0歳で3.0回と最も多く、全体平均は2.7回となっています。



【年齢別 1か月当たり平均利用回数】

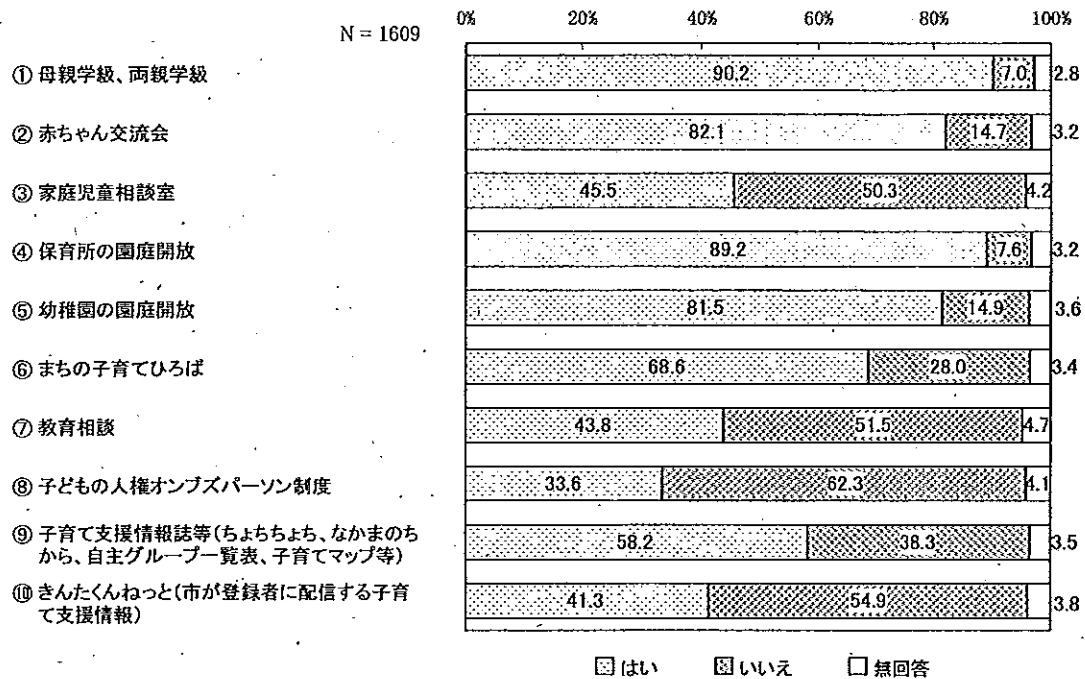
単位：回

全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
2.7	3.0	2.7	2.6	1.7	-	-

問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

A 知っている

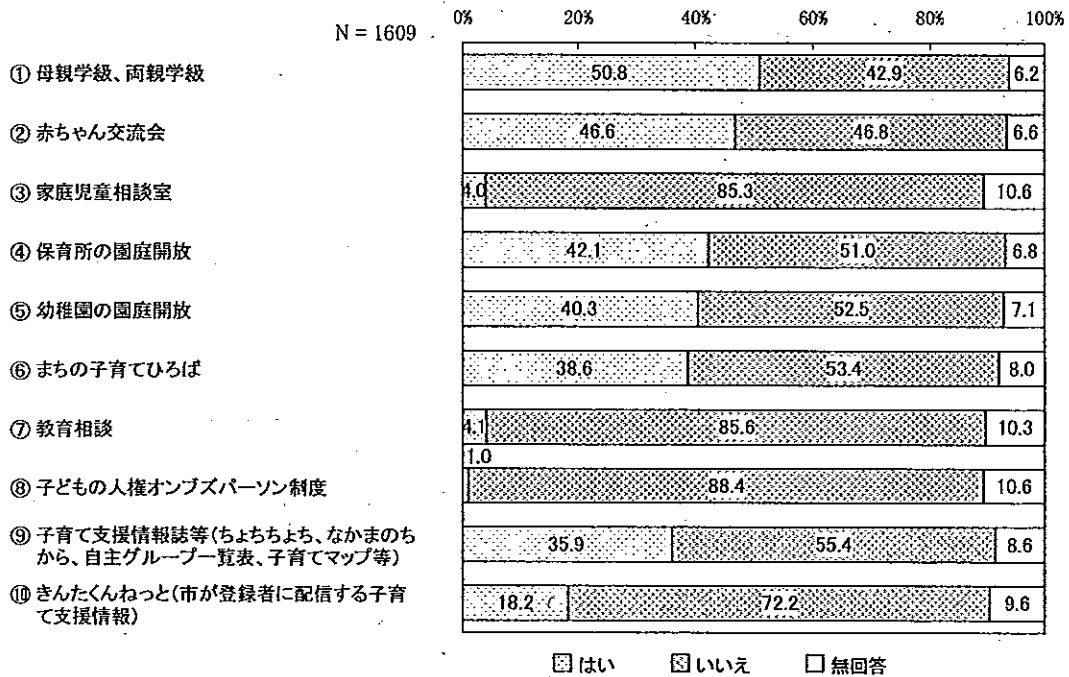
「①母親学級、両親学級」「②赤ちゃん交流会」「④保育所の園庭開放」「⑤幼稚園の園庭開放」で知っている人の割合が高く、8割を超えています。一方、「③家庭児童相談室」「⑦教育相談」「⑧子どもの人権オンブズパーソン制度」「⑩きんたくんねっと」で知らない人の割合が高く、5割を超えています。



※文末の () 内の説明は省略しています。

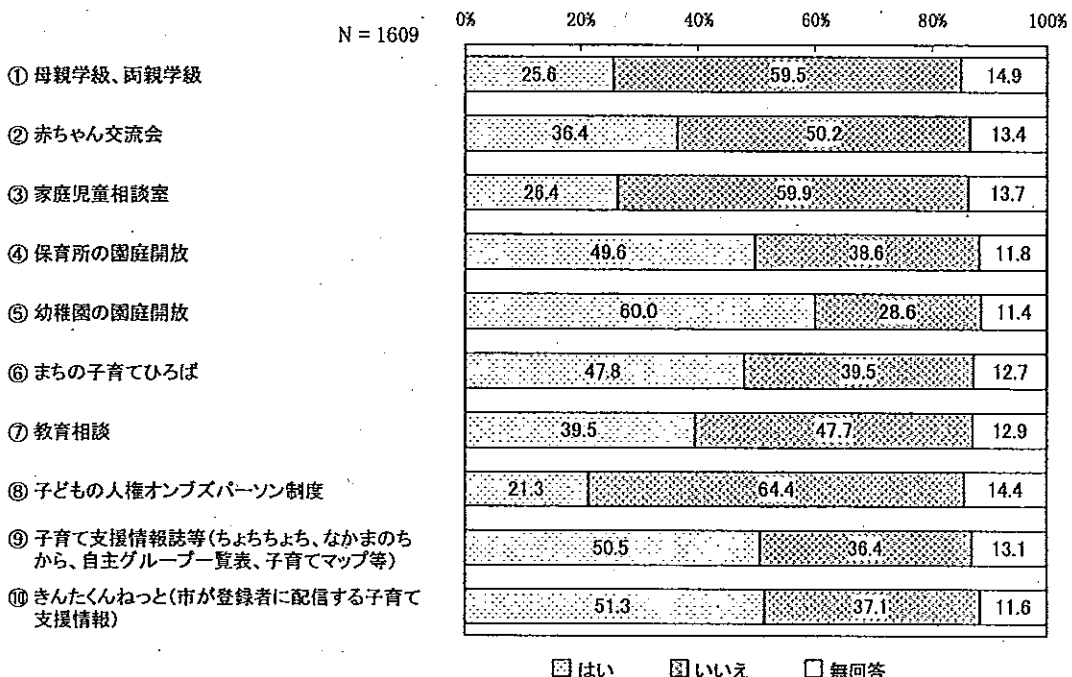
B これまでに利用したことがある

「①母親学級、両親学級」「②赤ちゃん交流会」「④保育所の園庭開放」「⑤幼稚園の園庭開放」でこれまでに利用したことがある人の割合が高く、4割を超えています。一方、「③家庭児童相談室」「⑦教育相談」「⑧子どもの人権オンブズパーソン制度」「⑩きんたくんねっと」でこれまでに利用したことがない人の割合が高く、7割を超えています。



C 今後利用したい

「⑤幼稚園の園庭開放」「⑨子育て支援情報誌等」「⑩きんたくんねっと」で今後利用したいと思う人の割合が高く、5割を超えています。一方、「①母親学級、両親学級」「②赤ちゃん交流会」「③家庭児童相談室」「⑧子どもの人権オンブズパーソン制度」で今後利用したいと思わない人の割合が高く、5割を超えています。



(7) 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

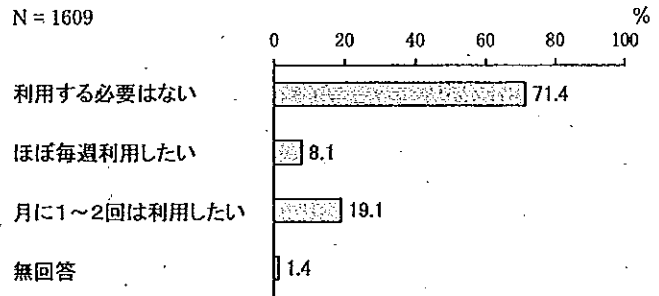
問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

(1) 土曜日

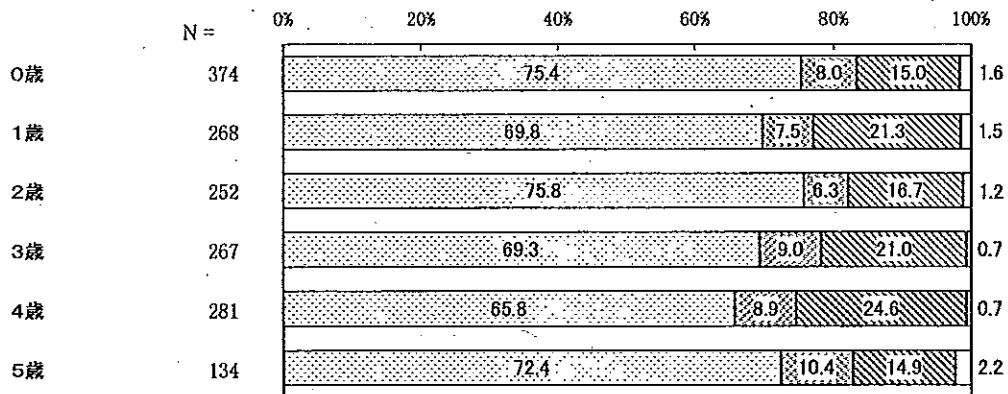
「利用する必要はない」の割合が71.4%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が19.1%、「ほぼ毎週利用したい」の割合が8.1%となっています。

年齢別にみると、1歳、3歳、4歳で「月に1～2回は利用したい」の割合が高く、2割を超えています。

母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」で「月に1～2回は利用したい」の割合が高く、約3割となっています。

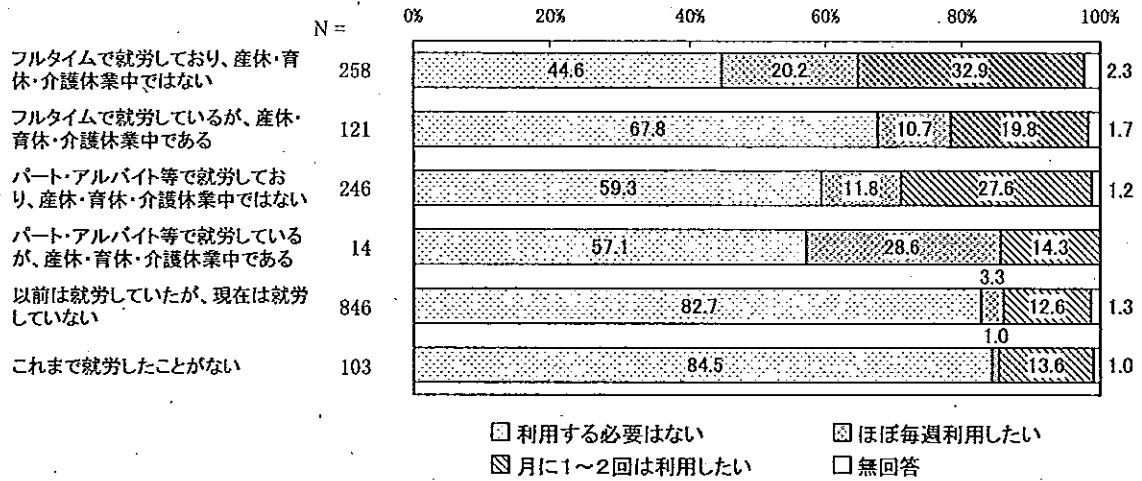


[年齢別]



□ 利用する必要はない ▨ ほぼ毎週利用したい
 ▤ 月に1～2回は利用したい □ 無回答

[母親の就労状況別]

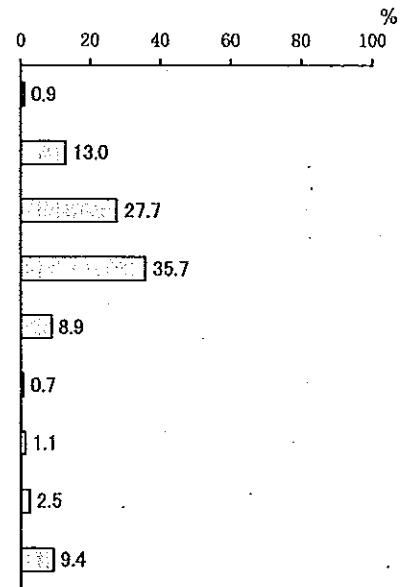


【利用したい時間帯（開始時刻）】

「9時台」の割合が35.7%と最も高く、次いで「8時台」の割合が27.7%、「7時台」の割合が13.0%となっています。

N = 437

7時前
7時台
8時台
9時台
10時台
11時台
12時台
13時以降
無回答

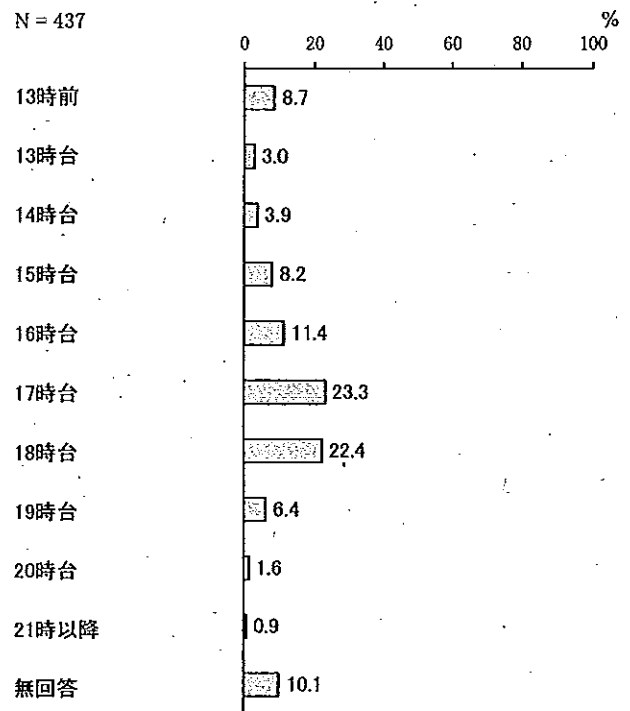


[年齢別 平均開始時刻]

全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
8時42分	9時1分	8時46分	8時40分	8時32分	8時34分	8時38分

【利用したい時間帯（終了時刻）】

「17 時台」の割合が 23.3%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 22.4%、「16 時台」の割合が 11.4%となっています。



[年齢別 平均終了時刻]

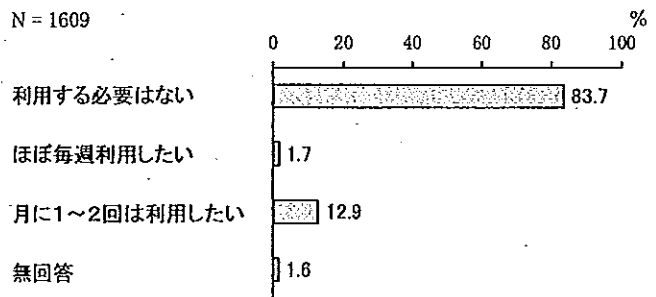
全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
16時44分	16時49分	16時31分	18時18分	16時44分	16時0分	16時6分

(2) 日曜・祝日

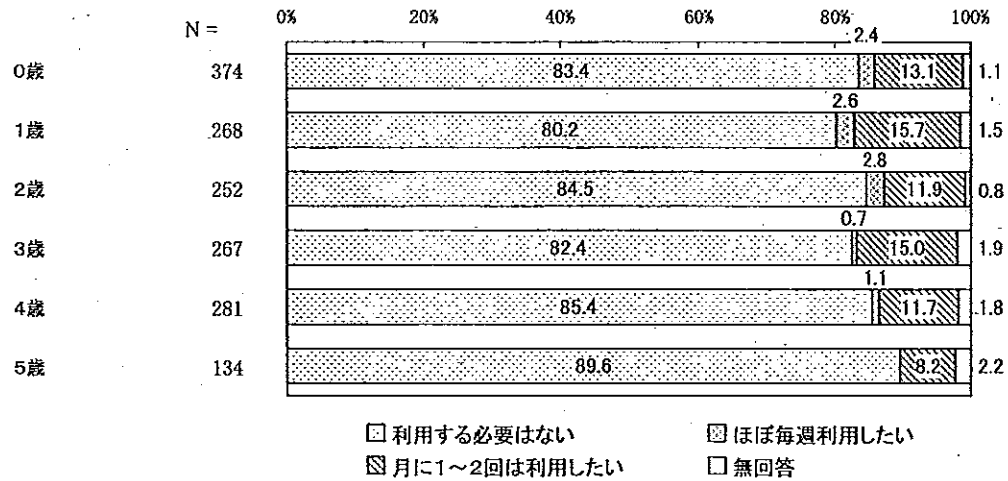
「利用する必要はない」の割合が 83.7%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が 12.9%、「ほぼ毎週利用したい」の割合が 1.7%となっています。

年齢別にみると、5歳で「利用する必要はない」の割合が高く、約9割となっています。

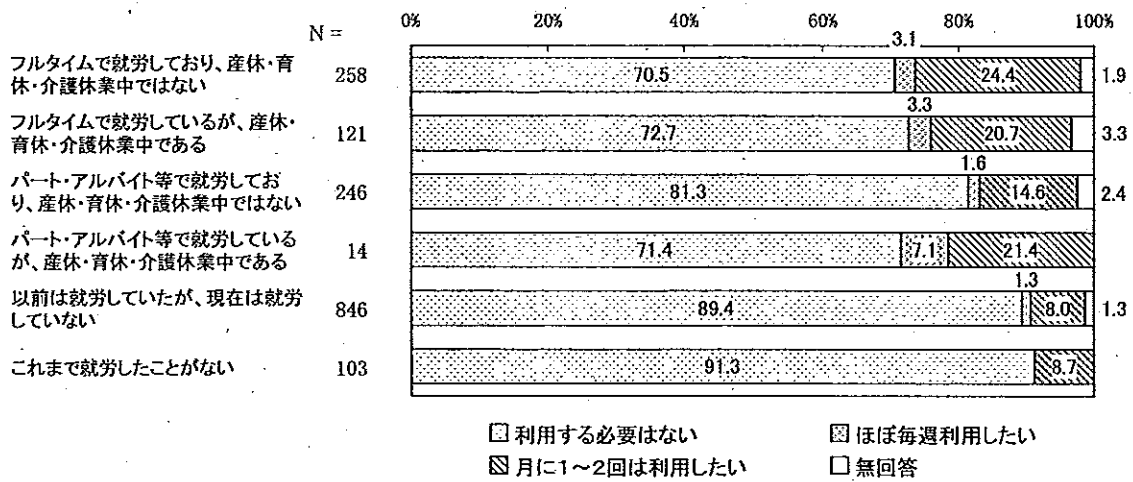
母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」で「月に1～2回は利用したい」の割合が高く、2割を超えています。



[年齢別]

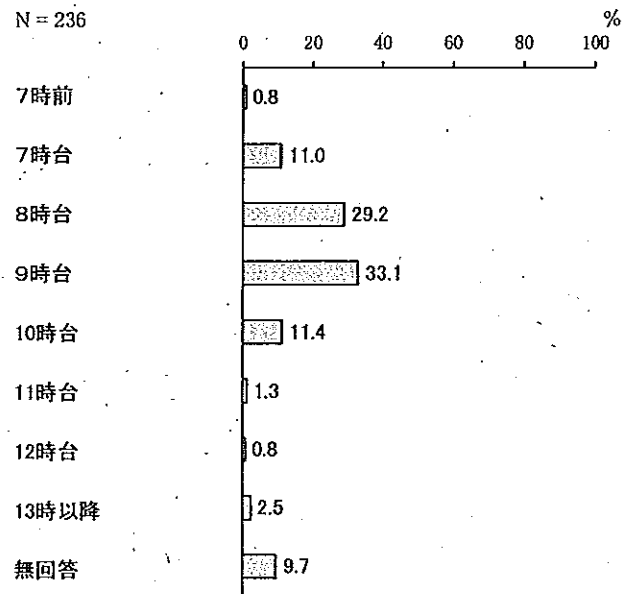


[母親の就労状況別]



【利用したい時間帯（開始時刻）】

「9時台」の割合が33.1%と最も高く、次いで「8時台」の割合が29.2%、「10時台」の割合が11.4%となっています。

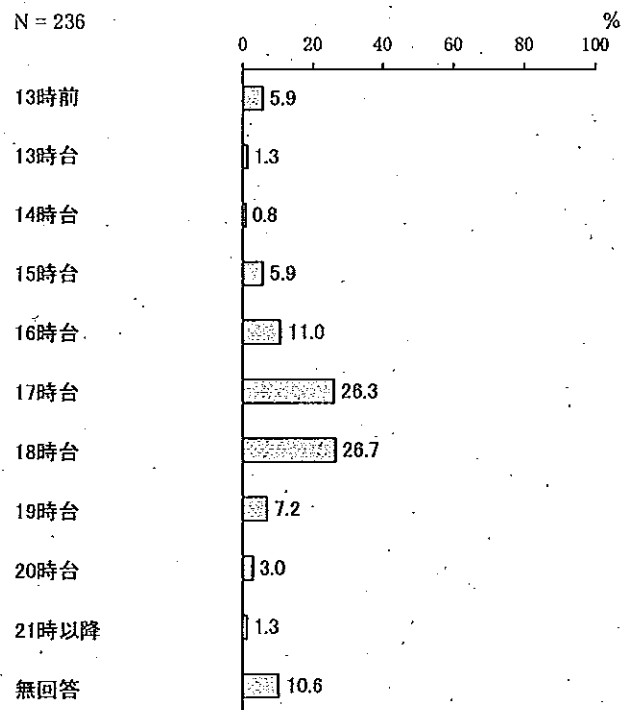


【年齢別 平均開始時刻】

全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
8時46分	9時5分	8時44分	8時54分	8時32分	8時34分	8時51分

【利用したい時間帯（終了時刻）】

「18時台」の割合が26.7%と最も高く、次いで「17時台」の割合が26.3%、「16時台」の割合が11.0%となっています。



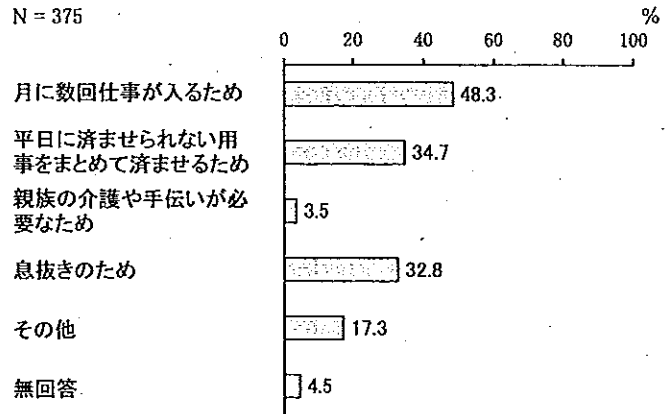
【年齢別 平均終了時刻】

全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
17時0分	17時19分	16時57分	16時48分	17時10分	16時38分	16時12分

問 20 の (1) もしくは (2) で、「3.月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にかがいます。

問 20-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

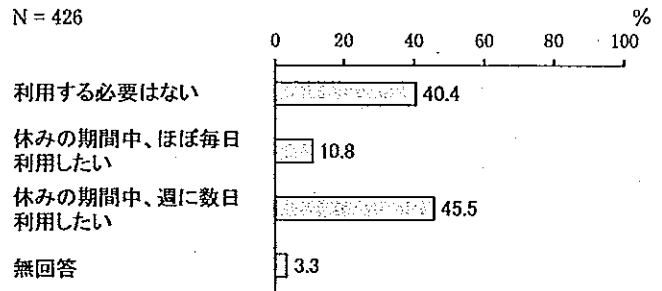
「月に数回仕事が入るため」の割合が 48.3%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が 34.7%、「息抜きのため」の割合が 32.8%となっています。



「幼稚園」を利用されている方にかがいます。

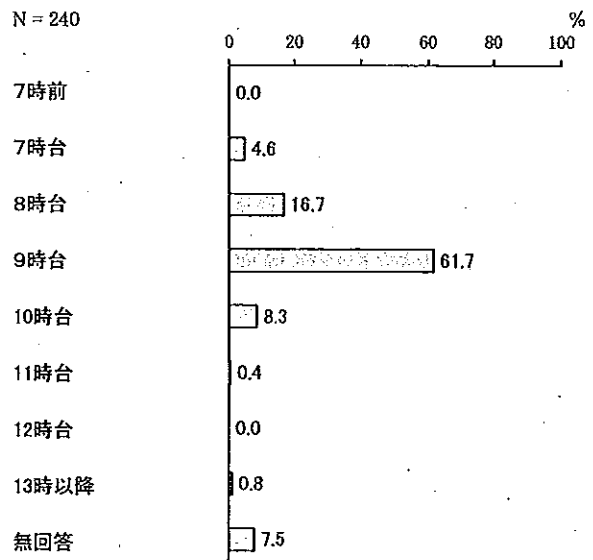
問 21 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が 40.4%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が 10.8%となっています。



【利用したい時間帯（開始時刻）】

「9時台」の割合が 61.7%と最も高く、次いで「8時台」の割合が 16.7%、「10時台」の割合が 8.3%となっています。

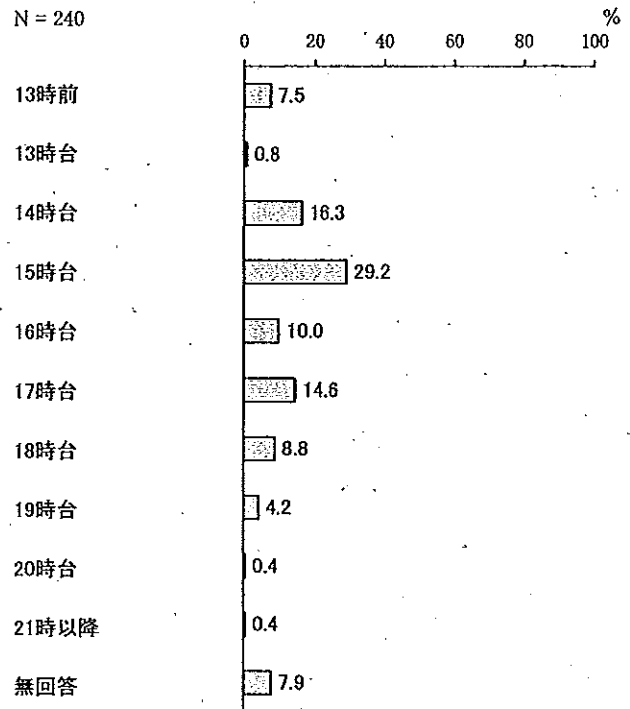


【年齢別 平均開始時刻】

全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
8時54分	-	9時0分	9時0分	8時45分	8時58分	8時57分

【利用したい時間帯（終了時刻）】

「15 時台」の割合が 29.2%と最も高く、次いで「14 時台」の割合が 16.3%、「17 時台」の割合が 14.6%となっています。

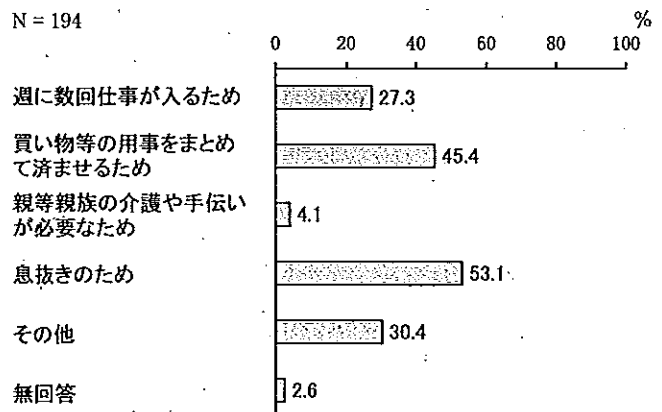


【年齢別 平均終了時刻】

全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
15時51分	-	14時0分	15時24分	16時47分	15時28分	15時22分

問 21 で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
 問 21-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「息抜きのため」の割合が 53.1%と最も高く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」の割合が 45.4%、「週に数回仕事が入るため」の割合が 27.3%となっています。



(8) 病気の際の対応について

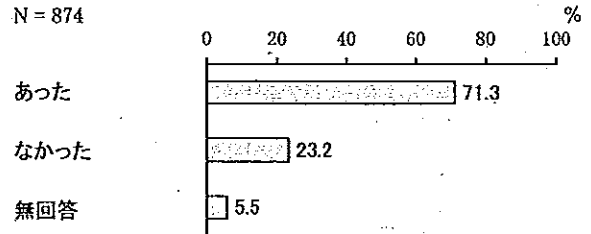
平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問15で1に○をつけた方）にうかがいます。利用していらない方は、問23にお進みください。

問22 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

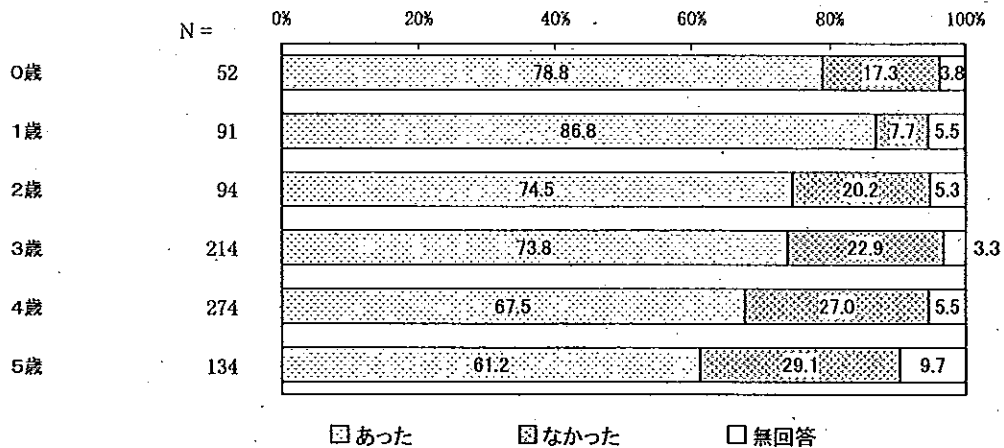
「あった」の割合が71.3%、「なかった」の割合が23.2%となっています。

年齢別にみると、1歳で「あった」の割合が高く、8割を超えています。

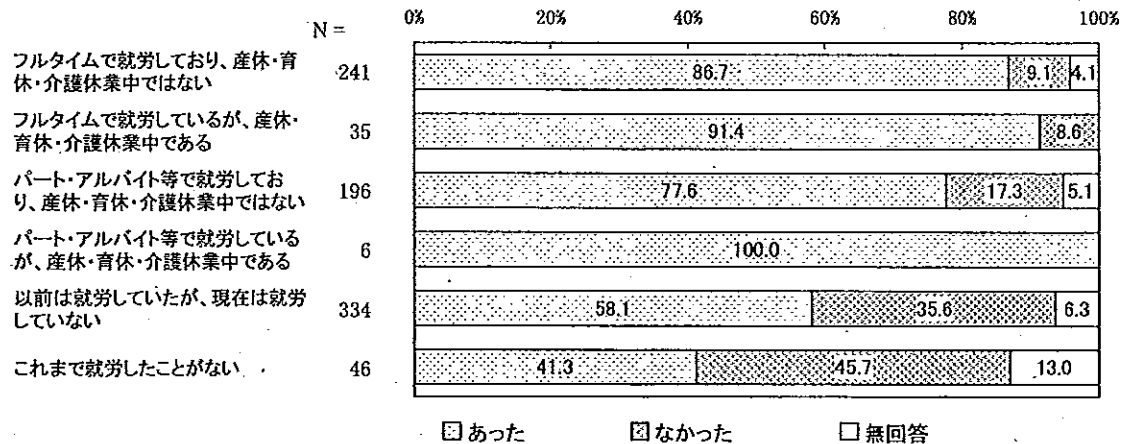
母親の就労状況別にみると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」で「なかった」の割合が高くなっています。



[年齢別]



[母親の就労状況別]



問 22-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）。

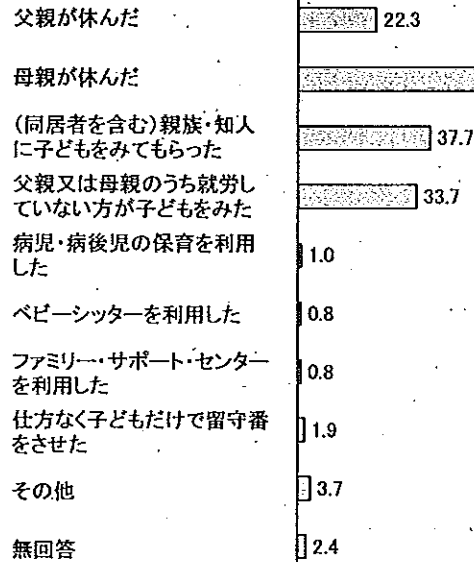
○1年間の対処法

「母親が休んだ」の割合が58.9%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が37.7%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が33.7%となっています。

年齢別にみると、0～2歳で「母親が休んだ」の割合が高く、8割を超えています。

母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である」で「父親が休んだ」の割合が高く、約4割となっています。

N = 623



[年齢別]

単位：%

	有効回答数 (件)	父親が休んだ	母親が休んだ	人に子どもをみてもらった (同居者を含む) 親族・知人	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリーサポートセンターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
0歳	41	26.8	87.8	46.3	14.6	-	-	-	-	4.9	2.4
1歳	79	35.4	86.1	53.2	10.1	2.5	2.5	3.8	3.8	5.1	1.3
2歳	70	31.4	80.0	52.9	17.1	1.4	1.4	1.4	4.3	2.9	2.9
3歳	158	20.9	57.0	34.2	34.2	1.3	1.3	0.6	1.3	5.1	1.9
4歳	185	14.1	39.5	29.7	48.1	-	-	-	2.2	2.7	3.2
5歳	82	19.5	46.3	28.0	46.3	1.2	-	-	-	2.4	2.4

[母親の就労状況別]

単位：%

	有効回答数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	人(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	209	40.7	87.1	64.1	5.3	1.4	1.4	1.9	2.9	3.8	1.0
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	32	43.8	78.1	59.4	15.6	-	-	-	-	-	6.3
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	152	14.5	83.6	36.2	15.8	-	0.7	-	2.6	3.3	1.3
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	6	33.3	100.0	50.0	16.7	-	-	-	-	-	-
以前は就労していたが、現在は就労していない	194	5.2	9.3	9.8	78.9	1.0	-	-	-	3.6	4.1
これまで就労したことがない	19	10.5	10.5	5.3	68.4	-	-	-	5.3	10.5	5.3

○日数(年間)

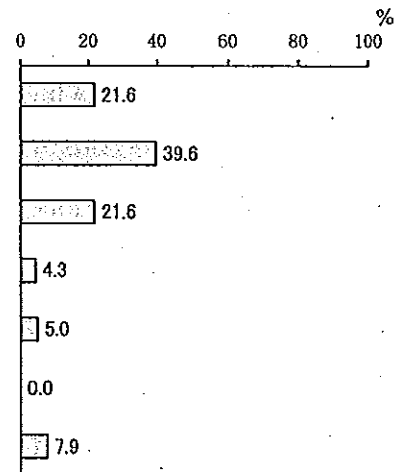
ア 父親が休んだ

「2～3日」の割合が39.6%と最も高く、次いで「1日」「4～5日」の割合が21.6%となっています。

平均日数を年齢別にみると、0～2歳で3.5日と最も多く、全体平均は、3.2日となっています。

N = 139

1日
2～3日
4～5日
6～9日
10～19日
20日以上
無回答



[年齢別 平均日数(年間)]

単位：日

全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
3.2	3.5	3.5	3.5	3.0	2.6	3.0

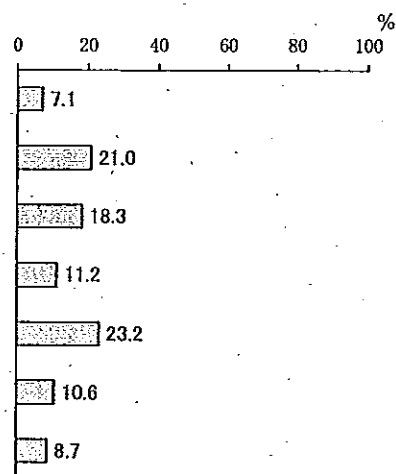
イ 母親が休んだ

「10～19日」の割合が23.2%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が21.0%、「4～5日」の割合が18.3%となっています。

平均日数を年齢別にみると、4歳で13.1日と最も多く、全体平均は、9.3日となっています。

N = 367

1日
2～3日
4～5日
6～9日
10～19日
20日以上
無回答



[年齢別 平均日数(年間)]

単位：日

全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
9.3	7.7	12.4	7.0	7.1	13.1	7.0

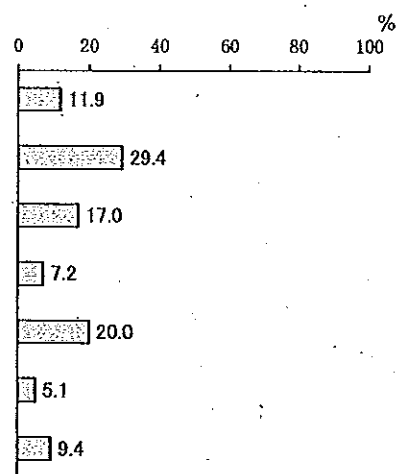
ウ (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった

「2～3日」の割合が29.4%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が20.0%、「4～5日」の割合が17.0%となっています。

平均日数を年齢別にみると、0歳で11.7日と最も多く、全体平均は、6.7日となっています。

N = 235

1日
2～3日
4～5日
6～9日
10～19日
20日以上
無回答



[年齢別 平均日数(年間)]

単位：日

全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
6.7	11.2	7.3	7.3	7.4	5.2	3.7

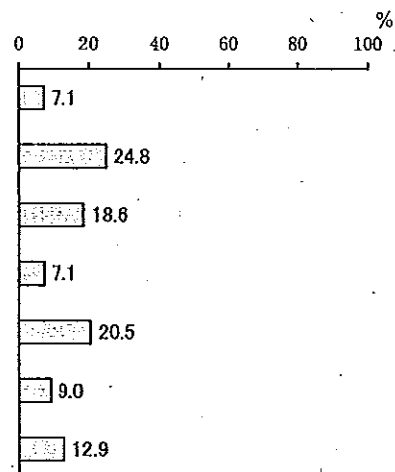
エ 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた

「2～3日」の割合が24.8%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が20.5%、「4～5日」の割合が18.6%となっています。

平均日数を年齢別にみると、1歳で16.9日と最も多く、全体平均は、8.1日となっています。

N = 210

1日
2～3日
4～5日
6～9日
10～19日
20日以上
無回答



[年齢別 平均日数(年間)]

単位：日

全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
8.1	4.0	16.9	7.1	7.2	8.6	7.3

オ 病児・病後児の保育を利用した

「4～5日」が1件となっています。

カ ベビーシッターを利用した

「1日」が1件となっています。

キ ファミリー・サポート・センターを利用した

「1日」が2件となっています。

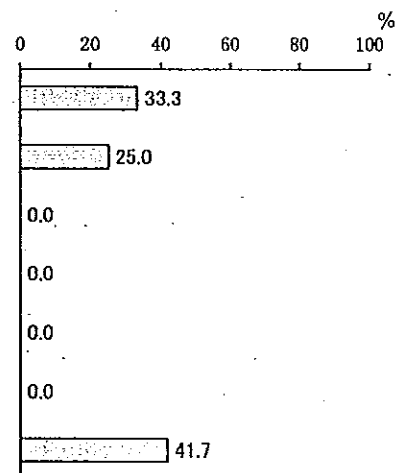
ク 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

「1日」の割合が33.3%、「2～3日」の割合が25.0%となっています。

平均日数を年齢別にみると、2歳、4歳で1.2日と最も多く、全体平均は1.1日となっています。

N = 12

1日
2～3日
4～5日
6～9日
10～19日
20日以上
無回答



[年齢別 平均日数(年間)]

単位：日

全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
1.1	-	0.3	1.5	0.0	1.5	-

ケ その他

「10～19日」の割合が21.7%と最も高く、次いで「6～9日」の割合が17.4%、「2～3日」の割合が13.0%となっています。

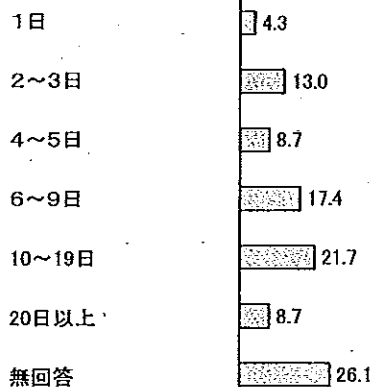
平均日数を年齢別にみると、1歳で11.3日と最も多く、全体平均は、8.0日となっています。

[年齢別 平均日数(年間)]

全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
8.0	10.0	11.3	7.0	5.6	8.8	8.5

単位：日

N = 23



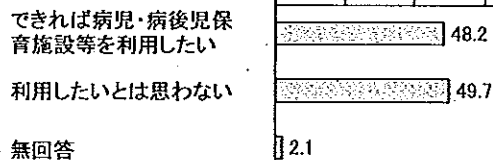
問 22-1 で「ア」または「イ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問 22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても___に数字でご記入ください。

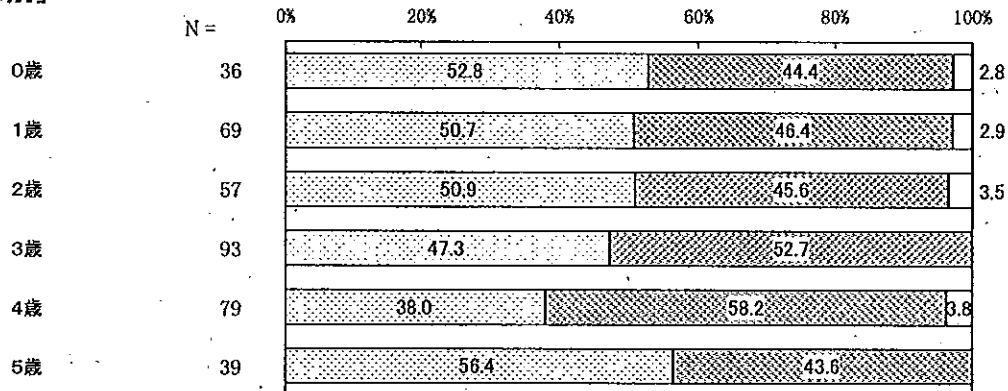
「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が48.2%、「利用したいとは思わない」の割合が49.7%となっています。

年齢別にみると、4歳で「利用したいとは思わない」の割合が高く、約6割となっています。

N = 380



[年齢別]

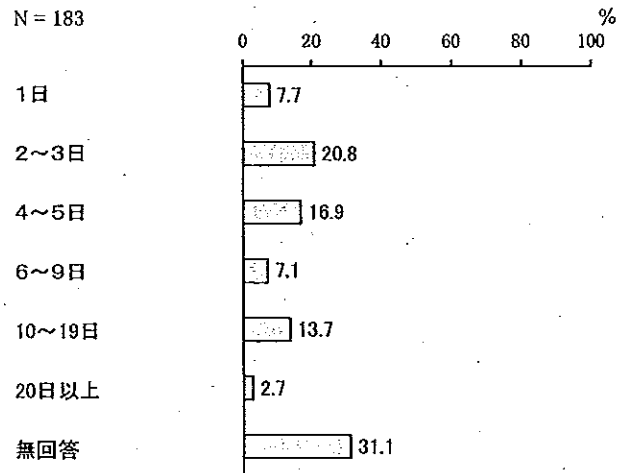


- できれば病児・病後児保育施設等を利用したい
- ▨ 利用したいとは思わない
- 無回答

【希望する利用日数】

「2～3日」の割合が20.8%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が16.9%、「10～19日」の割合が13.7%となっています。

平均日数を年齢別にみると、0歳で8.4日と最も多く、全体平均は、5.9日となっています。



【年齢別 希望する平均利用日数】

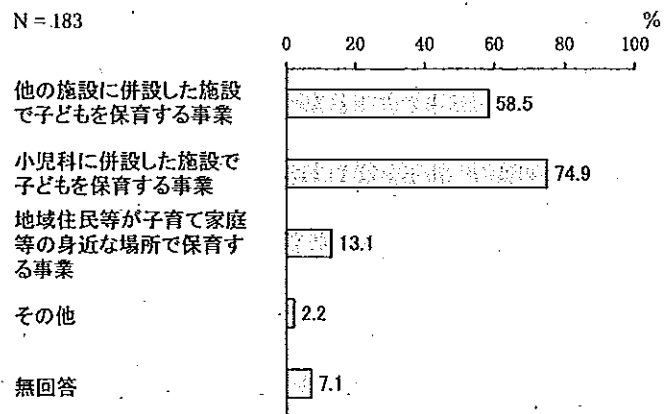
単位：日

全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
5.9	8.4	5.9	6.3	5.8	4.4	6.0

問 22-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 22-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が74.9%と最も高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が58.5%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」の割合が13.1%となっています。



問 22-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。

問 22-4 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「病児・病後児を他人に看てもら
うのは不安」の割合が 51.9%と最
も高く、次いで「親が仕事を休んで
対応する」の割合が 45.5%、「利用
料がかかる・高い」の割合が 26.5%
となっています。

N = 189

病児・病後児を他人に看
てもらうのは不安

地域の事業の質に不安
がある

地域の事業の利便性(立
地や利用可能時間日数
など)がよくない

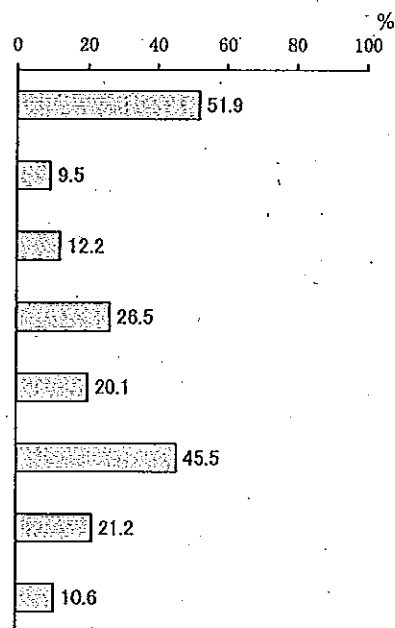
利用料がかかる・高い

利用料がわからない

親が仕事を休んで対応
する

その他

無回答



問 22-1 で「ウ」～「ケ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問 22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。
当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで見た
かった日数についても数字でご記入ください。

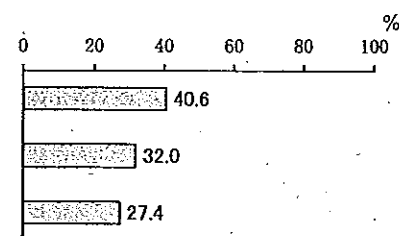
「できれば仕事を休んで看たい」
の割合が 40.6%、「休んで看ること
は非常に難しい」の割合が 32.0%
となっています。

N = 441

できれば仕事を休んで看
たい

休んで看ことは非常に
難しい

無回答



【仕事を休んで見たかった日数】

「2～3日」の割合が 22.3%と最
も高く、次いで「1日」の割合が
11.2%、「10～19日」の割合が
10.1%となっています。

N = 179

1日

2～3日

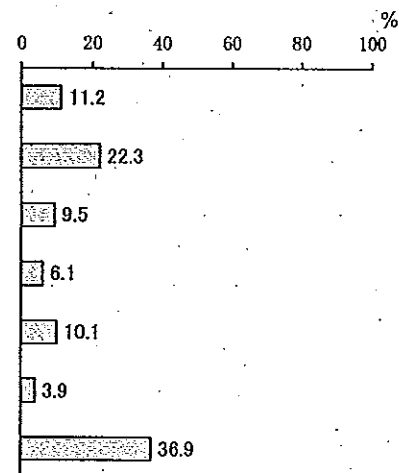
4～5日

6～9日

10～19日

20日以上

無回答



問 22-5 で「2. 休んで見ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

問 22-6 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が 51.8%と最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」の割合が 13.5%、「自営業なので休めない」の割合が 10.6%となっています。

N = 141

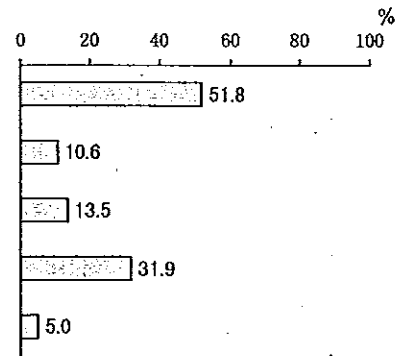
子どもの看護を理由に休みがとれない

自営業なので休めない

休暇日数が足りないので休めない

その他

無回答



(9) 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も数字でご記入ください。

○利用している事業

「利用していない」の割合が80.9%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」の割合が7.6%、「一時預かり」の割合が6.4%となっています。

年齢別にみると、年齢が下がるにつれて「利用していない」の割合が高くなっています。

N = 1609

一時預かり

幼稚園の預かり保育

ファミリー・サポート・センター

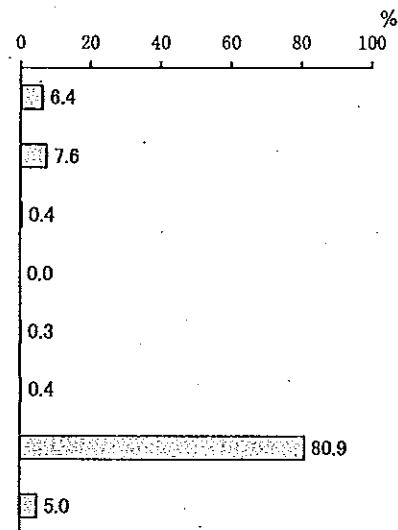
夜間養護等事業：トワイライトステイ

ベビーシッター

その他

利用していない

無回答



[年齢別]

単位：%

	有効回答数 (件)	一時預かり	幼稚園の預かり保育	ファミリー・サポート・センター	夜間養護等事業 (トワイライトステイ)	ベビーシッター	その他	利用していない	無回答
0歳	374	3.7	0.5	0.8	-	-	-	91.2	4.8
1歳	268	7.5	0.4	0.4	-	0.7	-	87.3	4.5
2歳	252	10.7	2.4	0.4	-	-	0.4	79.4	7.1
3歳	267	4.9	15.7	-	-	0.4	0.7	74.5	4.5
4歳	281	5.3	15.7	-	-	-	0.7	75.8	4.3
5歳	134	6.7	19.4	1.5	-	1.5	1.5	69.4	3.7

○日数(年間)

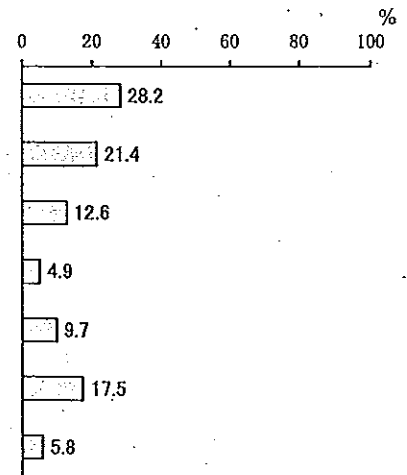
1. 一時預かり

「1日」の割合が28.2%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が21.4%、「20日以上」の割合が17.5%となっています。

平均日数を年齢別にみると、4歳で24.0日と最も多く、全体平均は、13.3日となっています。

N = 103

1日
2～3日
4～5日
6～9日
10～19日
20日以上
無回答



[年齢別 平均日数(年間)]

単位：日

全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
13.3	2.4	19.2	15.4	2.9	24.0	10.5

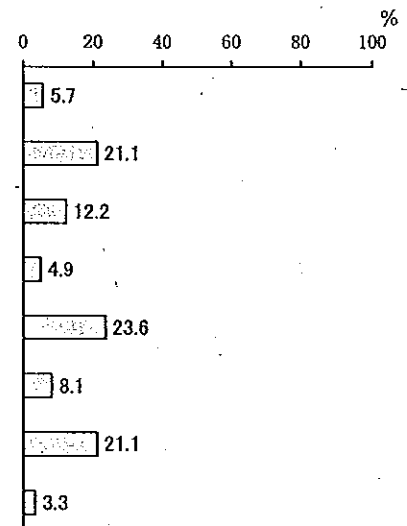
2. 幼稚園の預かり保育

「10～19日」の割合が23.6%と最も高く、次いで「2～3日」「30日以上」の割合が21.1%となっています。

平均日数を年齢別にみると、5歳で31.1日と最も多く、全体平均は、23.1日となっています。

N = 123

1日
2～3日
4～5日
6～9日
10～19日
20～29日
30日以上
無回答



[年齢別 平均日数(年間)]

単位：日

全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
23.1	8.0	2.0	12.7	28.2	16.4	31.1

3. ファミリー・サポート・センター

「2～3日」「20日以上」が2件、「1日」「6～9日」「10～19日」が1件となっています。

4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ

有効回答はありません。

5. ベビーシッター

「2～3日」が3件、「10～19日」「20日以上」が1件となっています。

6. その他

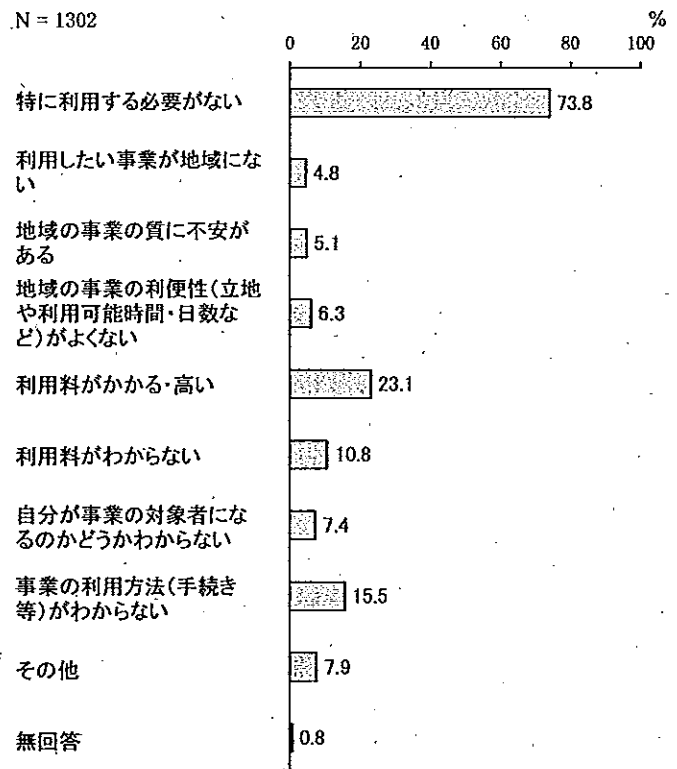
「2～3日」「20日以上」が2件、「6～9日」「10～19日」が1件となっています。

問23で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問23-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に利用する必要がない」の割合が73.8%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」の割合が23.1%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の割合が15.5%となっています。

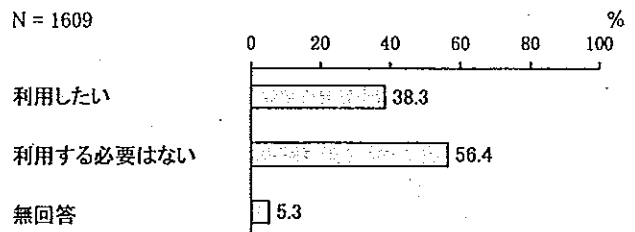
N = 1302



問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を数字でご記入ください。）。

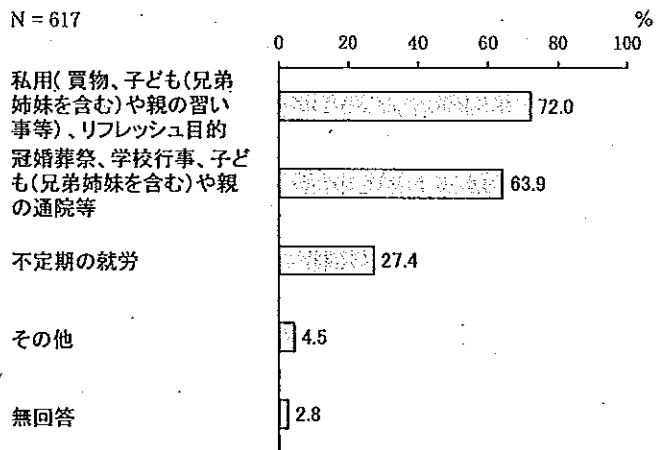
○利用希望の有無

「利用したい」の割合が 38.3%、「利用する必要はない」の割合が 56.4%となっています。



○利用する目的

「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」の割合が 72.0%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」の割合が 63.9%、「不特定の就労」の割合が 27.4%となっています。

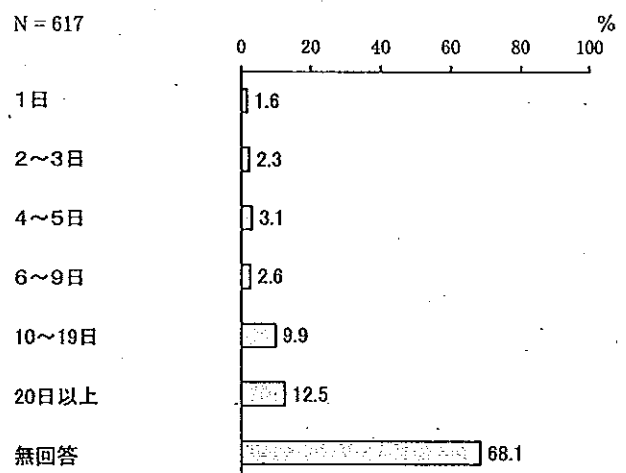


○日数(年間)

合計

「20日以上」の割合が 12.5%と最も高く、次いで「10~19日」の割合が 9.9%、「4~5日」の割合が 3.1%となっています。

平均日数を年齢別にみると、1歳で 35.9日と最も多く、全体平均は 24.9日となっています。



[年齢別 平均日数(年間)]

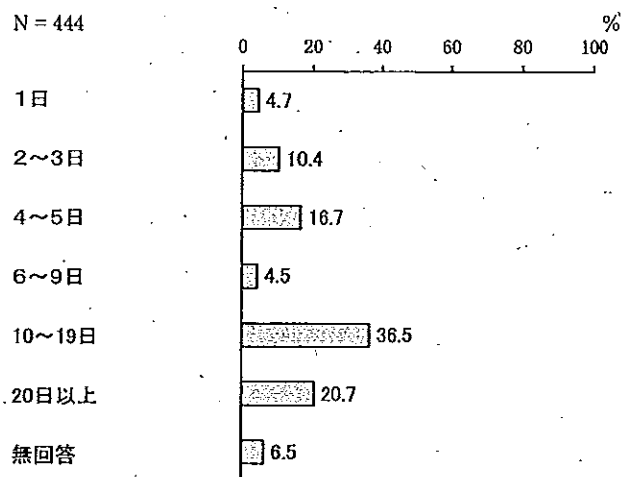
単位：日

全体	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
24.9	17.5	35.9	28.1	24.6	25.3	14.7

ア 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的

「10～19日」の割合が36.5%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が20.7%、「4～5日」の割合が16.7%となっています。

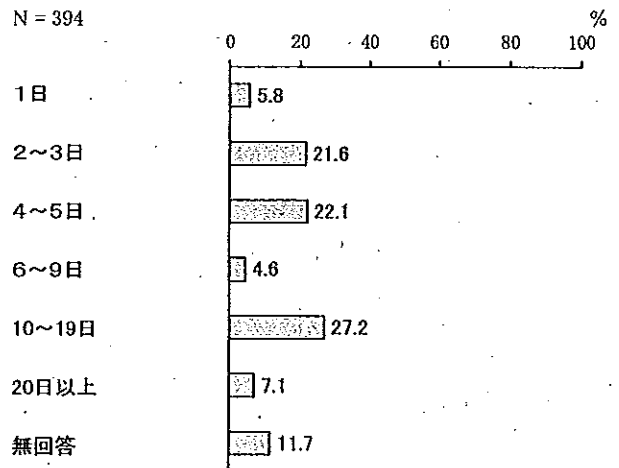
N = 444



イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等

「10～19日」の割合が27.2%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が22.1%、「2～3日」の割合が21.6%となっています。

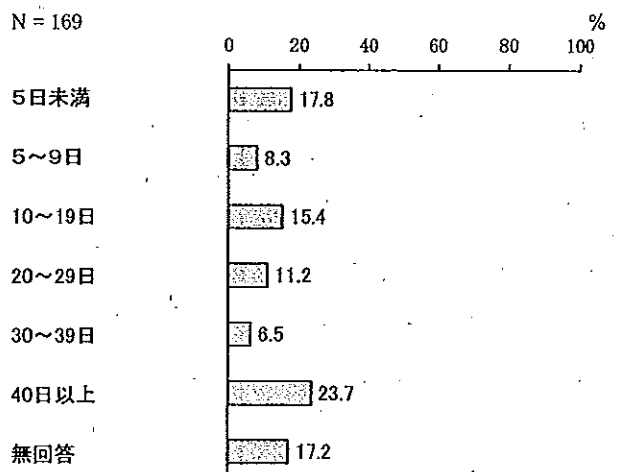
N = 394



ウ 不定期の就労

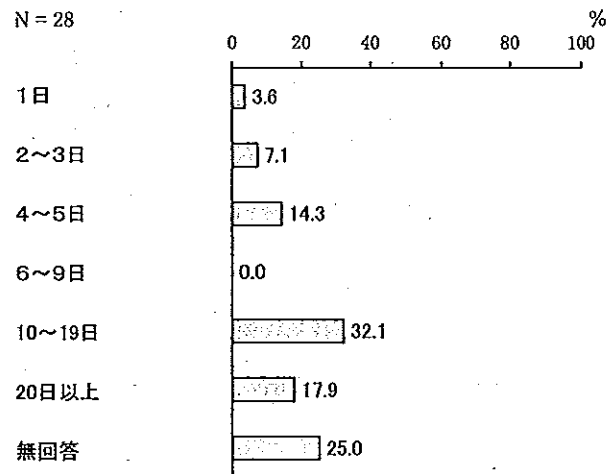
「40日以上」の割合が23.7%と最も高く、次いで「5日未満」の割合が17.8%、「10～19日」の割合が15.4%となっています。

N = 169



エ その他

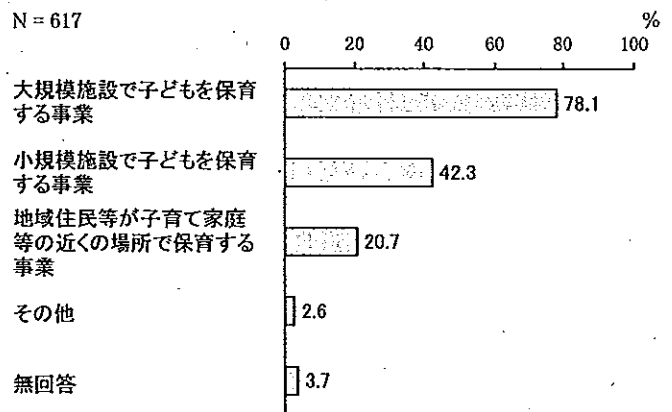
「10～19日」の割合が32.1%と最も高く、次いで「20日以上」の割合が17.9%、「4～5日」の割合が14.3%となっています。



問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 24-1 問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「大規模施設で子どもを保育する事業」の割合が78.1%と最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」の割合が42.3%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」の割合が20.7%となっています。

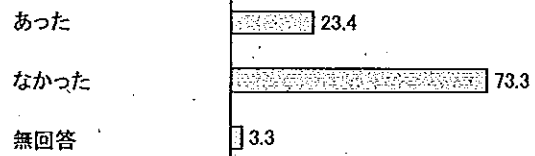


問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください。

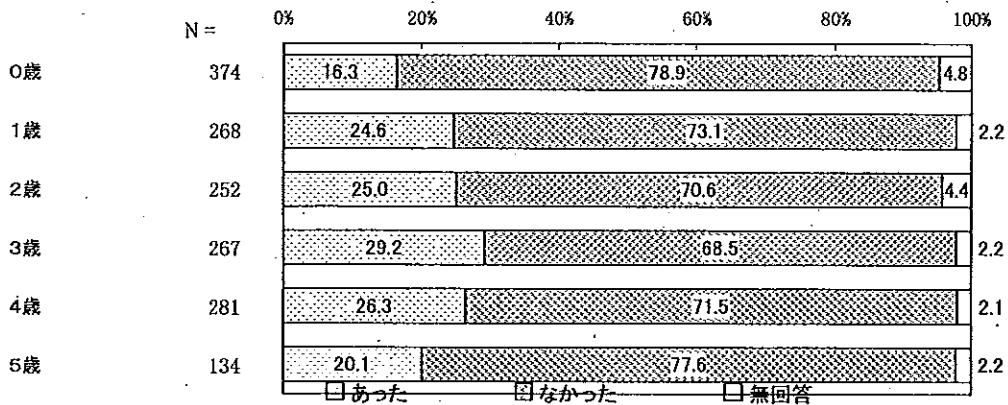
○対処の有無

「あった」の割合が23.4%、「なかった」の割合が73.3%となっています。
年齢別にみると、3歳で「あった」の割合が高く、約3割となっています。

N = 1609



[年齢別]



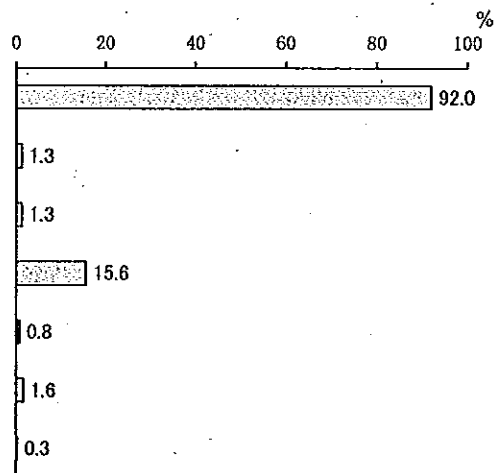
○1年間の対処方法

「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」の割合が92.0%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」の割合が15.6%となっています。

年齢別にみると、1歳で「仕方なく子どもを同行させた」の割合が高く、約2割となっています。

N = 377

- (同居者を含む)親族・知人にみてもらった
- 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した
- 短期入所生活援助事業以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した
- 仕方なく子どもを同行させた
- 仕方なく子どもだけで留守番をさせた
- その他
- 無回答



[年齢別]

単位：%

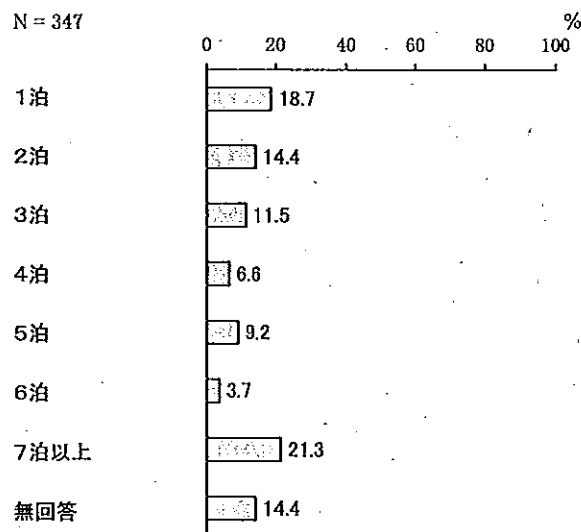
	有効回答数(件)	(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	短期入所生活援助事業以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	仕方なく子どもを同行させた	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
0歳	61	90.2	1.6	1.6	14.8	1.6	1.6	-
1歳	66	86.4	3.0	3.0	19.7	1.5	3.0	1.5
2歳	63	90.5	1.6	1.6	15.9	-	-	-
3歳	78	94.9	1.3	-	15.4	-	1.3	-
4歳	74	94.6	-	-	17.6	-	2.7	-
5歳	27	100.0	-	3.7	3.7	3.7	-	-

○日数(年間)

ア (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった

「7泊以上」の割合が21.3%と最も高く、次いで「1泊」の割合が18.7%、「2泊」の割合が14.4%となっています。

N = 347

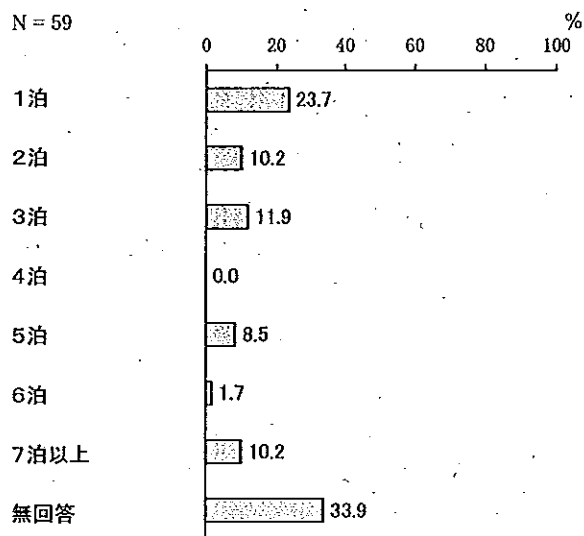


イ 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した有効回答はありません。

ウ 短期入所生活援助事業以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した「1泊」「2泊」「5泊」が1件となっています。

エ 仕方なく子どもを同行させた

「1泊」の割合が23.7%と最も高く、次いで「3泊」の割合が11.9%となっています。



オ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

「1泊」が1件となっています。

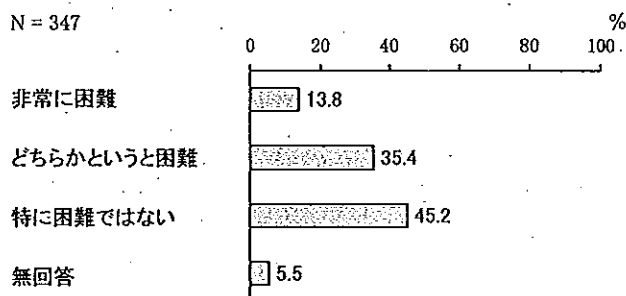
カ その他

「1泊」が3件、「2泊」「3泊」が1件となっています。

問 25 で「1. あった ア(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいます。

問 25-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「特に困難ではない」の割合が45.2%と最も高く、次いで「どちらかというと困難」の割合が35.4%、「非常に困難」の割合が13.8%となっています。

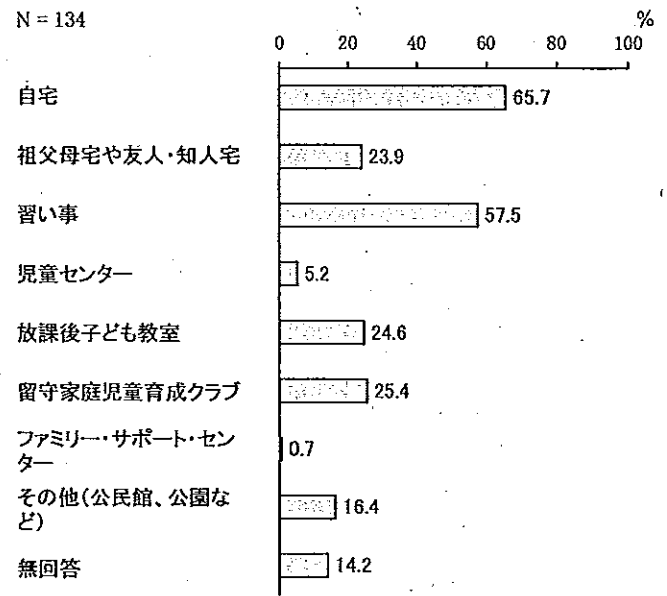


(10) 小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「留守家庭児童育成クラブ」の場合には、利用を希望する時間も____に数字でご記入ください。

「自宅」の割合が65.7%と最も高く、次いで「習い事」の割合が57.5%、「留守家庭児童育成クラブ」の割合が25.4%となっています。

中学校区別でみると、東谷で「習い事」の割合が高く、約8割となっています。



[中学校区別]

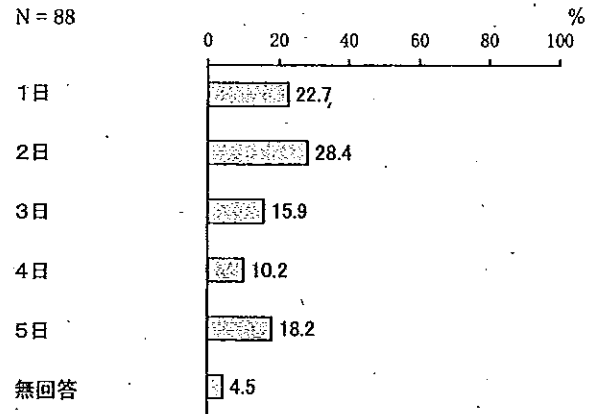
単位：%

	有効回答数(件)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	児童センター	放課後子ども教室	留守家庭児童育成クラブ	ファミリー・サポート・センター	その他(公民館、公園など)	無回答
川西南	17	70.6	47.1	52.9	-	17.6	17.6	-	11.8	17.6
川西	21	52.4	28.6	52.4	9.5	28.6	28.6	-	4.8	23.8
明峰	12	66.7	8.3	50.0	8.3	16.7	41.7	-	8.3	8.3
多田	18	77.8	27.8	66.7	11.1	38.9	16.7	-	22.2	5.6
緑台	16	50.0	25.0	31.3	-	12.5	25.0	-	18.8	25.0
清和台	25	72.0	12.0	68.0	4.0	24.0	24.0	4.0	28.0	12.0
東谷	19	78.9	21.1	78.9	-	21.1	21.1	-	15.8	-

○1週当たり日数

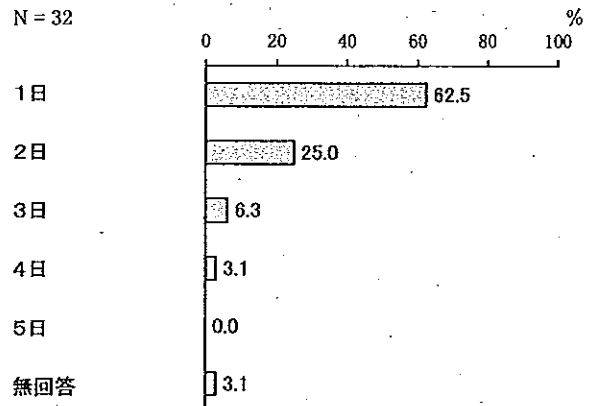
1. 自宅

「2日」の割合が28.4%と最も高く、次いで「1日」の割合が22.7%、「5日」の割合が18.2%となっています。



2. 祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が62.5%と最も高く、次いで「2日」の割合が25.0%、「3日」の割合が6.3%となっています。



3. 習い事

「1日」の割合が41.6%と最も高く、次いで「2日」の割合が36.4%、「3日」の割合が15.6%となっています。

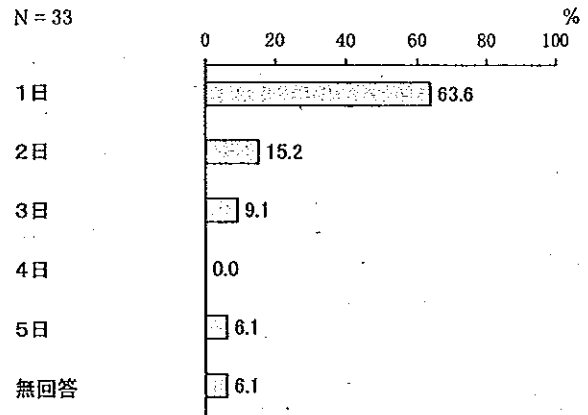


4. 児童センター

「1日」が4件、「3日」が2件、「2日」が1件となっています。

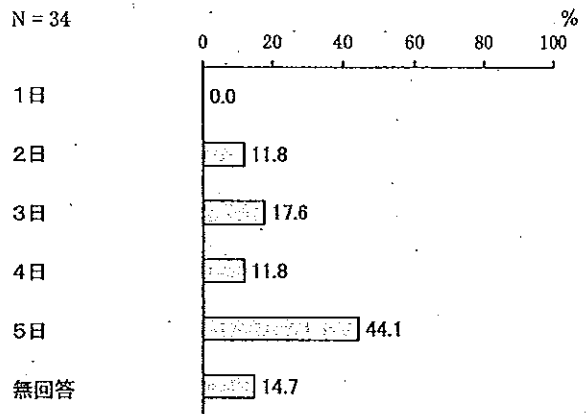
5. 放課後子ども教室

「1日」の割合が63.6%と最も高く、次いで「2日」の割合が15.2%、「3日」の割合が9.1%となっています。



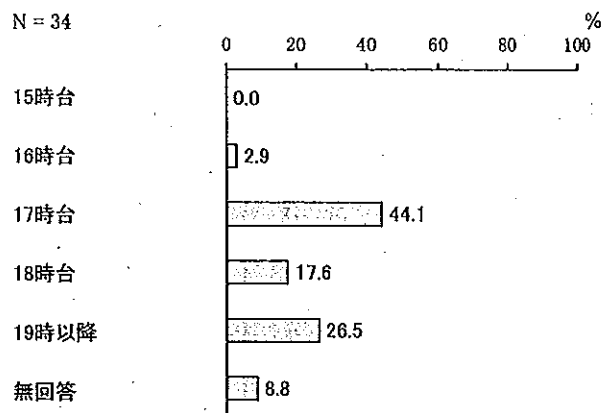
6. 留守家庭児童育成クラブ

「5日」の割合が44.1%と最も高く、次いで「3日」の割合が17.6%となっています。



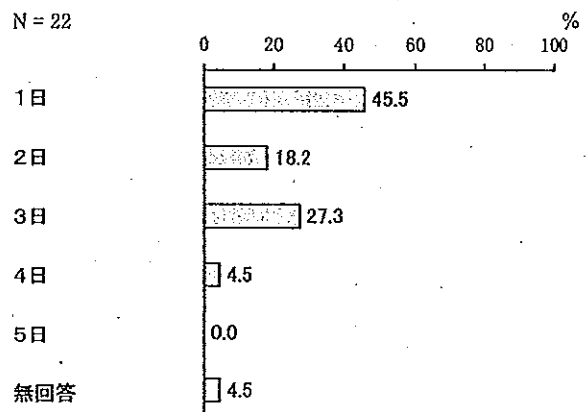
【利用したい時間帯（終了時刻）】

「17時台」の割合が44.1%と最も高く、次いで「19時以降」の割合が26.5%、「18時台」の割合が17.6%となっています。



7. ファミリー・サポート・センター

「2日」が1件となっています。



8. その他

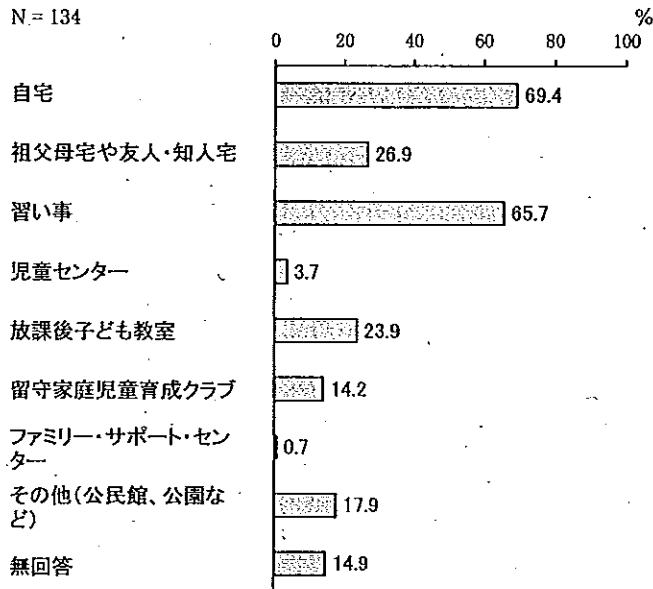
「1日」の割合が45.5%と最も高く、次いで「3日」の割合が27.3%、「2日」の割合が18.2%となっています。

問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「留守家庭児童育成クラブ」の場合には利用を希望する時間も____に数字でご記入ください。

「自宅」の割合が69.4%と最も高く、次いで「習い事」の割合が65.7%、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が26.9%となっています。

中学校区別でみると、明峰で「習い事」の割合が高く、8割を超えています。

N = 134



[中学校区別]

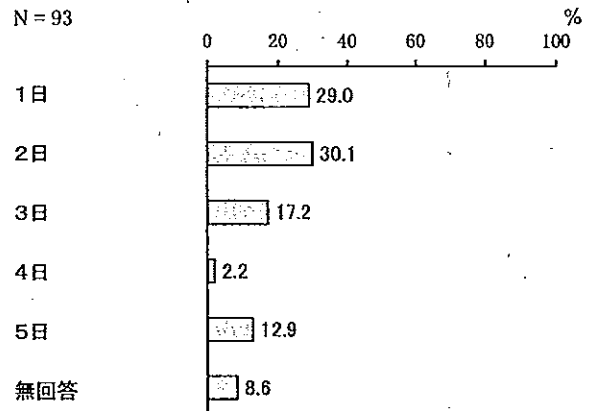
単位：%

	有効回答数(件)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	児童センター	放課後子ども教室	留守家庭児童育成クラブ	ファミリー・サポート・センター	その他(公民館、公園など)	無回答
川西南	17	70.6	47.1	52.9	-	23.5	5.9	-	11.8	17.6
川西	21	57.1	28.6	57.1	4.8	23.8	23.8	-	-	23.8
明峰	12	75.0	25.0	83.3	-	16.7	16.7	-	25.0	8.3
多田	18	83.3	27.8	77.8	11.1	44.4	22.2	-	16.7	5.6
緑台	16	50.0	18.8	50.0	-	12.5	18.8	-	25.0	25.0
清和台	25	76.0	20.0	76.0	4.0	20.0	8.0	4.0	28.0	12.0
東谷	19	84.2	21.1	73.7	-	21.1	5.3	-	21.1	5.3

○1週当たり日数

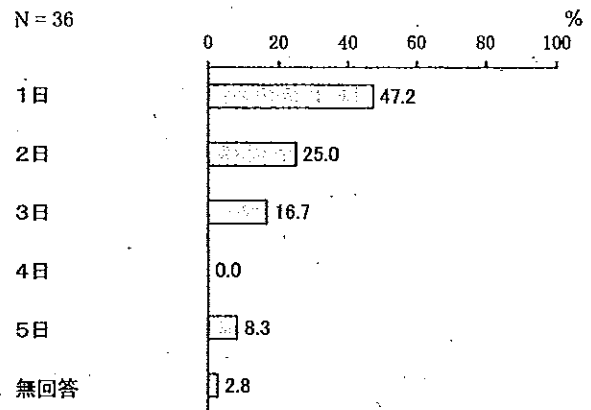
1. 自宅

「2日」の割合が30.1%と最も高く、次いで「1日」の割合が29.0%、「3日」の割合が17.2%となっています。



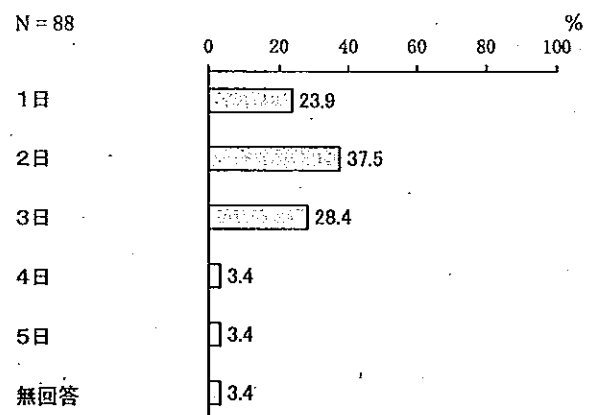
2. 祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が47.2%と最も高く、次いで「2日」の割合が25.0%、「3日」の割合が16.7%となっています。



3. 習い事

「2日」の割合が37.5%と最も高く、次いで「3日」の割合が28.4%、「1日」の割合が23.9%となっています。

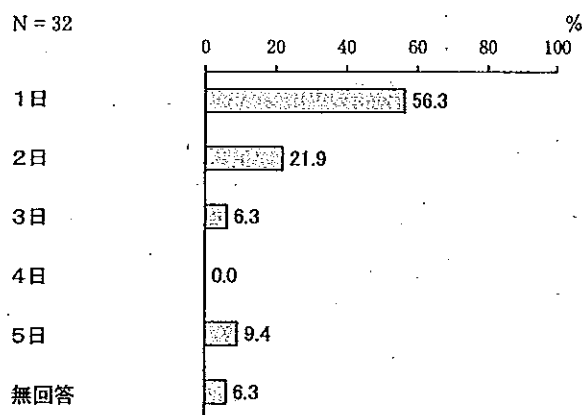


4. 児童センター

「1日」が2件、「2日」「5日」が1件となっています。

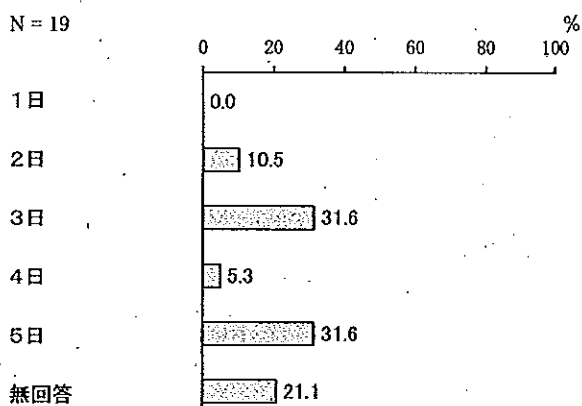
5. 放課後子ども教室

「1日」の割合が56.3%と最も高く、次いで「2日」の割合が21.9%、「5日」の割合が9.4%となっています。



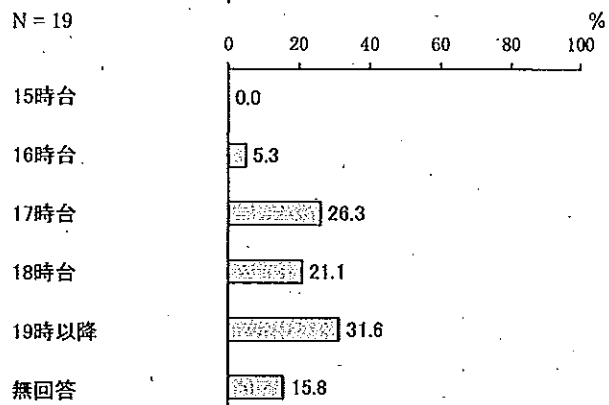
6. 留守家庭児童育成クラブ

「3日」「5日」の割合が31.6%とともに高くなっています。



【利用したい時間帯（終了時刻）】

「19時以降」の割合が31.6%と最も高く、次いで「17時台」の割合が26.3%、「18時台」の割合が21.1%となっています。

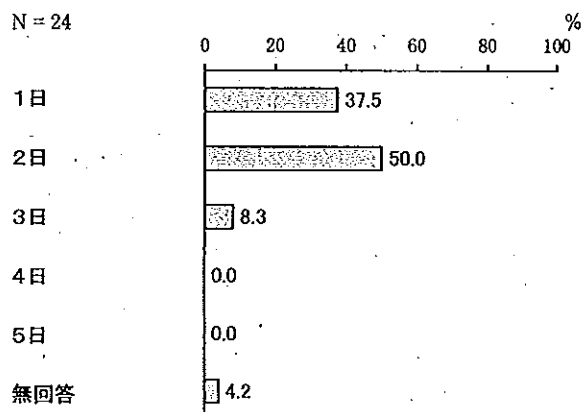


7. ファミリー・サポート・センター

「2日」が1件となっています。

8. その他

「2日」の割合が50.0%と最も高く、次いで「1日」の割合が37.5%、「3日」の割合が8.3%となっています。



問 26 または問 27 で「6. 留守家庭児童育成クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

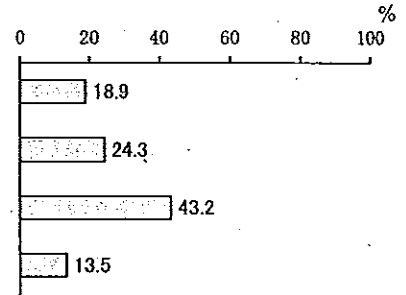
問 28 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、留守家庭児童育成クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間を__に数字でご記入ください。

(1) 土曜日

「利用する必要はない」の割合が43.2%と最も高く、次いで「高学年(4～6年生)になっても利用したい」の割合が24.3%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が18.9%となっています。

N = 37

低学年(1～3年生)の間は利用したい
 高学年(4～6年生)になっても利用したい
 利用する必要はない
 無回答

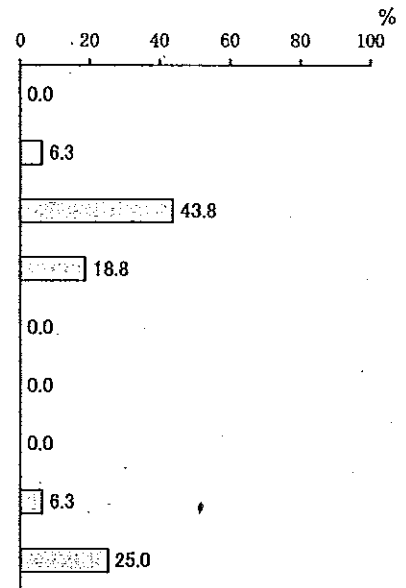


【利用したい時間帯 (開始時刻)】

「8時台」の割合が43.8%と最も高く、次いで「9時台」の割合が18.8%となっています。

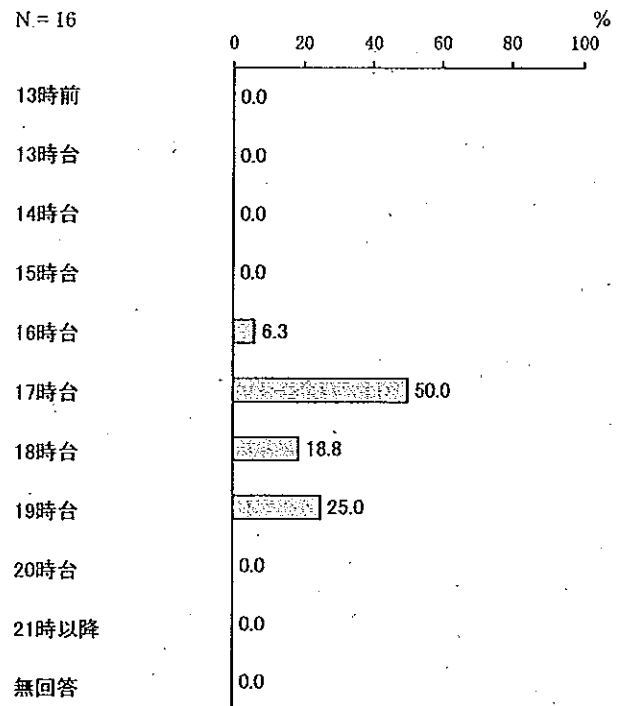
N = 16

7時前
 7時台
 8時台
 9時台
 10時台
 11時台
 12時台
 13時以降
 無回答



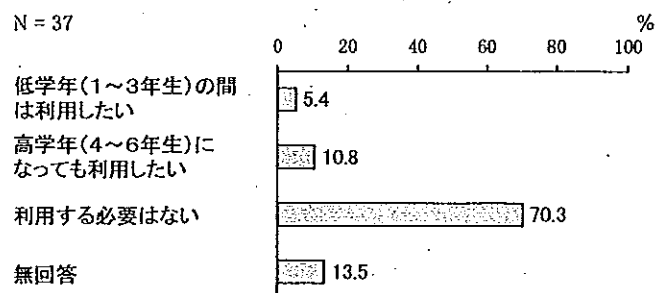
【利用したい時間帯（終了時刻）】

「17 時台」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「19 時台」の割合が 25.0%、「18 時台」の割合が 18.8%となっています。



(2) 日曜・祝日

「利用する必要はない」の割合が 70.3%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が 10.8%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が 5.4%となっています。



【利用したい時間帯（開始時刻）】

「8 時台」が 3 件、「9 時台」が 2 件となっています。

【利用したい時間帯（終了時刻）】

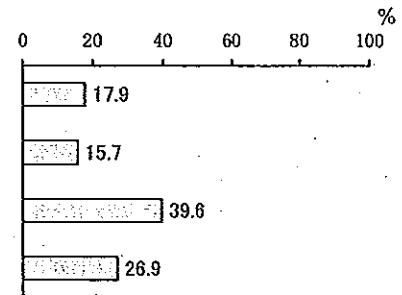
「17 時台」が 2 件、「16 時台」「18 時台」「19 時台」が 1 件となっています。

問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の留守家庭児童育成クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間を__に数字でご記入ください。

「利用する必要はない」の割合が39.6%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が17.9%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が15.7%となっています。

N = 134

低学年(1～3年生)の間は利用したい
高学年(4～6年生)になっても利用したい
利用する必要はない
無回答

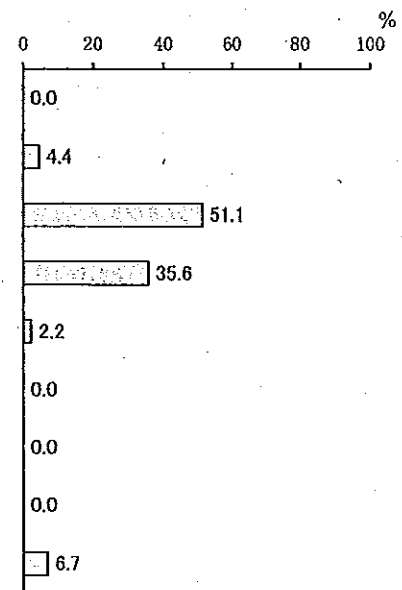


【利用したい時間帯（開始時刻）】

「8時台」の割合が51.1%と最も高く、次いで「9時台」の割合が35.6%、「7時台」の割合が4.4%となっています。

N = 45

7時前
7時台
8時台
9時台
10時台
11時台
12時台
13時以降
無回答

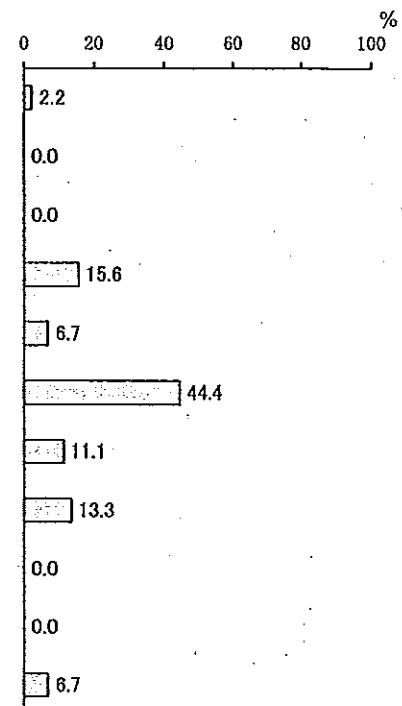


【利用したい時間帯（終了時刻）】

「17時台」の割合が44.4%と最も高く、次いで「15時台」の割合が15.6%、「19時台」の割合が13.3%となっています。

N = 45

13時前
13時台
14時台
15時台
16時台
17時台
18時台
19時台
20時台
21時以降
無回答



(11) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

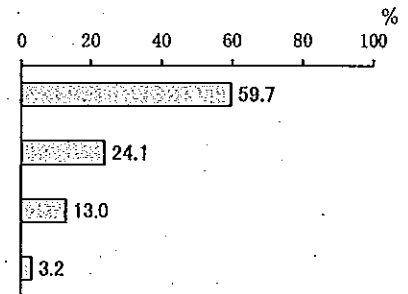
問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する___内に数字をご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

【育児休業取得の有無（母親）】

「働いていなかった」の割合が59.7%と最も高く、次いで「取得した(取得中である)」の割合が24.1%、「取得していない」の割合が13.0%となっています。

N = 1608

働いていなかった
取得した(取得中である)
取得していない
無回答

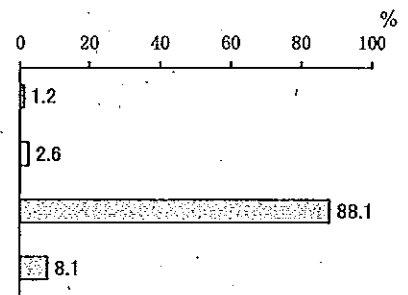


【育児休業取得の有無（父親）】

「取得していない」の割合が88.1%と最も高く、次いで「取得した(取得中である)」の割合が2.6%、「働いていなかった」の割合が1.2%となっています。

N = 1549

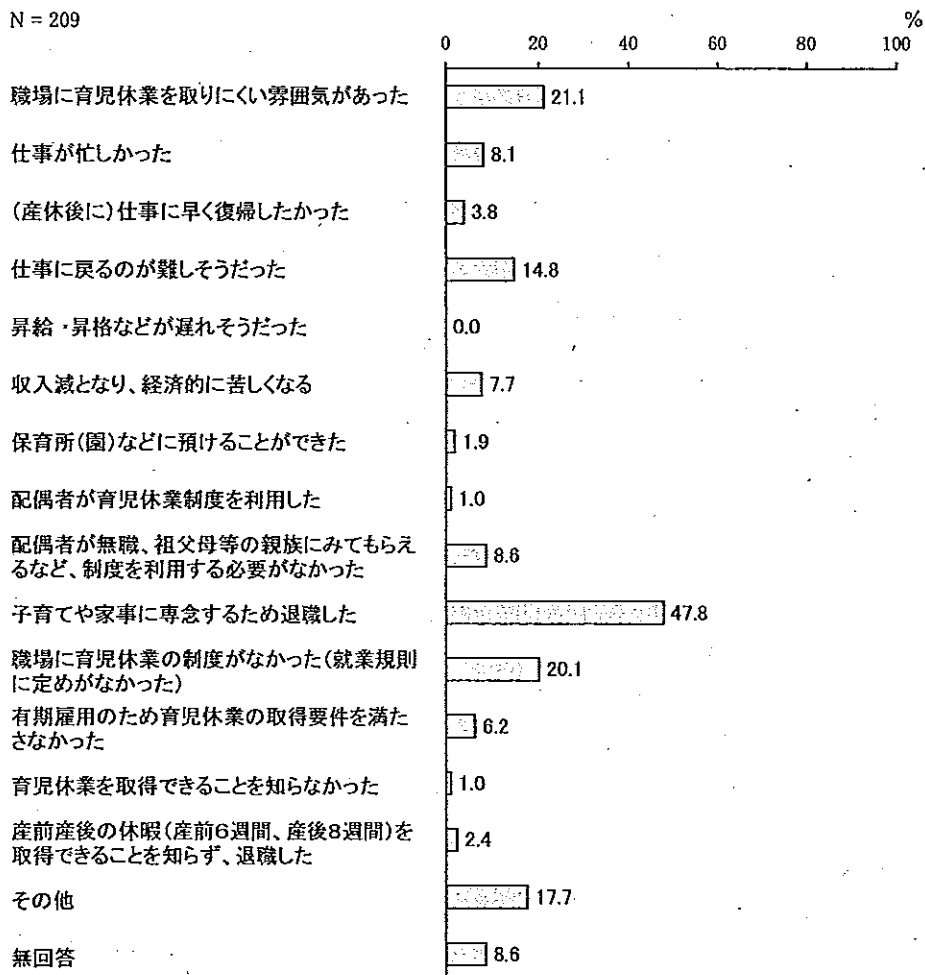
働いていなかった
取得した(取得中である)
取得していない
無回答



【育児休業を取得していない理由（母親）】

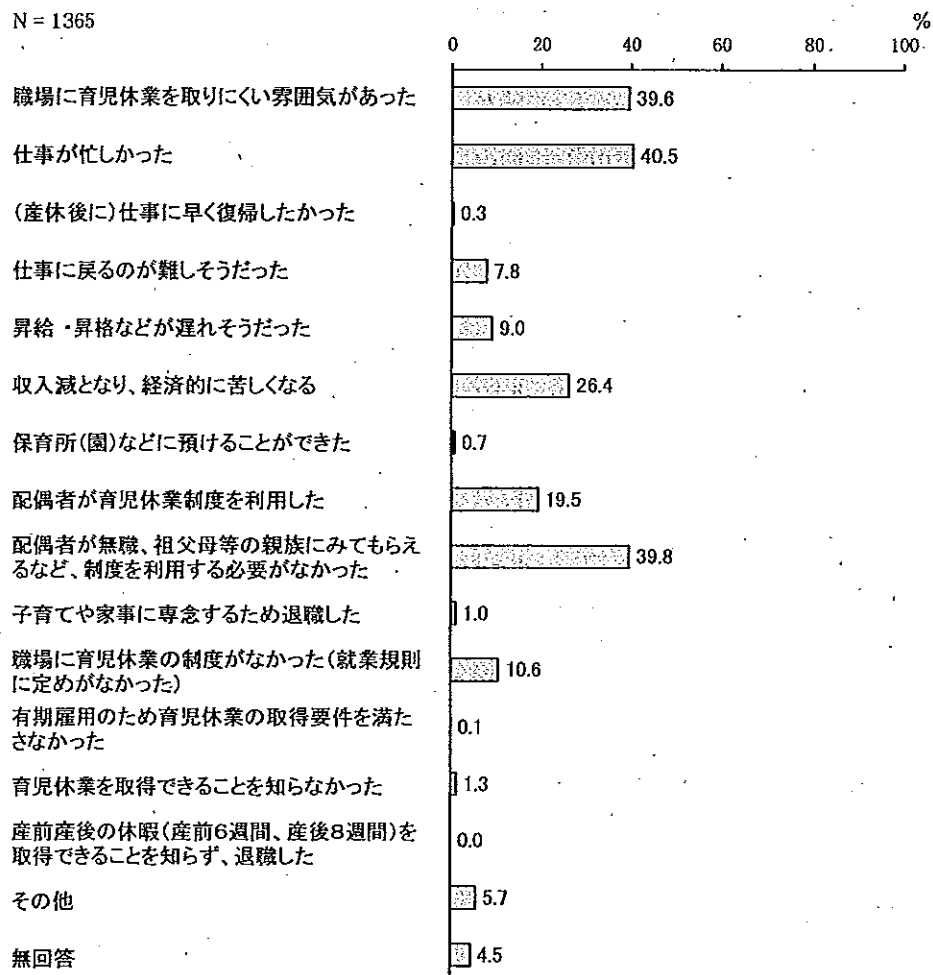
「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が47.8%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が21.1%、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が20.1%となっています。

N = 209



【育児休業を取得していない理由（父親）】

「仕事が忙しかった」の割合が40.5%と最も高く、次いで「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が39.8%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が39.6%となっています。

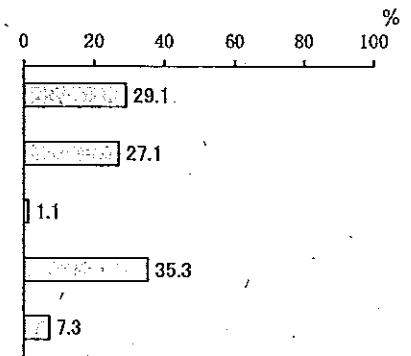


問 30-1 子どもが原則1歳（保育所（園）における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6か月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が35.3%と最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が29.1%、「育児休業給付のみ知っていた」の割合が27.1%、「保険料免除のみ知っていた」の割合が1.1%、「無回答」の割合が7.3%となっています。

N = 1609

育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
 育児休業給付のみ知っていた
 保険料免除のみ知っていた
 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった
 無回答



問 30で「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。

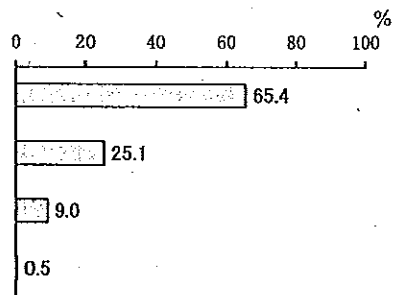
問 30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が65.4%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が25.1%、「育児休業中に離職した」の割合が9.0%となっています。

N = 387

育児休業取得後、職場に復帰した
 現在も育児休業中である
 育児休業中に離職した
 無回答

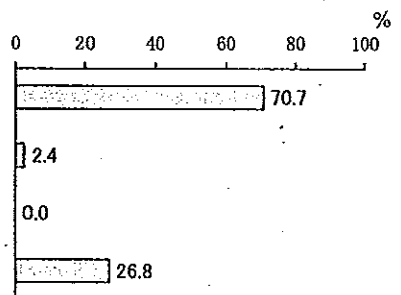


(2) 父親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が70.7%、「現在も育児休業中である」の割合が2.4%となっています。

N = 41

育児休業取得後、職場に復帰した
 現在も育児休業中である
 育児休業中に離職した
 無回答



問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所（園）入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

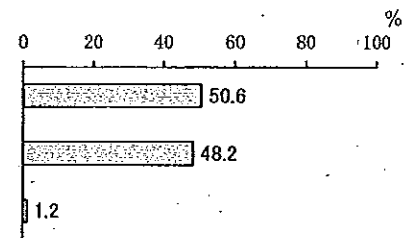
「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が 50.6%、「それ以外だった」の割合が 48.2% となっています。

N = 253

年度初めの入所に合わせたタイミングだった

それ以外だった

無回答



(2) 父親

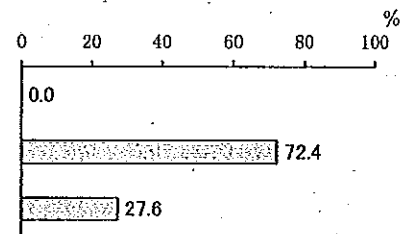
「それ以外だった」の割合が 72.4% となっています。

N = 29

年度初めの入所に合わせたタイミングだった

それ以外だった

無回答



問 30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。___に数字でご記入ください。

(1) 母親

【実際の取得期間】

「7 か月～12 か月」の割合が 45.1%と最も高く、次いで「1歳1 か月～1歳6 か月」の割合が 19.8%、「1歳7 か月～2歳」の割合が 13.4% となっています。

N = 253

1か月～6か月

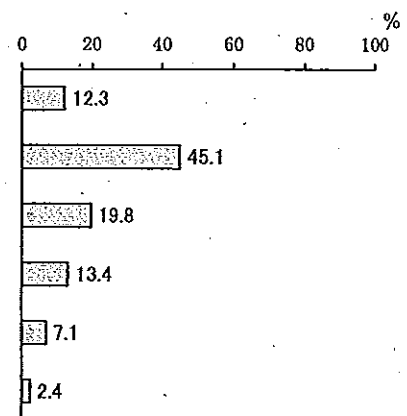
7か月～12か月

1歳1か月～1歳6か月

1歳7か月～2歳

2歳1か月以上

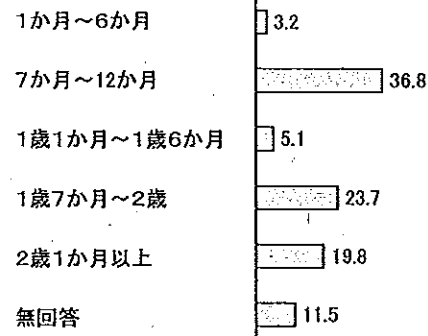
無回答



【希望の取得期間】

「7か月～12か月」の割合が36.8%と最も高く、次いで「1歳7か月～2歳」の割合が23.7%、「2歳1か月以上」の割合が19.8%となっています。

N = 253

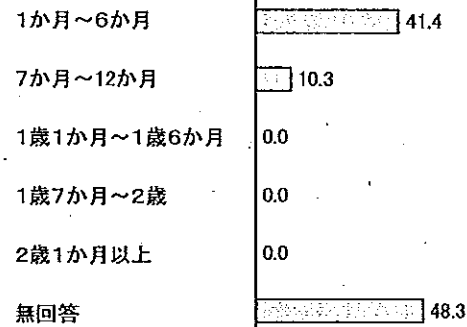


(2) 父親

【実際の取得期間】

「1か月～6か月」の割合が41.4%、「7か月～12か月」の割合が10.3%となっています。

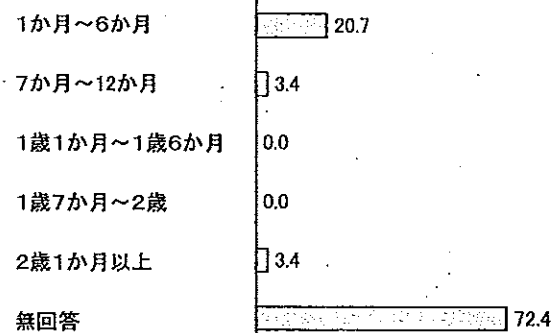
N = 29



【希望の取得期間】

「1か月～6か月」の割合が20.7%と最も高く、次いで「7か月～12か月」「2歳1か月以上」の割合が3.4%となっています。

N = 29

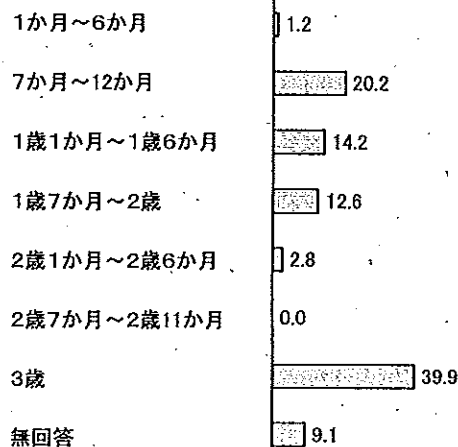


問 30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。___に数字でご記入ください。

(1) 母親

「3歳」の割合が39.9%と最も高く、次いで「7か月～12か月」の割合が20.2%、「1歳1か月～1歳6か月」の割合が14.2%となっています。

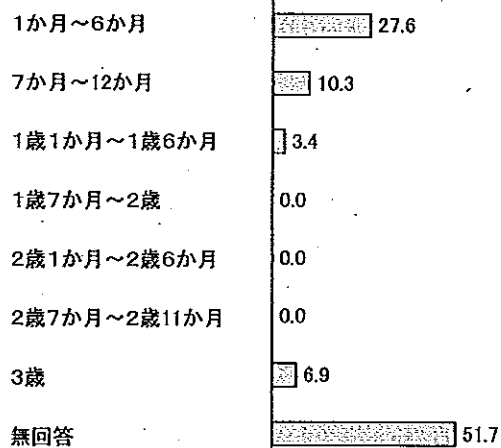
N = 253



(2) 父親

「1か月～6か月」の割合が27.6%と最も高く、次いで「7か月～12か月」の割合が10.3%、「3歳」の割合が6.9%となっています。

N = 29



問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてについて当てはまる番号すべてに○をつけてください。

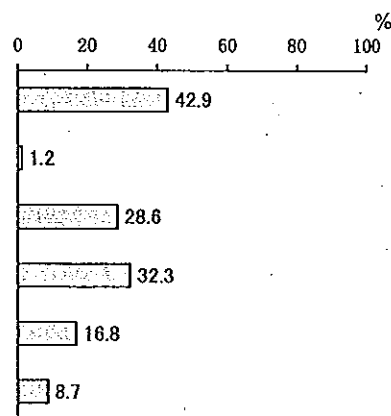
(1) 「希望」より早く復帰した方

①母親

「希望する保育所(園)に入るため」の割合が 42.9%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 32.3%、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 28.6%となっています。

N = 161

希望する保育所(園)に入るため
配偶者や家族の希望があったため
経済的な理由で早く復帰する必要があった
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
その他
無回答



②父親

「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 1 件となっています。

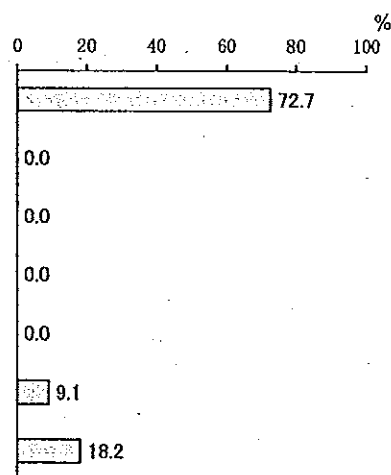
(2) 「希望」より遅く復帰した方

①母親

「希望する保育所(園)に入れなかったため」の割合が 72.7%となっています。

N = 22

希望する保育所(園)に入れなかったため
自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
配偶者や家族の希望があったため
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
子どもをみてる人がいなかったため
その他
無回答



②父親

該当者はいません。

問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
 問 30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

「利用した」の割合が 40.7%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が 33.6%、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が 21.7%となっています。

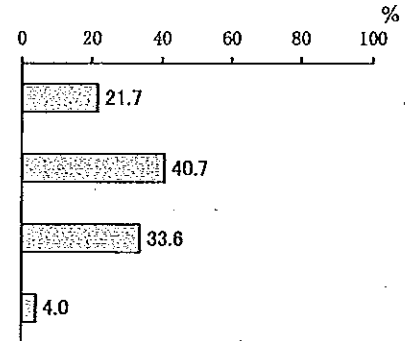
N = 253

利用する必要がなかった
 (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)

利用した

利用したかったが、利用しなかった
 (利用できなかった)

無回答



(2) 父親

「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が 51.7%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が 27.6%、「利用した」の割合が 3.4%となっています。

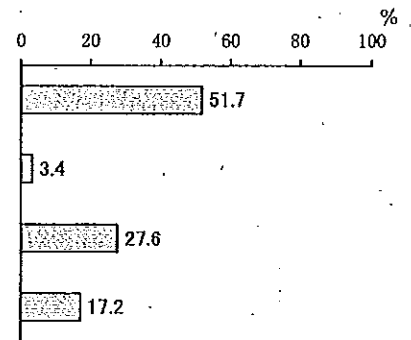
N = 29

利用する必要がなかった
 (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)

利用した

利用したかったが、利用しなかった
 (利用できなかった)

無回答

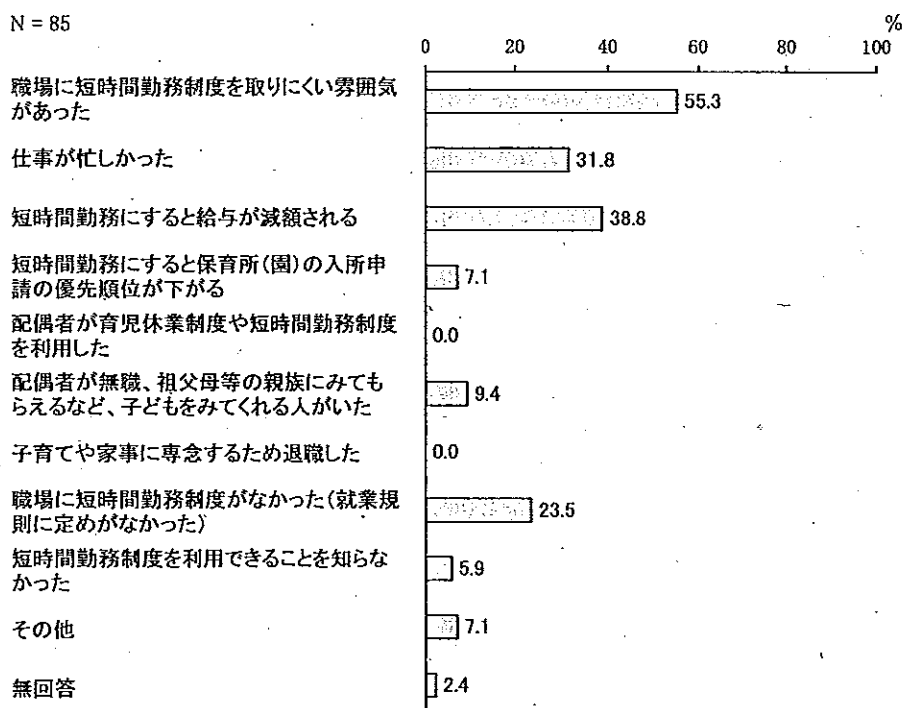


問 30-7 で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

(1) 母親

「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が 55.3%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が 38.8%、「仕事が忙しかった」の割合が 31.8%となっています。



(2) 父親

「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた」が 3 件、「職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が 2 件、「短時間勤務にすると給与が減額される」「短時間勤務制度を利用できることを知らなかった」「その他」が 1 件となっています。

問 30-2 で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

問 30-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

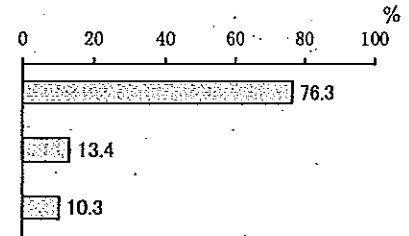
「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が76.3%、「1歳になる前に復帰したい」の割合が13.4%となっています。

N = 97

1歳になるまで育児休業を取得したい

1歳になる前に復帰したい

無回答



(2) 父親

「1歳になるまで育児休業を取得したい」が1件となっています。

問 31 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。

「3」の割合が15.2%と最も高く、次いで「2」の割合が8.7%、「4」の割合が5.5%となっています。

N = 1609

1(満足度が低い)

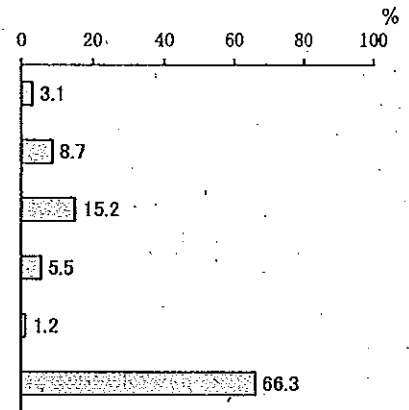
2

3

4

5(満足度が高い)

無回答



(12) 自由意見

問 32 最後に、川西市でどのような子育てができるようになると良いと思いますか。安心して楽しく子育てができることや、子どもが健やかに成長できるためのご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

※主な意見を抜粋・要約し、一部原文から表現を修正して掲載しています。

【幼稚園について】

- ・市立幼稚園で預かり保育をやってほしいです。
- ・市立幼稚園の施設、保育環境がよりよくなればうれしいです。
- ・市立幼稚園が3年保育になってほしいです。
- ・市立幼稚園のPTA役員の負担を軽減してください。
- ・今現在ある幼稚園の園庭開放は、安全で広々とした公園の少ない中、子どもの遊び場として大活躍しています。今後も続けていただきたいと思います。
- ・市立幼稚園が遠すぎて通園することが無理で私立幼稚園に行くことができません。近くに市立幼稚園があればよいと思います。
- ・市立の幼稚園に、有料でもよいのでバスを出してほしいです。入れる人も増えると思います。
- ・全幼稚園で長期休み期間には、預かり保育が利用できるか、あるいは、代替施設の利用ができればよいと思います。
- ・定員以下の市立幼稚園の利用方法を考えてほしい。例えば保育園を併設するなど活用していただけたら嬉しい。
- ・私立幼稚園就園奨励費補助金をもっと充実させてほしいです。兄弟が小学校低学年にいて金額を減らすのは、おかしいと思います。

【保育所（園）について】

○保育の質について

- ・入所待ちを減らすために、定員を増やすだけではなく、安心して預けられるように保育の質は下げないようにしてほしいです。
- ・子どもたちの未来を見据えて、集団でのルールや集団の中で知ることのできる楽しさを感じられる保育ができるよう、市で保育の質の向上

を目指してほしいです。

- ・保育所の中で習いごとができるとう嬉しい。(体操教室、英語教室、習字など)
- ・教育方針や施設に差がありすぎると思います。差がなくなればよいと思います。
- ・認可保育所においても、もう少し教育的な要素を取り入れてほしいと思います。同じ金額なのに、保育内容がバラバラで不公平感も有ります。
- ・認可保育所に入所していますが、就学するにあたり幼稚園と同様、年長児だけでもよみかきや時計の見方など、教育面の時間を増やしていただけたらと思います。
- ・子どもが認可保育所に通っていますが、定員より大分たくさんの子供がいます。待機児童を減らすためでしょうが、やはり基準内で子どもたちがのびのびと生活できる環境は大切だと思います。

○保育所の定員増と立地について

- ・保育所に確実に入れる市になってほしいです。
- ・川西市は保育所が南部に多く、北部に少ない。同じ小学校区の友人ができるように、できるだけ自宅近くに入所させたいと考える人が多いので、北部にもっと増やしてほしいです。
- ・希望としては小さくてもよいから地区ごとに認可保育所を増やしてほしいです。
- ・求職中でも認可保育所に入れる環境があればと思います。
- ・認可保育所にスムーズに入園できるようにしてほしいです。入園するために、育休を早めに切り上げないといけない。(4月に入園するため)
- ・川西市内のすべての保育所で、0歳児を対象とした保育を取り入れてほしいです。

○開所時間について

- ・市立保育所も延長保育が 20 時までになると選択肢が増えてよいと思います。
- ・サービス業についているので土日の出勤もあり、日曜の午前中だけでも保育できる場所が増えればと思います。

○施設の耐震・老朽化について

- ・市立保育所に通わせていますが、耐震強度が基準に満たないということを大変心配しております。子どもを安心して通わせることができるよう、早急にご対応いただきますようお願いします。
- ・市立保育所へ行っているが、施設が古く床等段差があり危ない。安全上問題ないか見直してほしいです。
- ・市立保育所が古く、私立と比べると差が大きすぎる。ベテランの先生がいたり、園庭が広かったりするのとてもよいので、建て替えやリフォームをしてほしいです。

○保育料について

- ・共働きで所得が高くなるほど保育料が高くなるが、もともと税金も多く納めているのに保育料も多く必要となると不公平感がある。
- ・収入が高くなっても保育料が高ければ就労の意欲を削ぐと思います。もう少し、3歳未満の保育料を下げしてほしいです。
- ・延長保育の料金は川西市として一定ではなく園で決定しているのでしょうか。納得いくように一定にしていきたい。
- ・別の自治体では、認可外保育所でも認可と同じ所得に応じた料金だったので認可外でも預けやすかった。川西は認可外だと値段が決まっているので高すぎて預けられない。

○一時預かりについて

- ・一時預かりを、こころよく受け入れてくれる園が全くないのではないのでしょうか。
- ・一時預かりも、値段をもっと下げてください

ら、利用しやすいと思います。

- ・通院や美容院などちょっとした私用もこなせません。私用でも預かってくださる保育施設の案内などしていただければ助かります。

○認定こども園について

- ・もっと認定こども園が増えて、近所で保育してもらいつつ教育の時間もとってもらえ、延長保育もあるという施設があると理想です。

○その他

- ・育児休業の時、上の子はそのまま保育園に利用継続できることは非常にありがたいことですが、仕事を持つ母親としては今だけが子どもたちと深く関われる時間でもあるので、制度として「休園制度」をつくってほしい。
- ・待機児童の時、託児所に入れて働いていました。そちらの方の底上げや認可保育所の増設の方が真の子どもの育ち、親の支えになるのではないのでしょうか。
- ・きょうだいと同じ保育園に通えるようにしてもらいたいです。
- ・休みの日など、保育園の園庭開放に行きたいのですが、入所している園には行けない決まりがあり、他の保育園も利用してくださいとのこと。弟もいるため、できれば今利用している保育園に遊びに行けたらとても助かります。
- ・保育園の園庭開放を平日は毎日してほしいです。
- ・子どもを預けて働いている母親は仕事、家事、育児で疲労困憊しているので、たまの休日にはリフレッシュしたい。でも、その理由での保育所利用はできないのでそのような制度があれば非常に嬉しいです。
- ・保育園の申し込みに行ったとき、人によってまったく違う対応はとてもおかしいと思います。まずは市民の声をもっと聞いてほしいです。
- ・市役所の方がもっと優しく対応してほしいです。こちらとしても職場復帰を迫られている時でしたので、対応によってストレスを強く感じました。

【学校について】

○教育の質について

- ・いろいろ難しい点もあると思いますが、学校教育者の方々には勇気をもって「叱る」ということをしていただきたいと思います。
- ・私の住む地域は小学校の生徒数が少なく、1学年1～2クラスと聞いています。自宅近くに魅力的な公立小学校がありますが、生徒数を考えると遠方の私学を、と検討中です。各地区の小学校を統廃合し、生徒数を増やすということは不可能でしょうか。
- ・小学校の教員を増やし、一人一人をじっくり見てもらいたい。
- ・小学校での英語教育をもっと充実してほしいです。
- ・小学校でも放課後、漢字検定や算数、英語、体操やスポーツ、絵画などができ、子どもたちが自分で選んで意欲のある子どもたちにはチャンスが与えられればと望みます。
- ・各学校や幼稚園に入る前に学校の状況を多面的な方々が評価し情報として知り得られたら、より学校等に信頼が持てます。
- ・放課後の学校（小学校）をもっと有効利用してほしい。民間より安く塾、クラブ活動ができるとよい。多くの親にとって学校は子どもたちを預ける場所としては一番安心なので有効利用してほしい
- ・私立幼稚園や私立小学校の授業料が高いことが現実であり、国や市からの支援が必要だと思う。公立小学校の質が落ちているとよく言われて、親が安心して子どもを教育させる場所にしてほしいです。

○校区について

- ・私の住む地域に中学校をつくってほしいです。大きくなって通うようになった時のことを考えると不安です。
- ・中学校区の考え方をかえ、個人でえらべるように自由化がすすむとありがたいです。

- ・電車の線路（踏切）を渡って通わなければなりません。危ないし、心配です。校区の見直しをしていただきたいです。

○学校給食について

- ・中学校での給食を実施してほしい。
- ・保育所の給食で子どもの苦手なものが減ってきて助かっています。川西市も早く小・中学校に給食を導入していただきたいです。集団の力はすごいです。
- ・中学校に給食制度がないが、栄養の面、安心の面、親の負担の面から考えると、給食制度の導入が望ましいと考える。

【留守家庭児童育成クラブ】

- ・利用時間が短い割に、利用料が高い。夏休み等の休暇中に利用したい人が多いのに、夏休みだけの利用は認められない等、使い勝手が悪い。利用料を1回毎に支払うようにし、授業のある日は安く、夏休み等休日は高くし、親が働いていなくても利用できるようにしてほしいです。
- ・クラブの時間を夜遅くまで可能なら助かります。19時30分か20時など。
- ・朝7時や、18時30分以降の学童があればと思います。子どもが小学校に上がると、子どもを家に置いて出勤しなくてはいけなくなりますので、安心して預けられる場所がほしいです。
- ・学童保育を6年生までしてほしい。夏休みなどは一時的に学童保育が利用（数時間でも）できるようにしてほしい。
- ・19時頃までの延長か、大人の方が近所まで帰宅に付き添ってもらえれば安心できます。
- ・お盆期間中育成クラブは休所になりますが就労形態は様々であるので開所してもらえればよいと思います。
- ・小学校の学童保育なのですが、台風などで途中下校などになった時の連絡方法が電話なのでメールでできるようにしてほしい。
- ・留守家庭児童育成クラブも1か月決まった料金ではなく使いたいときだけ使えるシステムで

あれば利用しやすいと思います。

- ・小学校入学後、特に低学年の間はまだ一人で留守番をすることができず、入所対象外の子どもは親の留守の時、居場所がありません。

【妊婦健診・健康診断などについて】

- ・妊婦健診の割引券を他市町村、他府県でも使用できるようにしてほしいです。
- ・公民館・行政センターで母子手帳の配布と、妊婦健診の助成券をもらえるようにしてほしい。
- ・子どもを産みたいけれどなかなか授からない人への支援。
- ・妊娠初期に妊婦訪問を希望するハガキを提出したところ、希望日の確認が、すでに不安な時期を長く過ごした後の出産2か月前にきた。運営されている現場の方が利用者の心情を理解してほしい。
- ・1歳健診などのハガキをできれば2か月前にはほしいです。仕事をしている母親としては勤務の申請に間に合わない時があります。
- ・集団健診も他の子どもをみる機会としてはよいことだと思いますが、もう少し環境を整えてもらいたいと思いました。
- ・乳幼児健診（4か月、10か月、1歳半等）の時間をもう少し考えていただきたいと思います。午後からなので兄弟がいる場合、幼稚園等のお迎えの時間と重なります。
- ・保健センターでの健診に、市役所の駐車場の割引サービスがないのが不便。市内では車でないと来られない場所や状況（例えば多児）の人もいて、やむを得ず車で来ざるを得ないこともあるので、配慮してほしいです。
- ・子どもが生まれてから小学校低学年までの間は、親がなかなか自分の健康診断に行けないので、保健センターなどで行われる健診に子どもを預けることのできる保育があればよい。

【ファミリー・サポート・センター】

- ・ファミリー・サポート・センターに登録してい

ますが、家の近所でサポートをお願いできる人を見つけられないのが現状です。

- ・利用したいが、手続きに書類を取りに行き、記入して面接に行くと時間と手間がかかりすぎる。
- ・利用料がもう少し安ければと思います。
- ・制度をもっと広げてほしい。もっとわかりやすく、利用できる場所がすぐ検索できるなど。

【病児・病後児保育】

- ・両親の実家が遠く、気軽に子どもの世話を頼めないため、病後児施設は本当にありがたいです。
- ・病児保育の受け入れ先をつくってください。子どもがもし骨折したりすると、退職を余儀なくされます。感染症対応可を希望。

【子育て相談について】

- ・子育てで困った時、気軽に話ができる相談できる場所があればよいと思います。
- ・外に出たくても出られないお母さんのために、訪問していただけるようなシステムがあると助かります。（話をするだけでも嬉しいと思います。）
- ・子育ての悩みを気軽に相談できる窓口があるのだと思いますが、実際には知らずに一人で悩んでいる方もいると思うので、そのような場所があることをみんなが知って、利用して子育ての悩みを一人で抱えないようになればよいと思います。

【子育て支援施設・児童館の充実について】

- ・未就園児をプレイルームに連れて行きたくても、牧の台まで行かなければなりません。少し遠いので、もう少し近くて気軽に行ける場所にあればうれしいです。
- ・地域子育て支援ルームが自宅から遠いので、現在利用していませんが、自転車でいける場所にあれば、利用したいと思うのでもっと実施場所を増やしてほしいです。
- ・児童館が1つしかなく遠いので子どもが行けま

せん。南北に広い川西市なので、せめて3か所あってもよいと思います。

- ・雨の日や寒い冬、暑い夏等で外で遊ぶのが難しい時に室内で小学生低学年ぐらいまでが遊べる児童館のような広い空間があればよいと思います。
- ・数か所のプレイルームでとても楽しく遊べましたが、いずれも駐車場が少なく、ないところもありました。
- ・子どもが勉強できたり小さい子どもが遊べたりできる施設を建ててほしいです。小学校からも近いところにそのような建物があってもよいのではないですか。
- ・プレイルームや園庭開放されている施設は、施設やおもちゃにあまり清潔感がないように思います。また、霧囲気が暗いため、あまり行く気になれません。

【子育てと仕事の両立】

- ・市立幼稚園ではパートに出るのが難しいし、私立幼稚園だと経済的に負担が大きい。
- ・川西市は、業種によっては市内での就労が難しく、通勤にとっても時間がかかります。そのため、保育時間内に子どもを迎えに行くことができなかつたり、延長で保育料がかさんでしまつたりと、生活とのバランスがとりづらく就職を考えても、実現が難しいという現状です。
- ・育休が1年は短すぎると思います。本当に3年になれば働く女性も子育てに専念できる時間が持てるならと安心して子どもをつくりたいともっと思うのではないのでしょうか。
- ・育児休業制度や保育所入所の優先順位など、全般的に正規雇用者を優遇した制度であることに不満を感じます。
- ・父親が育児に積極的に参加するような社会をつくるのが一番です。男性の意識、企業の意識、働く人々の意識が変わらないと父母が共に平等に育児や就労を行うことはできません。
- ・「子育て支援」という言葉をよく聞きますが、基本的に働く母親への支援としか思えません。

もちろん働かなければならない状態かもしれませんが子育てで一番しんどいのは専業主婦だと思います。母親が一人で子どもを育てる時間を少なくするために父親を家に帰してください。

【土日祝の施設等の利用希望】

- ・近所や市内には平日行われている子育てサロンはあるようですが、土日に利用するところがありません。そのためまだお友達がいなくてとても不安です。
- ・赤ちゃん交流会やプレイルームを育休中はよく利用していたが、仕事復帰するとまったく利用できなくなって寂しいです。土日にも利用できるようにしてほしい。
- ・平日は仕事のため、土日に子どもを遊びに連れて行きたくても児童館は休みで遊び場がありません。
- ・図書館でしている子ども（幼児向け）の絵本の読み聞かせが土曜なので、できれば平日の午前10時や11時の方がより多く参加できると思う。
- ・プレイルームにたまに行きますが、平日だけではなく土日も行ければ、父親も参加でき、地域の輪が広がると思います。
- ・各公民館に図書室があり、もっと行きやすく（日曜日・時間等）なればと思います。
- ・土曜の行政サービス(健診、歯科センター、医療費申請、保育所相談・申込み、母子手帳交付、妊婦健診費申請など)があるとうれしい。

【子育てしやすい施設・環境について】

- ・もっと授乳やおむつ交換ができる施設が増えてほしいです。
- ・父親も気軽に散歩したり買い物できるように、男性トイレにもオムツ替え台をつけてほしいです。
- ・駅前の自転車パーキングは子育て中のママチャリには、すごく不便です。横幅は狭いし、高い方の所へ止める時などは子どもを乗せたまま

押し上げることになるため、すごく力が要りません。3時間無料ですが、もっと無料時間を長くしてもよいのではないですか。

- ・いじめという問題はもっと家庭から、学校、地域まで取り込んでほしいです。できれば発生させない、出てきたら、隠さず正面から解決してほしいです。
- ・働きながら子育てしやすい環境を充実させることもとても重要ですが、いじめの問題、ネットの問題などにも力を入れてもらいたいです。

【大人の子育てへの意識】

- ・子ども連れに対するまちの人々の視線はまだまだ冷たいと感じます。市民に子育てに対する意識改革をうながしてもらえればと思います。
- ・子どもが通っている認可保育園では園の外に出ることがほとんどありません。周辺に住む方には子どもの声が騒音になるようで難しいとのこと。地域で子どもの成長を見守るゆとりがほしいです。
- ・川西市で「歩きタバコ禁止」を呼びかけてください。当たり前のことできていない大人が多すぎて子どもの教育によくないと思います。

【地域の見守り】

- ・学校・地域・家庭との深いつながりができるような制度をつくってください。
- ・ボランティアの方々に毎日していただいている小学校の登下校の見守りは安心して子どもを学校に送りだせ、とても助かっています。周囲の方々の温かいサポートが子育てに重要だと思います。
- ・“83（ハチサン）運動”を行っているところがあると聞いたことがあります。午前8時、午後3時の子どもたちの帰宅時間に合わせなるべく地域の人々が外出し人通りを多くし、子どもたちを見守っていくという方法でした。これならば負担なく必然的に見守っていけるのではと思います。
- ・「通学時間に植木に水やり運動」はとてもよい

と思う。犯罪や校外でのいじめには地域住民の目が抑止力になると思う。住宅のない人通りの少ない所には防犯カメラも目立つようにつけてほしいです。

【子育て支援情報の広報について】

- ・子育てのための情報に触れる機会をもっと多くつくってほしいです。専用のウェブサイト（ポータルサイト）があると良いと思います。
- ・講座や赤ちゃん広場の開催事項など、チラシだけでなく、ホームページなどにも載せてほしいです。
- ・仕事をしていると母親つながりでの情報を集めにくいので、保育所を通じた情報提供をしてほしい。

【保護者・子どもの交流】

- ・母親学級で知り合った方々とは、子どもが幼稚園に入った今でも仲良くしています。同じ時期に子育てをするお母さんたちと知り合えたことで、助けられたこと、嬉しかったことがたくさんあります。
- ・母親学級は初産婦向けのようですが、経産婦向けの学級がほしいです。出産・育児の勉強は無くとも、単なる妊婦さん同士の交流の場でもよいです。次の妊娠の時もそのような機会があれば心強いです。
- ・幼稚園に入園する前（3歳）までは、市の交流サークルのようなものが参加しやすかったが4～5歳位になると、それぞれ所属する園があるためか参加できる場が減ってしまった。
- ・子どもが先天性の心疾患がありますが、川西市にはそのような子に対するサポート的な相談会や交流会がないように見受けられます。川西でもそのようなものがあれば、是非利用したいのですが。
- ・多胎児交流が、1カ所で1か月につき1回なので、機会を逃すと行きにくくなる。多胎児は小さいときは出かけるにも人手などとても困難なことが多く、こもりがちになってしまうので

外出するための機会が多いほうがよいと思う。

- ・父親だけの横のつながりを持つ機会、会合等があると助かります。保育園、幼稚園を始め、保護者会は母親ばかりで出席することすらはばかられる雰囲気です。父子家庭であっても偏見にさらされることなく保護者の集まりに出られる場があるとよいと思います。
- ・年配の方と接する機会が少ないため、もっと地域の方と交流をもたせてほしいです。近くの公民館、自治会館などで、そういった交流があれば子どもにとってよい刺激になるのではないかと思います。
- ・新しい企画より川西市が昔からあった地域の子ども会をもっと力を入れてどの子どもも平等に地域の中で安心して育てられる環境づくりをしてほしいです。

【子育て支援施設・図書館・イベントなど】

- ・子どもが未就園の頃は公民館などで行われている子どものサークルや、子育てひろばによく参加していたが回数が少なく、もっと行ってほしかった。
- ・アップルを利用させていただいていますが、もう少し広い場所で開放してほしいです。
- ・アップルの活動に参加し、とてもよかった。このような活動がもっと多くの地域にあると、とてもありがたいです。赤ちゃん交流会も出張プレイルーム・牧の台も、両方とてもよい活動で、大変お世話になったが、交流会と牧の台等の情報が双方やり取りされておらず、協力したらもっと楽しい活動が増えるだろうなあと感じました。
- ・プレイルームのレベルをもっと上げてほしいです。家庭ではそろえられないような数がある積木など、各プレイルームの特色があるとほかの地域からも行きやすいなと思います。
- ・赤ちゃん交流会で上の子が邪魔をするので赤ちゃん向き合えないなど。兄弟で参加できる事業がもっとたくさんあればよい。
- ・広報を見ているのですが子どものイベントが少ない

気がするのでもっと増やしてほしいです。(例、英語、スポーツなど)

- ・子育てセンターのイベントで“小児の病気”に対して講習をしてほしいです。
- ・離乳食の料理教室(一時保育付き)があれば嬉しいです。
- ・1歳6か月の息子がいるのですが元気いっぱい毎日外に連れ出しています。歌や手遊びを教えてもらえるような場所(公民館)はありますが、週1回通えるような場所があればよいのではないかと思います。
- ・仕事をしているので地域や市でやっている子育てに関するイベントには参加しにくい。「働くママの集い」みたいなイベントの開催もよいのではないのでしょうか。
- ・プレイルームの詳細や活動内容を詳しくホームページで見られるともっと気軽に行けると思います(できれば自治会ごとの子育てサークルなども)。

【子どもの体験活動】

- ・せっかく川西市には緑や山も多いので、市の主催する林間学校や校外活動があれば、子どもがのびのびと楽しく育つと思います。
- ・体育館、室内プール各種の運動教室など南の方にかたよっているように思います。このことは未就園児未就学児だけでなく小学生、中学生にもこのサポートを受けさせてやりたいです。
- ・小学生から高校生までの地域交流をしてほしい。

【子ども・子育て支援新制度】

- ・子ども・子育て新制度で今後どうなっていくのか非常に不安に思っています。公的責任のない営利目的の施設にしか子どもを預けられないのであれば、仕事を退職することも考えています。従来のすばらしかった部分はなるべく残して、最低限の保育の質は守っていただきたいです。
- ・まず安心して子どもを預けられる保育園に入園させられることが第一だと思います。子育て新

システムへ移行した後も自治体がしっかり管理して子どもの安全や生活の保障がなされるよう、尽力をお願いしたいです。

【交通・道路】

- ・小学校も遠いことがあるため登下校が心配です。安全な登下校できる道をつくってほしいです。交通量が多い道路を通るので心配です。
- ・小学校の通学路が危険だと思ふことがあります。特に朝の時間帯は、交通量が多くガードレールもない歩道の狭い道を子どもたちが通っているのを見るとヒヤヒヤしますし、我が子も小学生になり、通ることを考えると心配になります。
- ・古くからある住宅街の歩道は幅が狭く、ベビーカーが通れないので改善してほしいです。
- ・自転車用に歩道や側道整備。子どもを乗せて自転車を使っているが段差が多く、表面ガタガタで狭い。また、蓋の無い溝が多く子どもや車にとって危ない。
- ・住宅街の中を通り抜けていく車が結構なスピードを出していることが多い。子どもがひかれそうになったりして危険なので、ミラーの設置や注意喚起をしてほしいです。
- ・住宅地の夜道が暗いです。LEDなど、もう少し明るくならないかと思ふます。
- ・駅のバリアフリー化。ベビーカーが通れない駅がある。

【公園】

- ・サッカーや野球など、ボールを使って遊べる公園がまったくないです。大きい公園があればよいと思ふます。
- ・公園があっても遊具が少ししかないので、子どもが集まるような楽しい公園が近くにあると友だちも増え日中も遊びに出る機会が増えると思ふ。
- ・川西市は大規模な公園も他市に比べ少ないように感じる。屋外でのびのび遊べる公園があるとうれしい。
- ・地域の公園は、普通の滑り台やブランコなど、

すべて同じような遊具なので、1か所でも大型の遊具やプラスチックの遊具などがあればありがたいです。

- ・各小学校区に遊具の充実した魅力的な公園があればよいと思ふます。そうすれば、地域の保育園、幼稚園の子どもたちや家庭保育中の子どもたち、みんながより屋外で遊ぶ機会が増えて、心と体の発達によいのではないかと思ふます。
- ・公園は初めて親になった人の、子どもが家族以外の人と関わり合う出逢いの場の一つです。「また行きたい」と思ふる公園には、子どもが集い笑顔が溢れるのではと思ふます。
- ・無料で利用できる大規模な遊び場（児童センターと公園が合わさったような室内でも屋外でも遊べる場所）があれば嬉しい。
- ・小・中高生などがいると危険で遊べないことも多いので、年齢に応じた外の遊び場が充実するとより快適性が高まると思ふます。
- ・夏の期間、公園の草がのびすぎていて遊べなかったもので、できればもう少し手入れしていただけると助かります。
- ・公園にゴミが散乱していることもあり、子どもの教育にも悪いし、危険物（ガラスの破片やタバコなど）を見かけることもあるので、住民一人一人の意識を高めることも必要かと思ふます。

【病院の充実・医療の費用負担について】

○病院

- ・休日や夜間の急病に対応してくれる病院を充実させてほしいです。
- ・川西市にも子ども急病センターをつくってほしいです。病気だけでなく、ケガにも対応してほしいです。
- ・休日診療してくれる小児科が川西市内にもあればよいのと思ふ。
- ・川西市は病院（小児科や産婦人科）が少ないと感じます。特に産婦人科は他の地域に比べて数が少ないような気がします。
- ・母が婦人科の健診のときや、兄弟が小児科の診

察のときに、病院内に一時的に子どもを見てもらえるスペースがあると助かる。

○子どもの医療費負担について

- ・乳幼児医療の年齢をもっと広げてほしいです。せめて小3くらいまでは負担なしにしてほしいです。
- ・乳幼児医療証の発行には所得による制限があるが、6歳くらいまでは所得制限なしにしてほしいです。
- ・子どもの医療費を中学卒業まで無料にしてほしいです。小学校高学年になっても病院等へ行く回数は減りません。

【予防接種について】

- ・インフルエンザの予防接種を公費負担してほしいです。
- ・任意接種の予防注射（ロタウイルス・B型肝炎・水痘・おたふくなど）を無料にしてほしいです。
- ・その子どもにあった予防接種のスケジュール表をいただけると助かります。
- ・予防接種の情報が少ない。どの病院でどの種類の注射を受けられるのか、一覧にしてホームページ等で公開してほしいです。

【子どもの発達や障害について】

- ・児童発達支援事業の先生方は、温かく一生懸命に指導されており、よかったのですが、施設自体がとても古く、とても暗いイメージを受けてしまいました。
- ・障がい児に対しての施設が「さくら園」ではあるが、入所している時は、話を聞いてくれたり、サポートしてもらえたりするのに、退園すると相談にも、なかなかのってもらえません。
- ・「さくらんぼ」に入りたいと言っても、「さくら園への入所待機児童が優先のため、さくら園を退所した人は無理です」と言われると、障がい児はどこに行けばよいかわかりません。
- ・さくら園での支援サービスを受けるのに、待機している期間が長すぎる。そのような施設や専

門の先生たちを増やしてほしいです。

- ・障がい施設を卒園した後のサポートをもっとしてほしいです。選択権がどうしても狭まってしまって身動きとりにくい。障がいはなくなったわけではないので、退園してもやはりサポートは続けてほしいし、不安もたくさんある。
- ・障がい児のためのデイサービス、日中一時預かりを増やしてほしいです。少数派にも耳を貸していただけるとありがたいです。
- ・幼稚園、小学校の先生に発達障害の知識を少しでも持っていてほしいです。
- ・特別に支援が必要な子どもたちに接する立場の方は前もってそれなりの知識を身に付けてほしいです。そうでないと安心して預けられない。
- ・発達面に不安があるため、小学校に上がってから学校生活やお友だちと上手に付き合えるかが心配です。本人も一番悩むであろう思春期どうサポートしてやれるかが今後の課題です。

【さまざまな子育て支援サービス】

- ・子ども連れの駐車料金のサービス。
- ・子どもが学校の門を出たら通知してくれるようなシステムを導入していただきたい。
- ・中学校を電車でしか行けない所にしか建てないなら、定期代を払ってほしいです。もしくは、自転車通学を認めてほしいです。
- ・老人の施設は非常に多いので、そこで少しの時間、子どももみてもらえたらよいなと思うことがあります。場所がとても便利で預けやすそうです。
- ・子どもが乗れる電動自転車の貸出も応募しましたが、残念ながら落選でした。ありがたい子育て支援だと思うので、次回も応募したいです。
- ・現在、電動自転車の貸し出しでお借りしているのですが、このような制度はとっても助かりありがたいと利用させていただいています。警察の方の交通のお話もきけたので注意して利用しています。
- ・以前住んでいた自治体は子どもを預けていない家庭に絵本を買えたり、イベントに参加できた

り、一時保育に利用できるクーポンを配っていました。

- ・川西市でできるレジャーや施設利用を子どもは無料にしてほしいです。
- ・子どもが多いほど、広い家が必要でお金もかかるので、市営住宅などは人数が多い程優先させる。家賃や住宅ローン補助があればよいと思う。
- ・妊婦健診や出産一時金の補助金では足りないので、オムツやミルクなどの配布もあればとても嬉しいです。
- ・家が猪名川町と近いため、川西市の子育てサービスが遠く、なかなか利用できません。猪名川町のサービスも利用できるよう工夫してほしいです。

【その他】

- ・市政の安定、職業の安定、各家庭の収入の安定を実現させることが一番子育てに必要なだと感じています。
- ・「保育、子育て」という一面からだけではなかなかどうにもならず、「川西市内で」というのは先が見えにくいです。もっと市全体の活性化、雇用アップ、市税の無駄遣い等について、何十年先まで見据えて現実的な改革を考えていければよいと思います。

- ・目立つ「子育てするのによい町」ということをしない限り、若い世代の人たちは川西に来ないか、とも思います。
- ・子育て世帯が「川西市」に魅力を感じられる川西市独自の取り組みやサービスをがんばり活気ある街にしてほしいです
- ・幼稚園と保育園の管轄が同じになればもっといろんなことができると思う。
- ・こういったアンケートを定期的実施してほしい。また祖父母世代にも同様のアンケートを行ってほしい。
- ・アンケートに答えるのに 20 分以上要した。もう少し簡略化したものだったらよかった
- ・アンケートを実施するだけでなく、生かせるように対策をわかりやすく用意してほしい。

< 資料編 >



子育て支援に関するアンケート調査

～調査の趣旨とご協力のお願い～

【ご協力のお願い】

皆さまには、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

本市では、親子が豊かに育ち合い、子どもを生き育てることに夢や希望が持てるまちをめざして、さまざまな子育て支援に関する取り組みを進めています。

この度、新たに平成24年8月に「子ども・子育て関連3法」が可決・成立し、公布されました。この3法に基づき、新たな子ども・子育て支援の制度（次頁参照）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています（平成27年度にスタートする予定）。

本市においても、この法律にもとづく「子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたり、「幼児教育・保育・地域の子育て支援」の「今後の利用希望」を把握するため、子どもの保護者を対象として、「アンケート調査」を実施させていただきます。なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。アンケートのご回答に関わらず、将来の利用希望を変更していただいても構いません。

この調査にご協力いただく方は、市内にお住まいの0歳から5歳までの就学前の子どものいらっしゃるご家庭の中から、無作為に選ばせていただいた方です。

お答えは、すべて無記名で統計的に処理しますので、個人が特定されたり、他の目的に使用することはございません。

ご多忙のこととは存じますが、趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

平成25年10月

川西市長 大塩 民生

- ・ご回答は、できるかぎり宛名のお子さんの保護者をお願いしますが、ご家族の方や一緒にお住まいの方にもご協力いただきますようお願いいたします。
- ・調査票の頁数が多くありますが、回答していただく方を限定している設問もありますので、最終頁までご回答くださいますようよろしくお願いいたします。
- ・時刻を記入するところでは、当てはまる時間を、(例)08:00～18:00のように、**24時間制**でお答えください。
- ・番号を選ぶところでは、当てはまる項目の番号を、指定の数だけ○で囲んでください。
- ・ご記入いただいた調査票は、同封いたしました返信用封筒に入れて、

10月31日(木)までに ご返送ください。(切手は不要です。)

- ・調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

【お問い合わせ】川西市 子育て家庭部 子育て家庭室 子ども・若者政策課

電話：072-740-1246 FAX：072-740-1339

新たな子ども・子育て支援の制度（子ども・子育て支援新制度）の目的

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者に子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
また、地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

このアンケートにおける用語の定義

- 幼稚園 : 学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- 保育所（園） : 児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- 認定こども園 : 幼稚園と保育所（園）の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- 子育て : 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- 教育 : 問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています
- 保育 : 幼児の心身の正常な発育を目的として、幼稚園・保育所（園）・託児所などで行われる養護を含んだ教育作用として用いています

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

住 所	【参考】小学校区
1. 久代 2. 東久代	久代
1. 南花屋敷 2. 加茂	加茂
1. 小花 2. 小戸 3. 栄町24~27番 4. 寺畑 5. 栄根1・2丁目1~5番 6. 栄根2丁目(1~5番を除く) 7. 下加茂	川西
1. 中央町 2. 日高町 3. 栄町(24~27番を除く) 4. 花屋敷山手町 5. 花屋敷 6. 満願寺 7. 満願寺町	桜が丘
1. 美園町 2. 絹延町 3. 出在家町 4. 丸の内町 5. 滝山町(8番を除く) 6. 鶯の森町 7. 萩原1丁目 8. 火打 9. 松が丘町 10. 霞ヶ丘	川西北
1. 滝山町8番 2. 萩原2・3丁目 3. 萩原台東 4. 萩原台西 5. 鶯が丘 6. 西多田字上平井田・湯山裏・南野山 7. 西多田1丁目1・2番 8. 錦松台 9. 鶯台 10. 湯山台 11. 南野坂	明峰
1. 新田 2. 矢間 3. 矢間東町 4. 西多田(明峰小学校区を除く) 5. 西多田1(1・2番を除く)・2丁目 6. 多田院(清和台南小学校区を除く) 7. 多田院多田所町 8. 多田院西1・2丁目(5番を除く)	多田
1. 東多田 2. 平野 3. 鼓が滝 4. 多田桜木	多田東
1. 緑台1~5丁目 2. 緑台7丁目 3. 向陽台1・2丁目	緑台
1. 緑台6丁目 2. 向陽台3丁目 3. 水明台 4. 清流台	陽明
1. 石道 2. 虫生 3. 赤松 4. 清和台東1~3丁目 5. 清和台西1・2丁目	清和台
1. 柳谷 2. 清和台東4・5丁目 3. 清和台西3~5丁目 4. 多田院字滝ヶ原・駒塚・井戸ヶ上 5. 多田院西2丁目5番	清和台南
1. 芋生 2. 若宮 3. けやき坂	けやき坂
1. 見野 2. 東畦野1~6丁目 3. 東畦野山手 4. 西畦野1・2丁目 5. 山原 6. 緑が丘 7. 山下町 8. 笹部 9. 下財町 10. 一庫 11. 東畦野(長尾を除く) 12. 山原 13. 山下 14. 国崎 15. 黒川 16. 横路	東谷
1. 大和東 2. 大和西 3. 東畦野字長尾 4. 長尾町	牧の台
1. 美山台 2. 丸山台	北陵

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。

平成 ____年 ____月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を__に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数 ____人 末子の生年月月 平成 ____年 ____月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他 ()

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 母親 3. 父親 4. 祖父母
5. 幼稚園 6. 保育所（園） 7. 認定こども園 8. その他 ()

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

1. 家庭 2. 地域 3. 幼稚園 4. 保育所（園）
5. 認定こども園 6. その他 ()

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる } 【問9-1へ】
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる }
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる } 【問9-2へ】
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる }
5. いずれもない ---▶ 【問10へ】

問9-1 **問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。**
祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる }
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である } 【問10へ】
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である }
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい }
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある }
6. その他 ()

問9-2 **問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。**

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。

また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる/ある ---▶ 【問10-1へ】
2. いない/ない -----▶【問11へ】

問10-1 **問10で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。**

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族
2. 友人や知人
3. 近所の人
4. 子育て支援施設（地域子育て支援拠点、児童館等）・NPO
5. 保健所・保健センター
6. 保育士
7. 幼稚園教諭
8. 民生委員・児童委員
9. かかりつけの医師
10. 自治体の子育て関連担当窓口
11. その他 ()

問11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|--|-------------|
| 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | } 【(1) -1へ】 |
| 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない | |
| 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | } 【(2)へ】 |
| 6. これまで就労したことがない | |

(1) - 1 (1) で「1. ～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり ____ 日 1日当たり ____ 時間

(1) - 2 (1) で「1. ～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

家を出る時刻 ____ : ____ 帰宅時刻 ____ : ____

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|---|-------------|
| 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない | } 【(2) -1へ】 |
| 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない | |
| 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | } 【問 14へ】 |
| 6. これまで就労したことがない | |

(2) - 1 (2) で「1. ～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり ____ 日 1日当たり ____ 時間

(2) - 2 (2) で「1. ～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

家を出る時刻 ____ : ____ 帰宅時刻 ____ : ____

問 13 **問 12 の (1) または (2) で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 14 へお進みください。**
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問 14 **問 12 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。**

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ 1 つに○をつけ、該当する _____ には数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
2. 1 年より先、一番下の子どもが _____ 歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい

→希望する就労形態

- | |
|---|
| ア. フルタイム (1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労)
イ. パートタイム、アルバイト等 (「ア」以外)
→1 週当たり _____ 日 1 日当たり _____ 時間 |
|---|

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
2. 1 年より先、一番下の子どもが _____ 歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい

→希望する就労形態

- | |
|---|
| ア. フルタイム (1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労)
イ. パートタイム、アルバイト等 (「ア」以外)
→1 週当たり _____ 日 1 日当たり _____ 時間 |
|---|

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 17 宛名のお子さんは、現在、保育所（園）等で実施している、地域子育て支援ルーム等を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を__に数字でご記入ください。

1. 地域子育て支援ルーム「アップル」（公立保育所3か所で実施）
1 週当たり __ 回 もしくは 1ヶ月当たり __ 回程度
2. 地域子育て支援センター「タブリエ」（私立保育所1か所で実施）
1 週当たり __ 回 もしくは 1ヶ月当たり __ 回程度
3. 地域子育て支援ルーム「プレイルーム」
（牧の台子育て学習センター、総合センター、男女共同参画センターで実施）
1 週当たり __ 回 もしくは 1ヶ月当たり __ 回程度
4. 地域子育て支援ルーム「出張プレイルーム」（東谷公民館、清和台公民館、けやき坂公民館で実施）
1ヶ月当たり __ 回程度
5. 利用していない

問 18 問 17 のようなつどいのひろばについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を__に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい
1 週当たり __ 回 もしくは 1ヶ月当たり __ 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
1 週当たり 更に __ 回 もしくは 1ヶ月当たり 更に __ 回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている		B これまでに利用 したことがある		C 今後利用したい	
	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
①母親学級、両親学級	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
②赤ちゃん交流会	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
③家庭児童相談室	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
④保育所の園庭開放	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑤幼稚園の園庭開放	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑥まちの子育てひろば	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑦教育相談	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑧子どもの人権オンブズパーソン制度	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑨子育て支援情報誌等 （ちょちちょち、なかまのちから、 自主グループ一覧表、子育てマップ等）	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑩きんたくんねっと （市が登録者に配信する子育て支援情報）	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。**なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。**

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所（園）、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

- | | | |
|-----------------|------------|-----------------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } 利用したい時間帯 | _____ : _____ から _____ : _____ まで |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | |
| 3. 月に1～2回は利用したい | | |

(2) 日曜・祝日

- | | | |
|-----------------|------------|-----------------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } 利用したい時間帯 | _____ : _____ から _____ : _____ まで |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | |
| 3. 月に1～2回は利用したい | | |

問 20-1 **問20の(1)もしくは(2)で、「3月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にかがいます。**毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1. 月に数回仕事が入るため | 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親族の介護や手伝いが必要なため | 4. 息抜きのため |
| 5. その他 (_____) | |

問 21 **「幼稚園」を利用されている方にかがいます。**宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。**なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。**

- | | | |
|---------------------|------------|-----------------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } 利用したい時間帯 | _____ : _____ から _____ : _____ まで |
| 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい | | |
| 3. 休みの期間中、週に数日利用したい | | |

問 21-1 **問21で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にかがいます。**毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 週に数回仕事が入るため | 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため | 4. 息抜きのため |
| 5. その他 (_____) | |

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 22 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方(問 15で1に○をつけた方)にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問 23にお進みください。
この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. あった ----▶ 【問 22-1へ】 2. なかった ----▶ 【問 23へ】

問 22-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)。

1年間の対処方法	日数(年間)
ア 父親が休んだ	日
イ 母親が休んだ	日
ウ (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	日
エ 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	日
オ 病児・病後児の保育を利用した	日
カ ベビーシッターを利用した	日
キ ファミリー・サポート・センターを利用した	日
ク 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	日
ケ その他()	日

※「キ.ファミリー・サポート・センター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

【問 22-5へ】

問 22-2 問 22-1で「ア」または「イ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。
その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ 日 ----▶ 【問 22-3へ】
2. 利用したいとは思わない ----▶ 【問 22-4へ】

問 22-3 問 22-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の施設(例:幼稚園・保育所(園)等)に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)
4. その他()
- 【問 24へ】

問 22-4 問 22-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。
そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間日数など)がよくない
4. 利用料がかかる・高い 5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する 7. その他()

問 22-5 **問 22-1**で「ウ」～「ケ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ _____ 日 ----▶ 【問 23 へ】
 2. 休んで看ることは非常に難しい ----▶ 【問 22-6 へ】

問 22-6 **問 22-5**で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない 2. 自営業なので休めない
 3. 休暇日数が足りないので休めない 4. その他 (_____)

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も数字でご記入ください。

利用している事業	日数（年間）
1. 一時預かり （私用など理由を問わずに保育所（園）などで一時的に子どもを保育する事業）	日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	日
3. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ （児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	日
5. ベビーシッター	日
6. その他 (_____)	日
7. 利用していない	

→ 問 23-1 **問 23**で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない
 2. 利用したい事業が地域にない
 3. 地域の事業の質に不安がある
 4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
 5. 利用料がかかる・高い
 6. 利用料がわからない
 7. 自分が事業の対象者になるのかわからない
 8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
 9. その他 (_____)

問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を数字でご記入ください。）。**なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。**

1. 利用したい	計	日
ア 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的		日
イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等		日
ウ 不定期の就労		日
エ その他()		日
2. 利用する必要はない ---▶ 【問 25 へ】		日

問 24-1 **問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。**

問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを保育する事業(例：幼稚園・保育所(園)等)
2. 小規模施設で子どもを保育する事業(例：地域子育て支援拠点等)
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例：ファミリー・サポート・センター等)
4. その他()

問 25 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	日数(年間)
1. あった	ア (同居者を含む)親族・知人にみてもらった	泊
	イ 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	泊
	ウ イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	泊
	エ 仕方なく子どもを同行させた	泊
	オ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	泊
	カ その他()	泊
2. なかった		

問 25-1 **問 25 で「1. あった ア(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいます。**

その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に困難	2. どちらかという困難	3. 特に困難ではない
----------	--------------	-------------

宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

※5歳未満の方は、問30へ

問 26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「留守家庭児童育成クラブ」の場合には、利用を希望する時間も____に数字でご記入ください。

「留守家庭児童育成クラブ」…保護者等が就労等により昼間家庭にいない児童に対し、授業の終了後や学校の休業期間において、市内16小学校・特別支援学校内に設置した育成クラブ室を利用して適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図るものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週 ____日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 ____日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 ____日くらい
4. 児童センター	週 ____日くらい
5. 放課後子ども教室 ※1	週 ____日くらい
6. 留守家庭児童育成クラブ	週 ____日くらい → 下校時から ____ : ____ まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 ____日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 ____日くらい

※1 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また、「留守家庭児童育成クラブ」の場合には利用を希望する時間も____に数字でご記入ください。

※だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週 ____日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 ____日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 ____日くらい
4. 児童センター	週 ____日くらい
5. 放課後子ども教室 ※1	週 ____日くらい
6. 留守家庭児童育成クラブ	週 ____日くらい → 下校時から ____ : ____ まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 ____日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 ____日くらい

問 28 問26 または問27 で「6. 留守家庭児童育成クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、留守家庭児童育成クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間を____に数字でご記入ください。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

(2) 日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい時間帯 _____ : _____ から _____ : _____ まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の留守家庭児童育成クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間を_____に数字でご記入ください。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい時間帯 _____ : _____ から _____ : _____ まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する_____内に数字をご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 （下から番号を選び、いくつでもご記入ください）	1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 （下から番号を選び、いくつでもご記入ください）

- | |
|---|
| 1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所（園）などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した
15. その他（ _____ ） |
|---|

問 30-1 子どもが原則1歳（保育所（園）における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6か月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた | 2. 育児休業給付のみ知っていた |
| 3. 保険料免除のみ知っていた | 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった |

問 30-2 **問 30 で「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。**
 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- | |
|----------------------------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した---▶【問 30-3 へ】 |
| 2. 現在も育児休業中である ---▶ 【問 30-9 へ】 |
| 3. 育児休業中に離職した |

(2) 父親

- | |
|----------------------------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した---▶【問 30-3 へ】 |
| 2. 現在も育児休業中である ---▶ 【問 30-9 へ】 |
| 3. 育児休業中に離職した |

問 30-3 **問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。**
 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所（園）入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたが。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

(2) 父親

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

※「1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」には、次の内容も含まれます。
 ・年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合
 ・年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合

問 30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。___に数字でご記入ください。

(1) 母親

実際の取得期間 ___ 歳 ___ ヶ月	希望 ___ 歳 ___ ヶ月
----------------------	-----------------

(2) 父親

実際の取得期間 ___ 歳 ___ ヶ月	希望 ___ 歳 ___ ヶ月
----------------------	-----------------

問 30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。___に数字でご記入ください。

(1) 母親

___ 歳 ___ ヶ月

(2) 父親

___ 歳 ___ ヶ月

問 30-6 **問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。**

希望の時期に職場復帰しなかった理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 「希望」より早く復帰した方

①母親

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所（園）に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他（ | ） |

②父親

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所（園）に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他（ | ） |

(2) 「希望」より遅く復帰した方

①母親

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所（園）に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他（ | ） |

②父親

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所（園）に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他（ | ） |

問 30-7 **問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。**

育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- | |
|---|
| 1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） |
| 2. 利用した |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）---▶ 【問 30-8へ】 |

(2) 父親

- | |
|---|
| 1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） |
| 2. 利用した |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）---▶ 【問 30-8へ】 |

